

特 66

286

MATHEMATICAL  
FORMULAS

ホケツト  
數學公式

全

中等豫備校長

山口國三郎著

43.10.27  
數學書院發行

内交

## 緒言

本書ハ中學校、師範學校、高等女學校其他中等學校ノ生徒諸君、諸官立學校入學受験者、教師諸士及ビ數學ノ全般ヲ研究セントスル人々ノ參考書及ビ復習用トシテ算術、代數學、幾何學及ビ平面三角法ニ於ケル諸原理ヲ公式的ニ簡明ニ編成シ、最モ記憶シ易キ様ニ排列シタルモノナリ。

夫レ數學公式、諸書ヲ檢スレバ、即チ、知り得ベシト雖モ之チ一冊子ニ集輯スルノ便ナルニ如カズ是レ本書ヲ「ポケット」形トシテ世ニ公ニセシ所以ナリ。

既ニ數學公式ナルモノ二三ノ刊行セラレタルアリ。然レドモ其内容ニ至リテハ杜撰ナルモノ多シ。ヨリテ本書ハ茲ニ留意シ、其公式的ニ簡明ニ編成スルト同時ニ其應用法ヲ充分ニ了解セシメシコトニ勉メタリ。

終ニ臨ミ、河谷理學士ハ種々ノ有益ナル注意ヲ興ヘラレタリ爰ニ一言シテ厚ク其好意ヲ謝ス。

明治四十三年八月

著者誌す

# 數學公式目次

◎目

## 算術之部

### 第一編 緒論..... 1-8

- 第一章 定義..... 1
- 第二章 命數法..... 3
- 第三章 記數法..... 5

### 第二編 四則(加減乘除)... 9-45

- 第一章 加法(寄セ算)..... 9
- 第二章 減法(引キ算)..... 12
- 第三章 乘法(掛ケ算)..... 18
- 第四章 除法(割リ算)..... 28
- 第五章 式ノ解キ方... .. 42

### 第三編 整數ノ性質45-61

- 第一章 約數及倍數..... 45
- 第二章 轉位數..... 50
- 第三章 連綴數..... 51
- 第四章 素數..... 52
- 第五章 約數ノ發見法..... 53
- 第六章 最大公約數..... 54
- 第七章 最小公倍數..... 57

### 第四編 分數..... 61-83

- 第一章 緒論... .. 61
- 第二章 分數化法..... 65
- 第三章 分數四則..... 68

次

◎目次

三

第四章 分数ノ小数ノ關係... 73

第五章 循環小数ノ四則... 77

第六章 分数ノ最大公約數及最小公倍数... 81

**第五編 諸等數(複名數)...** 83-105

第一章 緒論... 83

第二章 本邦度量衡... 83

第三章 主要ナル外國度量衡... 89

第四章 貨幣... 92

第五章 時... 94

第六章 弧度及角度... 95

第七章 諸等進法及命法... 96

第八章 諸等四則... 98

第九章 經度ノ時... 101

第十章 標準時... 104

第十一章 溫度... 105

**第六編 比及比例** 106-118

第一章 比... 106

第二章 比例... 108

第三章 單比例... 111

第四章 複比例... 112

第五章 連鎖法... 113

第六章 按分比例(比例配分)... 115

第七章 混合法(和較算)... 115

第八章 比重... 117

**第七編 步合**... 118-120

第一章 步合... 118

第二章 內割及外割... 120

**第八編 利息算**... 120-126

第一章 緒論... 120

第二章 單利法... 122

第三章 複利法... 123

第四章 割引法... 124

第五章 支拂期日ノ平均... 125

**第九編 開平及開立**... 126-133

第一章 開平... 126

第二章 開立... 130

**第十編 求積**... 134-135

◎目次

三

代數學之部

◎目次

第一編 緒論 ..... 1-10

第二編 基本ノ定則 11-14

第一章 正數及負數 ..... 11

第二章 符號ノ定則 ..... 12

第三編 整式ノ加減乘除... 15-32

第一章 加法及減法 ..... 15

第二章 括弧 ..... 20

第三章 乘法及除法 ..... 21

第四編 因數分解法 33-43

第五編 最大公約數及最小公倍數 ..... 43+48

第六編 分數 ..... 48-52

第七編 方程式 ..... 52-85

第一章 緒論 ..... 52

第二章 一次方程式 ..... 54

第三章 二次方程式 ..... 66

第四章 分數方程式 ..... 73

第五章 無理方程式 ..... 75

第六章 高次方程式 ..... 78

第七章 方程式ノ應用問題 85

第八編 冪(方乘)... 85-87

第九編 開方法 ..... 88-95

第十編 分指數及負指數 95-96

第十一編 不盡數... 96-98

第十二編 比及比例 ..... 99-101

第一章 比 ..... 99

第二章 比例 ..... 100

第十三編 級數... 102-107

第一章 等差級數 ..... 102

第二章 等比級數 ..... 103

第三章 調和級數 ..... 105

第四章 雜級數ノ總和 ... 106

第十四編 順列及組合... 107-110

第一章 順列 ..... 107

第二章 組合 ..... 109

第十五編 二項定理 ..... 110-111

第十六編 對數... 112-121

第十七編 複利及年金... 122-124

平面幾何學之部

緒論 ..... 125-130

第一編 直線 ... 130-146

第一章 直線及角 ..... 130

第二章 平行線 ..... 134

第三章 三角形 ..... 135

第四章 平行四邊形 ..... 141

第五章 稱對 ..... 143

第六章 軌跡 ..... 144

第二編 圓 ..... 146-160

第一章 根原ノ性質 ..... 146

第二章 中心ニ於テノ角... 146

第三章 弦 ..... 149

第四章 弓形ニ於テノ角.. 151

第五章 切線 ..... 153

第六章 ニツノ圓.....155  
 第七章 内接形及ビ外接形156  
 第八章 作圖題 ..... 158

**第三編 面積..... 160-168**  
 第一章 面積ノ相等 .....160  
 第二章 作圖題 ..... 166

**第四編 比及ビ比例..... 168-174**  
 第一章 定義 ..... 168  
 第二章 定理 ..... 171

**第五編 比及ビ比例ノ應用 174-182**  
 第一章 基本定理 .....174  
 第二章 相似形.....176  
 第三章 面積 ..... 178

六

第四章 軌跡 ..... 181  
 第五章 作圖題.....181

—◆—

**立體幾何之部**  
 緒論 ..... 182-183

**第一編 平面 ... 183-191**  
 第一章 平面ニ於ケル點  
 及ビ直線.....183  
 第二章 平面ノ垂線..... 186  
 第三章 平面ニ平行スル  
 直線 ..... 187  
 第四章 平行平面.....188  
 第五章 平面ノ斜線 ..... 189  
 第六章 平面ニ傾キタル  
 平面 ..... 189

第七章 空間ニ於ケル直線189  
 第八章 立體角.....190

**第二編 多面角...191-194**  
 第一章 定義 ..... 191  
 第二章 角錐 ..... 193  
 第三章 正多面體.....194

**第三編 體積..... 194-198**  
 第一章 角錐ノ體積..... 194  
 第二章 角錐ノ體積..... 194  
 第三章 圓錐 ..... 196  
 第四章 圓錐 ..... 197

**第四編 球..... 198-200**

**三角法之部**

**第一編 緒論.....201-202**  
**第二編 銳角ノ三角函數... 202-211**  
**第三編 直角三角形ノ解法 211-215**  
**第四編 任意角ノ三角函數 215-219**  
**第五編 餘角, 補角等ノ三角  
 函數ノ關係..... 219-221**  
**第六編 二角ノ和ト差トノ  
 三角函數221-226 七**  
**第七編 倍角及ビ分角ノ三  
 角函數...226-228**  
**第八編 對數.....228-234**

第九編 三角形ノ邊ト角トノ關係...234-245

第十編 三角形ノ解法...245-247

第十一編 距離及ビ高サ...248-253

第十二編 三角形ノ面積及ビ外接圓, 內接圓, 傍接圓ノ半徑...253-257

第十三編 三角方程式...258-266

終

# 算術公式

## 第一編 緒論

### 第一章 定義

(1) 量 増減シ得キモノヲ云フ。例ヘバ, 人数, 土地ノ廣サ, 糸ノ長サ, 物ノ重サノ如シ。

一. 不連続量 自然ニ一個々ニ分離シ居ル量ヲ云フ。又, 分離量トモ云フ。例ヘバ, 人数, 牛ノ頭數, 果物ノ個數ノ如シ。

二. 連続量 引キ續ク所ノ量ヲ云フ。例ヘバ, 糸ノ長サ, 土地ノ廣サ, 物ノ重サナドノ如シ。

(2) 數ヘル 一ニ一足シテ二, 二ニ一足シテ三, 三ニ一足シテ四.....ナドト次第ニ一足シテ行クコトヲ云フ。

(3) 單位 物ヲ數ヘルトキノ目當ヲ云フ。例ヘバ, 五圓ハ一圓, 八人ハ一人, 十八斤ハ一斤ガ單位ナルカ如シ。

(4) 數 數ヘテ得タル結果ノ一, 二, 三,.....ノ如キヲ云フ。

- 一. 整数(完全數) 一或ハ一ノ集リヨリタル數ヲ云フ。
- 二. 分数 整数單位ヲ若干等分シタルモノヲ單位トシテ數ヘタル結果ヲ云フ。
- 三. 小数 一ノ十分ノ一、百分ノ一、千分ノ一、一万分ノ一、……等ヲ單位トシテ數ヘタル一ヨリ小ナル數ヲ云フ。
- 四. 其他、不盡數等ノ名稱アレドモ是等ハ其ノ所ニテ述ベン。
  - I. 名數 數ニ單位ノ名ヲ添ヘタルモノヲ云フ。例ヘバ、十八人、一日十六時、二十圓等ノ如シ。
  - II. 單名數 只一ツノ單位ノ名ニテ表サレタル名數ヲ云フ。例ヘバ、二十三圓、十八貫、二十斤等ノ如シ。
  - III. 諸等數(複名數) ニツ或ハニツ以上ノ階級ノ單位ノ名ニテ表サレタル名數ヲ云フ。例ヘバ、十五圓二十錢、一里二十町三十間、二石三斗四升五合等ノ如シ。
  - IV. 不名數 數ニ單位ノ名ヲ添ヘザルモノ、即チ、通常ノ數ヲ云フ。例ヘバ、十八、五十九、三百二十等ノ如シ。

(5) 數學 其ノ増減ヲ明瞭ニ數ヘ得ベキ量ニツキテ論究スル學問ヲ云フ。

(6) 算術 數學ノ一分科ニシテ、數ニ名ヲ付ケルコト、數ヲ記スコト、計算スルコト、其他、日常計算ニ關スル生業上有益ナル事項等ヲ論究スル學問ナリ。

## 第二章 命數法

(1) 命數法 僅カナル言葉ヲ規則正シク組合セテ、如何ナル數ニテモ表ス方法ヲ云フ。

一. 命數法ニ用ヰル言葉 一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、百、千、万、億、兆、分、厘、毛、絲、忽、等ナリ。

(2) 基数 一、二、三、四、五、六、七、八、九ハ左方ヨリ順次一ツ、六ナル數ニシテ、此九ツノ數ヲ基数ト云フ。

(3) 整数ノ位ノ名



○算術公式

兆階				億階				万階				單階			
千兆	百兆	十兆	一兆	千億	百億	十億	一億	千万	百万	十万	一万	千	百	十	一
第十六位	第十五位	第十四位	第十三位	第十二位	第十一位	第十位	第九位	第八位	第七位	第六位	第五位	第四位	第三位	第二位	第一位
千兆ノ位	百兆ノ位	十兆ノ位	一兆ノ位	千億ノ位	百億ノ位	十億ノ位	一億ノ位	千万ノ位	百万ノ位	十万ノ位	一万ノ位	千ノ位	百ノ位	十ノ位	一ノ位

兆以上ニモ京、垓等ノ名稱アリテ、ソノ億、兆等ノ如キ階級ノ名稱アレドモ、兆以上ヲ用ヰルコトハ殆ンドナシ。

(四) (4) 小数ノ位ノ名 一ノ十分ノ一ヲ分、百分ノ一(分ノ十分ノ一)ヲ厘、千分ノ一(厘ノ十分ノ一)ヲ毛、一万分ノ一(毛ノ十分ノ一)ヲ絲、十万分ノ一(絲ノ十分ノ一)ヲ忽トイヒ、尙ホ、十分シテ、微、纖等ノ名稱アレドモ忽以下ノ名稱ヲ用ヰルコトハ、殆ンドナシ。

○算術公式

忽	絲	毛	厘	分
小數第五位	小數第四位	小數第三位	小數第二位	小數第一位
忽ノ位	絲ノ位	毛ノ位	厘ノ位	分ノ位

【注意】 位トイフ代リニ桁トイフコトアリ。

(5) 十進法 或位ヲ十合セタルモノハ、夫レヨリモ一段高キ位ニ等シクナル如ク命數法ヲ行ヒシモノヲ云フ。上ノ整数及小数ハ十進法ヨリナル。

第三章 記數法

(1) 記數法 僅カノ記號ヲ規則正シク組合ヒテ如何ナル數ニテモ書キ表ハス方法ヲ云フ。

(2) 數字 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 ハ順次ニ、一, 二, 三, 四, 五, 六, 七, 八, 九 ナ代表スルモノニシテ、此九個ノ記號ト「無シ」ト云フコト

ヲ代表スル記號 0 トナ數字ト云ヒ、數學ニ於テ用ルル數ハ上ノ十個ノ記號ノ  
ミニシテ、之ヲ算用數字又ハあらびや數字ト云フ。

一、有効數字 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9ノ九個ノ記號ヲ 0ニ對  
シテ有効數字ト云フ。

二、無効數字 0ヲ1ヨリ9マテノ數字ニ對シテ無効數字ト云フ。

(3) 整数ノ記數法 一ツ上ノ位ノ數ヲ左隣リニ書クモノト定メ、最も高キ  
位ヨリ始メテ次第ニ左方ヨリ右方ヘ、各々ノ位ノ數ヲ數字ニテ横ニ書キ並べ、  
若シ或位ノ數が無キトキハ、其位ノ數ヲ書クベキ所ニ 0ヲ書クモノトス。例  
ヘバ、五千三百二十四ヲ 5 3 2 4トシ、八万三千二十五ヲ 8 3 0 2 5トシ、  
九億三千五百二十八万三千二百ヲ 9 3 5 2 8 3 2 0 0ト書クガ如シ。

(4) 帶小数 整数ト小数トヨリナル數ヲ云ヒ、又、混數トモ云フ。而シテ  
帶小数モ單ニ小数ト云フコトアリ。

(六) (5) 小数ノ記數法 小数ヲ書キ表スニハ、分、厘、毛、絲……等ト順  
次ニ左方ヨリ右方ニ、其位ニ數ヲ横ニ書キ並べルモノトス。但シ、整数ト區  
別スル爲メニ、一ノ位ト分ノ位トノ中間ニ小数點(●)ヲ打テ、其ノ左方、即チ、  
一ノ位ノ所ニ 0ヲ書クモノトス。而シ、此 0ハ書クコトモアリ、又書カザル

コトモアレド、本書ニ於テノ書ク方法ニ從フ。例ヘバ、二分三厘五毛ヲ  
0.235 或ハ .235トシ、三厘五忽ヲ 0.03005 或ハ .03005トス  
ルガ如シ。

帶小数ヲ書キ表スニハ、整数部ト小数部トナ一列ニ左方ヨリ右方ニ順次  
ニ書キ並べ、一ノ位ト分ノ位トノ中間ニ小数點ヲ打ツモノトス。例ヘバ、  
85.42トスルガ如シ。

(6) 漢字記數法 文縦書法トモ云ヒ、一ヨリ九マテノ漢字ト〇ト  
トテ用ルル左方ヨリ右方ニ、順次ニ横ニ書ク代リニ、上ヨリ下ニ、  
順次ニ書クモノトシテ、小数ノ場合ニハ小数點ヲ一ノ位ト分ノ位ト  
ノ中間ニ打ツモノトス。例ヘバ、0.84 及 21.534ヲ書キ表  
スコト右方ノ如シ。

(7) 讀數法 數字ニテ書キ表ハサレタル數 或ハ漢字ニテ書キ表ハサレタ  
ル數ヲ讀ム方法ヲ云フ。

一、位取り 一ノ位ヨリ左方ニ、一、十、百……等ト位取りヲナシテ、  
左端ノ位ヲ知り、……何万何千何百何十何何分何厘……ト讀ムモノト  
ス。但シ、漢字記數法ヨリナル數ハ一ノ位ヨリ上方ニ位取りスレバヨシ。

二、句切法 大ナル數ヲ一目シテ容易ニ讀マンタメニコンマ(,)ニテ句切リテ讀ム方法ヲ云フ。漢字記數法ニ於テハ此點(、)ヲ用ユ。

I. 三位ノ句切法 一ノ位ヨリ左方ニ三位ヅツニ句切ル方法ニシテ、此場合ニ於ケル第一ノ(,)ノ左ノ位ハ千、第二ノ(,)ノ左ノ位ハ百万、第三ノ(,)ノ左ノ位ハ十億、第四ノ(,)ノ左ノ位ハ一兆ノ位ナルコトヲ豫メ知ルコトヲ要ス。而シテ、此方法ハ實用ニ用ヰラル。

II. 四位ノ句切法 一ノ位ヨリ左方ニ四位ヅツニ句切ル方法ニシテ、此場合ニ於ケル第一ノ(,)ノ左ノ位ハ一万、第二ノ(,)ノ左ノ位ハ一億、第三ノ(,)ノ左ノ位ハ一兆ナルコトヲ豫メ知ルコトヲ要ス。而シテ、此方法ハ實用ニ用ヰラズト雖モ、三位ノ句切法ヨリモ簡單ナリ。何トナレバ、四位ヅツニ句切ルト單階、万階、億階、兆階等トナルヲ以テナリ。

三、棒讀 數ノ位ノ名ヲ省キ、左端ヨリ順次數字ノ名ヲ續ケザマニ呼ブコトヲ云ヒ、漢字記數法ニ於テハ上ヨリ下ニ漢字ノ名ヲ續ケザマニ呼ベバヨシ。

## 第二編 四則(加減乘除)

### 第一章 加法(寄せ算)

(1) 加法 若干ノ數ヲ加ヘ合セタル結果ヲ求ムル方法ヲ云フ。

一、和 加法ヲ行ヒタル結果ヲ云ヒ。和ハ計、合計、總計、高等トモ云フ。

二、被加數 加ヘ合スベキ若干ノ數ヲ云フ。

【注意】 加ヘル、加ヘ合セル、足ス、寄せルハ皆同シ意味ニ用ヰラル。

(2) 加號 符號(+)ヲ加號ト云ヒ、二數ノ間ニ置キテ、其前ナル數ニ其後ナル數ヲ加フルコトヲ示ス。

(3) 等號 符號(=)ヲ等號ト云ヒ、其左方ニアル數ト、右方ニアル數トガ等シキコトヲ示ス。例ヘバ、 $2 + 3 = 5$ ニ於テ、 $2 + 3$ ガ $5$ ニ等シキコトヲ示スモノトス。

(4) 加法ノ定理

一、被加數ノ順序ヲ變フルモ和ハ變ラズ。即チ、  
 $甲 + 乙 + 丙 = 乙 + 丙 + 甲 = 甲 + 丙 + 乙 = 等。$

二. 一數ニ若干ノ數ヲ順次ニ加フルモ、一數ニ若干ノ數ノ和ヲ加フルモ變ラズ。即チ、

$$\text{甲} + \text{乙} + \text{丙} + \dots = \text{甲} + (\text{乙} + \text{丙} + \dots)$$

三. 一數ニ若干ノ數ノ和ヲ加フルモ、一數ニ若干ノ數ヲ順次ニ加フルモ和ハ變ラズ。即チ、

$$\text{甲} + (\text{乙} + \text{丙} + \dots) = \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} + \dots$$

(5) 加法ノ算法 一般ニ若干ノ數ヲ加フルニハ、同ジ位ノ數字カ同ジ行ニアル如ク被加數ヲ書キ並べ、其下ニ一橫線ヲ引キ、右端ノ行ノ數字ヲ加ヘテ得ル數ノ一ツ位ノ數字ヲ書キ下ニシ、其十ノ位ノ數字ヲ左隣ノ行ヘ送リテ左隣ノ行ノ數字ト共ニ加ヘ、同法ヲ續ケテ左々ヘ加ヘ進ムベシ。但シ、小數アルトキハ小數點ヲ同ジ位ノ所ニ打ツベシ。

例1.  $852 + 703 + 253$ ヲ求メヨ。

(10)

〔解〕	運算
	852
	703
	+ 253
	-----
	1808

答 1808

例2.  $2.39 + 4.206 + 5.399$ ヲ求メヨ。

(11)

〔解〕	2.39
	4.206
	+ 5.399
	-----
	11.005

答 11.005

例3.  $0.888 + 0.909 + 0.525$

(12)

〔解〕	0.888
	0.909
	+ 0.525
	-----
	2.323

答 2.323

(6) 加法ノ驗 各行ノ數字ヲ加ヘタルトキノ反對ニシテ各行ノ和ヲ求ムベシ。此場合ニ於テ前ノ和ト等シクナラバ計算ニ誤リナカルベシ。

(7) 名數ノ加法

- 一、名數ハ同種類ノモノニアラザレバ加フコトヲ得ズ。
- 二、同種類ニテモ單位異ナルトキハ同ジ單位ニ直シテ後チ加ヘ合スベシ。

## 第二章 減法(引き算)

(1) 減法 大ナル數ヨリ小ナル數ヲ引キ去リタル結果ヲ求ムル方法ヲ云フ。

一、被減數及減數 大ナル數ヲ被減數、小ナル數ヲ減數ト云フ。

二、差 減法ヲ行ヒタル結果ヲ云ヒ、差ハ残り、餘り、殘餘或ハ剩餘トモ云フ。

【注意】 引ク、減ラス、減ズル、引キ去ルナドハ、皆同シ意味ニ用キル言葉ナリ。

(2) 減號 符號(−)ヲ減號ト云ヒ、二數ノ間ニ置キテ、其前ナル數ヨリ其後ナル數ヲ引キ去ルコトヲ示ス。

(3) 差號 符號(〜)ヲ差號ト云ヒ、二數ノ間ニ置キテ、其大ナル數ヨリ其小ナル數ヲ引キ去ルコトヲ示スモノニシテ、例ヘバ、5〜7ハ7−5ヲ示ス。

(4) 不等號 符號(>)或ハ(<)ヲ不等號ト云ヒ、二數ノ間ニ置キテ、尖ノ方ニアル數ガ小ナルコトヲ示ス。

例ヘバ、甲>乙ハ 甲ガ乙ヨリ大ナルコトヲ示シ、

甲<乙 ハ甲ガ乙ヨリ小ナルコトヲ示ス。

(5) 減法ノ定理

一、被減數ハ減數ト差トノ和ニ等シ。即、

$$\text{被減數} = \text{減數} + \text{差}$$

二、被減數ニ或數ヲ加フレバ差ハ、同數ダケ増ス。即、

$$\text{甲} - \text{乙} = \text{差} \quad \text{ナルトキ}$$

$$(\text{甲} + \text{丙}) - \text{乙} = \text{差} + \text{丙}$$

三、減數ニ或數ヲ加フレバ、差ハ同數ダケ減ズ。即、

$$\text{甲} - \text{乙} = \text{差} \quad \text{ナルトキ}$$

$$\text{甲} - (\text{乙} + \text{丙}) = \text{差} - \text{丙}$$

四、被減數ヨリ或數ズレバ、差ハ同數ダケ減ズ。即、

$$\text{甲} - \text{乙} = \text{差} \quad \text{ナルトキ}$$

$$(\text{甲} - \text{丙}) - \text{乙} = \text{差} - \text{丙}$$

五、減數ヨリ或數ヲ減ズレバ、差ハ同數ダケ増ス。即、

$$\text{甲} - \text{乙} = \text{差} \quad \text{ナルトキ}$$

$$\text{甲} - (\text{乙} - \text{丙}) = \text{差} + \text{丙}$$

六、被減數、減數ノ双方ニ同數ヲ加フルモ、或ハ双方ヨリ同數ヲ減ズルモ差ハ變ラズ。即、

$$\text{甲} - \text{乙} = \text{差} \quad \text{ナルトキ}$$

$$(\text{甲} + \text{丙}) - (\text{乙} + \text{丙}) = \text{差}$$

$$(\text{甲} - \text{丙}) - (\text{乙} - \text{丙}) = \text{差}$$

(6) 減法ノ別釋

一、二數ニ就キ、其大ナル數ヲ得ル爲メニ小ナル數ニ加フベキ數ヲ算出スル方法ナリ。

二、被減數ヲ二數ノ和ト看做シ、其二數中ノ一ツヲ知リテ他ヲ索ムル方法ナリ。

(7) 減法ノ算法 一般ニ、同ジ位ノ數字ガ縦ノ行ニ並ブ如ク、被減數ノ下ニ減數ヲ書キ、其下ニ一横線ヲ引キ、右端ヨリ始メテ、順次被減數ノ各數字ヨリ減數ノ同ジ位ノ數字ヲ引キタル差ヲ書キ下ダスベシ、但シ被減數ノ或位ノ數字ハ減數ノ同ジ位ノ數字ヨリ小ナルトキハ、被減數ノ其數字ニ1\*0ヲ足シ被減數ノ左隣ノ位ヨリ一ヲ減ズベシ。而シテ、小數アルトキハ小數點ヲ同ジ位ノ所ニ打テ。

例1. 2935 - 1523 ナ計算セヨ。

【解】 運算

$$\begin{array}{r} 2935 \\ - 1523 \\ \hline 1412 \end{array}$$

答 1412

例2. 4529 - 899 ノ結果ヲ求メヨ。

【解】

$$\begin{array}{r} 4529 \\ - 899 \\ \hline 3630 \end{array}$$

答 3630

例3. 59.273 - 35.65 ナ勘定セヨ

【解】

$$\begin{array}{r} 59.273 \\ - 35.65 \\ \hline 23.623 \end{array}$$

答 23.623

例4. 0.8 - 0.7573 ナ計算セヨ

【解】

$$\begin{array}{r} 0.8 \\ - 0.7573 \\ \hline 0.0427 \end{array}$$

答 0.0427

(8) 減法ノ驗

一、減數ト差トノ和ヲ求ムベシ。此結果ガ被減數ニ等シケレバ計算ニ誤リナカルベシ。

二、被減數ヨリ差ヲ減ズベシ。此結果ガ減數ニ等シケレバ計算ニ誤リナカルベシ。

(9) 名數ノ減法

一、名數ハ同種類ニアラザレバ減法ヲ行フコトヲ得ズ。

二、同種類ニテモ單位異ナルトキハ同單位ニ直シテ後子後子減法ヲ行フベシ。

(10) 加減併則

一、相連續セル加法減法ハ、之ヲ如何ナル順序ニ行フモ結果ハ變ラズ但シ運算ノ途中ニ於テ小ナル數ヨリ大ナル數ヲ減ズルガ如キニ立チ至ルヲ避クベシ。例ヘバ

$$25 + 32 - 50 + 2 - 8$$

$$= 25 + 32 + 2 - 50 - 8$$

$$= 25 - 8 + 2 + 32 - 50$$

トスルコトヲ得レドモ、

$$25 + 32 - 50 + 2 - 8$$

$$= 25 - 50 + 32 + 2 - 8$$

トスルコトヲ避クベシ。

二、相連續セル加法減法ハ被加數ノ和ヨリ減數ノ和ヲ減ズルモ變ラズ

即、甲-乙+丙-丁=(甲+丙)-(乙+丁)

(11) 括弧及括線 數字ト符號トノ集リガ括弧 ( ) { } [ ] ニテ包マレトキハ括弧外ノ符號ニヨリテ示サレタル計算ヲナス前ニ、括弧内ノ符號ニテ示サレタルモノヲ先キニスベキモノトス。例ヘバ 8-(2+3)ハ 2ト3トノ和 5ヲ 8ヨリ減ズベキコトヲ示シ、(7+3)-{2+(7-3)}ハ 7ヨリ 3ヲ引キタル結果 4ヲ 2ニ加ヘタル結果 6ヲ 7ト3トノ和 10ヨリ引クコトヲ示ス。即チ、

$$(7 + 3) - \{2 + (7 - 3)\}$$

$$= 10 - \{2 + 4\}$$

$$= 10 - 6$$

$$= 4$$

○算術公式

ナリ。

又括弧ト同シ用法ノモトニ括弧(一)ヲ用フルコトアリ。例ヘバ、 $3+2-4$

ハ  $(3+2)-4$  ト同シ意味ナリ。例ヘバ、

$$18 - \{(8+6) - 7 - 3\}$$

$$= 18 - \{14 - 4\}$$

$$= 18 - 10$$

$$= 8$$

### 第三章 乗法(掛け算)

#### (一八) (1) 乗法

一、意味 甲數ニ乙數ヲ掛ケルトハ、甲數ヲ乙數ガ表ハス單位ノ數ダケ取りテ加フルコトナリ。例ヘバ  $7 = 5$  ナ掛ケルトハ、 $5 = 1 + 1 + 1$

+ 1 + 1 ナルヲ以テ、7 ナ五度取りテ加ヘ合ハスルコトナリ。

二、定義 甲數ニ乙數ヲ掛ケタル結果ヲ簡單ニ求メル方法ヲ乘法ト云フ。

三、被乗數及乗數 甲數ニ乙數ヲ掛ケルトキ、甲數ヲ被乗數、乙數ヲ乗數ト云フ。

四、積 甲數ニ乙數ヲ掛ケタル結果ヲ云フ。

五、因數及連乘積 乘法ニ於テ、單ニ積ノミニ注目スルトキハ、被乗數及乗數ヲ積ノ因數ト云フ。三ツ或ハ三ツ以上ノ數ヲ掛ケ合セタル結果ヲ連乘積或ハ單ニ積ト云ヒ、此等ノ數ヲ積ノ因數ト云フ。連乘積ト云フコトヲ累乘積ト云フコトアリ。

【注意】 掛ケル、掛ケ合セル、乘ズルハ何レモ同シ意味ノ言葉ナリ。又、15 ナ3倍スルトハ  $15 = 3$  ナ掛ケルコトナリ。

(2) 乘號 符號(×)ヲ乘號ト云ヒ、二數ノ間ニ置キテ其前ニアル數ニ其後ニアル數ヲ掛ケルコトヲ示ス。

(3) 十進法 1ノ右ニ若干ノ0ヲ書キ添ヘタル整數、即チ、100,1000ヲ十進數ト云フ。

○算術公式

(一九)



○算術公式

(4) 十進數ヲ掛ケルコト

一、整数ニ十進數ヲ掛ケルニハ十進數ガ有スル0ノ數マケノ0ヲ其數ノ右方ニ書キ添ヘル。

例、 $2538 \times 1000 = 2538000$

二、小数ニ十進數ヲ掛ケルニハ十進數ガ有スル0ノ數ト同シ桁數ダケ其數ノ小数點ヲ移ス。

例、 $0.8542 \times 100 = 85.42$

$0.35 \times 1000 = 350$

$5.496 \times 1000 = 5496.0$

(5) 乘法ノ定理

一、被乘數ト乘數トヲ交換スルモ積ハ變ラズ。即、

$甲 \times 乙 = 乙 \times 甲$

此定理ヲ「二數ノ積ハ因數ノ順序ヲ交換スルモ變ラズ」ト云フコトヲ得。

二、三ツ以上ノ數ノ連乘積ハ因數ノ順序ヲ換フルモ變ラズ。即、

$甲 \times 乙 \times 丙 \times 丁$

(110)

$= 甲 \times 丙 \times 丁 \times 乙$

$= 丙 \times 甲 \times 乙 \times 丁 = 等$

三、若干ノ因數ノ積ニ或ル數ヲ掛ケタル結果ハ、其因數中ノ何レルーツニ此乘數ヲ掛ケルニ等シ。即、

$(甲 \times 乙 \times 丙) \times 丁$

$= (甲 \times 丁) \times 乙 \times 丙$

$= 甲 \times (乙 \times 丁) \times 丙 = 等$

上ノ定理ニヨリ

$甲 \times 乙 \times 丙 \times 丁 \times 戊$

$= (甲 \times 乙 \times 丙) \times 丁 \times 戊$

$= (甲 \times 乙) \times (丙 \times 丁) \times 戊 = 等$

四、若干ノ數ノ和ニ或數ヲ掛ケタル積ハ、此等ノ數ノ各々ニ此乘數ヲ別々ニ掛ケタル結果ノ和ニ等シ。即、

$(甲 + 乙 + 丙 + 丁) \times 戊$

$= (甲 \times 戊) + (乙 \times 戊) + (丙 \times 戊) + (丁 \times 戊)$

五、二數ノ差ニ或數ヲ掛ケタル積ハ、被減數ニ此乘數ヲ掛ケタル結果ヨ

○算術公式

(111)

り、減数ニ此乗数ヲ掛ケタル結果ヲ減ツタルモノニ等シ。即、

$$(甲 - 乙) \times 丙 = (甲 \times 丙) - (乙 \times 丙)$$

六 ニツ以上ノ數ノ積ヲ求メルトキ、其因數中ノ一ツガ 0 ナラバ其積ハ 0 ナリ。即、

$$甲 \times 乙 \times 0 \times 丙 = 0$$

七 二數ノ積ヲ求メルトキ、其因數中ノ一ツガ一ナラバ、其數ハ他ノ數ニ等シ。即、

$$甲 \times 1 = 1 \times 甲 = 甲$$

(6) 乘法ノ算法 被乘數乘數ノ右端ノ有効數が同ジ縦ノ行ニ重リナル様ニ被乘數ノ下ニ乘數ヲ書キ、被乘數乘數ノ右端ノ 0 (若シ之アルトキ) ナ無キモノト見做シ、小数點ノ有無ニ關セズ、被乘數ノ右端ノ 0 ナ省キタル數ニ乘數ノ右端ノ 0 ナ省キタル數ノ一ノ位ヨリ始メテ順次乘數ノ各數字ヲ掛ケテ得タル結果ヲ其右端ノ數字ガ、此等ノ結果ヲ與ヘタル乘數ノ數字ノ直下ニ來ル様ニ書キ並ベテ加ヘ合ハセ、此和ノ右端ニ前ニ省キタル被乘數、乘數ガ有スル 0 ノ數ダケノ和ダケノ 0 ナ書キ添ヘ、此積ノ小数ノ桁數ヲシテ、被乘數乘數ノ小数點ノ和ニ等シカラシムベシ。

(1111)

例1. 584 × 7 ナ計算セヨ

[解] 運算

$$\begin{array}{r}
 584 \\
 \times 7 \\
 \hline
 4088
 \end{array}$$

答 4088

例2. 245 × 80 = ?

[解] 245

$$\begin{array}{r}
 245 \\
 \times 80 \\
 \hline
 19600
 \end{array}$$

答 19600

例3. 24500 × 840

[解]

$$\begin{array}{r}
 24500 \\
 \times 840 \\
 \hline
 980 \\
 1960 \\
 \hline
 20580000
 \end{array}$$

答 20580000

例4. 253 × 1355 ナ勘定セヨ。

(解) 
$$\begin{array}{r} 253 \\ \times 1355 \\ \hline 1265 \\ 759 \\ 253 \\ \hline 342815 \end{array}$$

答 342815

例5.  $5050 \times 0.45$

(解) 
$$\begin{array}{r} 5050 \\ \times 0.45 \\ \hline 2525 \\ 2020 \\ \hline 2272.50 \end{array}$$

答 2272.5

例6.  $2.45 \times 0.034$

(解) 
$$\begin{array}{r} 2.45 \\ \times 0.034 \\ \hline 980 \\ 735 \\ \hline 0.08330 \end{array}$$

答 0.0833

例7.  $3.1416 \times 5.994$

(解) 
$$\begin{array}{r} 3.1416 \\ \times 5.994 \\ \hline 125664 \\ 282744 \\ 282744 \\ \hline 157080 \end{array}$$

答 18.8307504

(7) 乗法ノ驗被 被乗數ト乗數ヲ換ヘテ再ビ掛ケ合スベシ。此結果カ前ノ積ニ等シケレバ計算ニ誤リナカルベシ。

(8) 名數ノ乗法 被乗數ハ名數タルコトモ不名數ナルコトモ得レド、乗數ハ必スヤ不名數ナラザルベカラス。被乗數ガ名數ナルトキノ積ハ之ト同種ノ名數ナリ。

(9) 四捨五入 或數ヲ或桁限リ採リテ、其以下ヲ省略スルトキ、省略セラレハ部分ノ首位ノ數ガ四或ハ四以下ナラバ單ニ切捨テ、五或ハ五以上ナラバ繰上ゲテ省略セラレザル部分ノ末位ニ一ヲ加フコトヲ四捨五入ト云フ。例ヘバ、

245.37462 = 於テ、厘以下ヲ四捨五入スレバ、245.37ヲ得。又毛以下ヲ四捨五入スレバ、245.374ヲ得。23.595 = 於テ厘以下ヲ四捨五入スルトキハ、23.60ヲ得レドモ此場合ニ於ケル23.60ヲ23.6トスベカラス。

四捨五入チナスト否トニ關ハラズ、切捨テタルトキハ強トハ餘ト云フ言葉ヲ切捨テ、得タル數ノ終ニ添ヘ、繰上ゲルタトキハ、弱ト云フ言葉ヲ繰上ゲタル數ノ終ニ添ユ。

一、誤差 四捨五入チナシタルト否トニ關セス、凡テ、或數ヲ省略セラレタル數トノ差ヲ誤差ト云フ。

二、四捨五入チナシタルトキノ誤差ノ範圍 四捨五入ノ結果ヲ於ケル誤差ハ一般ニ省略セラレタル部分ノ首位ニ於ケル5、即チ、省略セラレザル部分ノ末位ニ於ケル0.5ヨリモ小ナリ。然レドモ、特別ノ場合ニ於テハ等シキコトアリ。

(10) 冪(方乘) 同シ數ヲ幾ツモ取リテ掛ケ合セタル積ヲ、其數ノ冪或ハ方乘ト云ヒ、同シ數ヲ二ツ、三ツ、四ツ、五ツ、..... 取リテ掛ケ合セタル積ヲ、夫々、其數ノ第二冪(二乘)、第三冪(三乘)、第四冪(四乘)、第五冪(五乘)...

ト云ヒ、其數自身ヲ其數ノ第一冪(一乘)ト云フコトアリ。

一、平方(自乘) 第二冪ヲ特ニ平方或ハ自乘ト云フ。

二、立方 第三冪ヲ特ニ立方ト云フ。

三、指數 或數ノ冪ニ於テ、其數ガ因数トシテ用ヰラレル回數ヲ示ス數ヲ此數ノ指數ト云フ、

四、冪ノ書キ方 元ノ數ノ右肩ニ指數ヲ小ク書クモノトス。例ヘバ、6ノ第四冪 即チ、 $6 \times 6 \times 6 \times 6$ ヲ $6^4$ トスルガ如シ。

五、冪ノ定理

I. 十進數ハ何レモ10ノ冪ナリ。即、

$$10^2 = 10 \times 10 = 100,$$

$$10^3 = 10 \times 10 \times 10 = 1000,$$

$$\dots = \dots$$

$$\dots = \dots$$

II. 同數ノ二ツ以上ノ冪ノ積ハ、元ノ冪ノ指數ノ和ヲ指數トスル同數ノ冪ニ等シ。

$$\text{即、 } a^m \times a^n = a^{m+n}$$

$$甲^m \times 甲^n \times 甲^p = 甲^{m+n+p}$$

$$\dots \dots \dots = \dots \dots \dots$$

但シ、m, n, p, ハ任意ノ整数ヲ表ハスモノトス

### 第四章 除法(割り算)

#### (1) 除法

一. 意味 甲数ヲ乙数ニテ割ルトハ、甲数ノ中ニハ乙数ヲ幾ッ含マルカヲ求ムルコトニシテ、ツマリ、甲数ヨリ乙数ヲ何回引ケバ、残リが無クナルカ或ハ残リガ乙数ヨリ小トナルカヲ求ムルコトナリ。

二. 定義 甲数ヲ乙数ニテ割リタル結果ヲ簡單ニ求ムル方法ヲ云フ。

三. 被除数(質)及除数(法) 甲数ヲ乙数ニテ割ルトキ、甲数ヲ被除数或ハ質ト云ヒ、乙数ヲ除数或ハ法ト云フ。

四. 商及剰餘 甲数ヲ乙数ニテ割ルトキ、其何回含ムカト云フ回数ヲ示ス数ヲ商ト云ヒ、残リヲ剰餘ト云フ。剰餘ハ殘餘或ハ單ニ殘リ、餘リトモ云フ。

五. 割り切レル(整除セラル) 甲数ヲ乙数ニテ割ルトキ剰餘ナキトキハ

割り切レル或ハ整除セラルト云フ。ヨリテ、

$$\text{被除数} = \text{除数} \times \text{商}$$

六. 割り切レヌ(整除セラレヌ) 甲数ヲ乙数ニテ割ルトキ剰餘アルトキハ、割り切レヌ或ハ整除セラレヌト云フ。ヨリテ、

$$\text{被除数} = (\text{除数} \times \text{商}) + \text{剰餘}$$

七. 整商(完全商) 甲数ヲ乙数ニテ割ルトキ、割り切レタルトキノ商ヲ整商或ハ完全商ト云ヒ、單ニ商ト云フ。

【注意】 割ル、除スルハ、皆同ッ意味ノ言葉ナリ。

(2) 除號 符號(÷)ヲ除號ト云ヒ、二数ノ間ニ置キ其前ニアル数ヲ其後ニアル数ニテ割ルコトヲ示ス。

(3) 除法ノ別解釋及二見解

一. 別解釋 除法ハ積ト一因数トヲ知りテ、他ノ一因数ヲ求ムル方法ナリ。

二. 二見解

I. 幾ッ含マレ居ルカヲ求ムルコト、

II. 等分スルコト。

(4) 十進數分スルコト

一. 整数ヲ十進數分 スルニハ、其數ノ右端ニ小數點ガアルモノト看做シ、其小數點ヲ十進數ノ有スル 0 ノ數ト同シ數ダケノ桁數ダケ左へ移ス。

例.  $2534 \div 100 = 25.34$

$4539 \div 100000 = 0.04539$

二. 小數ヲ十進數分 スルニハ、其數ノ小數點ヲ十進數ガ有スル 0 ノ數ト同シ數ダケノ桁數ダケノ桁數ダケ左へ移ス。

例.  $432.57 \div 100 = 4.3257$

$0.3502 \div 1000 = 0.0003502$

【注意】 或數ト 1 トノ積ハ或數ニ等シキヲ以テ、

一. 或數ヲ其數自ラニテ除シタル商ハ 1 ナリ。

二. 或數ヲ 1 ニテ除シタル商ハ或數ニ等シ。

又 0 ト或數トノ積ハ 0 ニ等シキヲ以テ、

三. 0 ナリ或數ニテ除シタル商ハ 0 ナリ。

(5) 整数除法

一. 除數ガ基數ナルトキ 除數ガ基數ナルトキハ被除數ヲ書キ、其左方

ニ曲線 ( ナ引キ、其左方ニ除數ヲ書キ、被除數ノ下ニ一横線ヲ引ク。被除數ノ左方ヨリ右方ニ除數ヨリモ小ナラザル數ヲ取りテ第一部分實トシ、之ヲ除數ニテ割リタル商ヲ第一部分商トシ、第一部分商ト除數トノ積ヲ第一部分實ヨリ引キ、其殘リニ次ノ下ノ數字一個ヲ添ヘテ第二部分實トシ、之ヲ除數ニテ割リ、其商ヲ第二部分商トシ、第二部分商ト除數トノ積ヲ第二部分實ヨリ引ク。以テ同法ヲ續クルモノトス。若シ、第一部分商ト除數トノ積ヲ第一部分實ヨリ引キタル殘リニ次ノ數字一個ヲ添ヘテ第二部分實トスルトキ、此第二部分實ガ除數ヨリ小ナルトキハ、此第二部分實ニ次ノ數字ヲ添ヘ、第二部分商ニ 0 ナ置クモノトス。而シテ、第一部分商ノ位ハ第一部分實ノ末位ト同位ナリ。

例1.  $2534 \div 7$  ナ計算セヨ

〔解〕 
$$\begin{array}{r} 7 \overline{) 2534} \\ \underline{362} \phantom{0} \\ 176 \phantom{0} \\ \underline{1176} \\ 60 \phantom{0} \\ \underline{56} \phantom{0} \\ 40 \phantom{0} \\ \underline{28} \phantom{0} \\ 12 \phantom{0} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ 20 \phantom{0} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ 60 \phantom{0} \\ \underline{56} \phantom{0} \\ 40 \phantom{0} \\ \underline{28} \phantom{0} \\ 12 \phantom{0} \\ \underline{14} \phantom{0} \\ 20 \phantom{0} \end{array}$$

答 362

例2.  $4704 \div 4$  ナ計算セヨ

〔解〕 
$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 4704} \\ \underline{4} \phantom{00} \\ 70 \phantom{0} \\ \underline{68} \phantom{0} \\ 20 \phantom{0} \\ \underline{20} \phantom{0} \\ 4 \phantom{0} \\ \underline{4} \phantom{0} \\ 0 \phantom{0} \end{array}$$

答 1176

例3.  $20152 \div 4$  ナ計算セヨ

$$\begin{array}{r} 4 \overline{) 20152} \\ \underline{5038} \end{array}$$

答 5038

例4.  $235 \div 8$

[解]  $8 \overline{) 235}$   
 $\underline{20} \dots \dots \dots 3$

答 { 商 29  
      剩餘 3

I 剩餘ノ所分 例4 = 於ケル如ク剩餘アルトキハ、單ニ剩餘トシテ商ニ附記スルモ或ハ除法ヲ續ケテ小数トナスモ又ハ分數ノ形ニテ表ハスモ可ナリ。即チ

$$\begin{array}{r} 8 \overline{) 235} \\ \underline{209} \quad 375 \end{array}$$

答 29.375

$$\begin{array}{r} 8 \overline{) 235} \\ \underline{209} \quad \frac{3}{8} \end{array}$$

答  $29\frac{3}{8}$

II. 短除法 除數が一桁ナル除法ヲ云フ。

二. 除數が其數ノ右ニ若干ノ0ヲ有スル數ナルトキ 除數が其數ノ右ニ若干ノ0ヲ有スルトキハ、先ヅ、與ヘラレタル被除數ヲ基數ニテ除シ、其商ヲ

基數ノ右ニアル0ノ數ダケノ有スル十進數ニテ除スベシ。

例1.  $26800 \div 200 = ?$

[解]  $2 \overline{) 26800}$   
 $100 \overline{) 13400}$   
 $\underline{134}$

答 134

實際ハ次ノ如クス

$$\begin{array}{r} 200 \overline{) 26800} \\ \underline{134} \end{array}$$

答 134

例2.  $25347 \div 900 = ?$

[解]  $900 \overline{) 25347}$

$$2 \dots \dots \dots 7347$$

或ハ

答 { 商 2  
      剩餘 7347

$$9000 \overline{) 25347}$$

$$\begin{array}{r} 2 \overline{) 7347} \\ \underline{9000} \end{array}$$

三. 一般ノ場合 除數ガ二桁以上ノ數ナルトキハ先ツ被除數ヲ書キ其左右ニ曲線ヲ書キ其左方ニ除數ヲ其右左ニ商ヲ書ク。被除數ノ左方ヨリ右方ニ除數ヨリモ小ナラザル最小ノ數字ヲ取り之ヲ第一部分實トシ之ヲ除數ニテ割リ其商ヲ第一部分商トシ第一部分實ヨリ除數ト第一部分商トノ積ヲ引キ其殘リニ被除數ノ次ノ一ツノ數字ヲ添ヘ第二部分實トシ前法ヲ繰リ返スベシ。若シモ第二部分實トシタルノガ除數ヨリモ小ナルトキハ之ニ次ノ數字一ツヲ添ヘテ第三部分實トシ第二部分商ニハ0ヲ書クモノニシテ其他之ニ準ズ。但シ、整數ニテ除スルトキ第一部分商ノ位ハ第一部分實ノ末位ト同位ナリ。

例1.  $77665 \div 245 = ?$

[解]  $245 \overline{) 77665} (317$

$$\begin{array}{r} 77665 \\ \underline{735} \\ 416 \\ \underline{245} \\ 1715 \\ \underline{1715} \\ 0 \end{array}$$

答 317

例2.  $394226 \div 535 = ?$

[解]  $535 \overline{) 394226} (738$

$$\begin{array}{r} 394226 \\ \underline{3745} \\ 2072 \\ \underline{1805} \\ 4676 \\ \underline{4280} \\ 396 \end{array}$$

答  $738 \frac{396}{535}$

例3.  $645696 \div 912 = ?$

[解]  $912 \overline{) 645696} (708$

$$\begin{array}{r} 645696 \\ \underline{6384} \\ 7296 \\ \underline{7206} \\ 90 \end{array}$$

答 708

I. 長除法 除數ガ二桁ノ除法ヲ云フ。  
 (6) 除法ノ驗 剩餘ナキ場合ハ除數ト商トノ積ヲ求メ剩餘アルトキハ



此積 = 剰餘ヲ加フベシ。

(7) 除法ノ定理

一. 一數ヲ若干ノ數ニテ順次ニ除シタル商ハ、一數ヲ若干ノ數ノ順次ヲ換ヘテ除スルモ變ラズ。即チ、

$$\begin{aligned} \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} &= \text{甲} + \text{丙} + \text{乙} \\ \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} \div \text{丁} + \text{戊} &= \text{甲} + \text{丙} + \text{丁} \div \text{戊} + \text{乙} \\ &= \text{甲} \div \text{戊} + \text{乙} + \text{丙} \div \text{丁} \\ &= \text{甲} + \text{丁} + \text{丙} + \text{乙} \div \text{戊} \\ &= \text{等} \end{aligned}$$

二. 一數ヲ若干ノ數ニテ順次ニ除シタル商ハ、一數ヲ若干ノ數ノ積ニテ除スルモ變ラズ。即チ、

$$\begin{aligned} \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} &= \text{甲} + (\text{乙} \times \text{丙}) \\ \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} \div \text{丁} + \text{戊} &= \text{甲} + (\text{乙} \times \text{丙} \times \text{丁} \times \text{戊}) \end{aligned}$$

三. 一數ヲ若干ノ數ノ積ニテ除シタル商ハ、一數ヲ若干ノ數ニテ順次ニ除スルモ變ラズ。即チ、

$$\text{甲} \div (\text{乙} \times \text{丙}) = \text{甲} + \text{乙} \div \text{丙}$$

$$\text{甲} + (\text{乙} \times \text{丙} \times \text{丁}) = \text{甲} + \text{乙} + \text{丙} + \text{丁}$$

四. 被除數ヲ若干倍スレバ、商ハ同數セラレ。被除數ヲ若干分スレバ、商ハ同數分セラル。即チ、

$$(\text{甲} \times \text{丙}) \div \text{乙} = (\text{甲} + \text{乙}) \times \text{丙}$$

$$(\text{甲} + \text{丙}) \div \text{乙} = (\text{甲} \div \text{乙}) + \text{丙}$$

五. 除數ヲ若干倍スレバ、商ハ同數分セラレ。除數ヲ若干分スレバ、商ハ同數倍セラル。即チ、

$$\text{甲} \div (\text{乙} \times \text{丙}) = (\text{甲} + \text{乙}) \div \text{丙}$$

$$\text{甲} + (\text{乙} + \text{丙}) = (\text{甲} + \text{乙}) \times \text{丙}$$

六. 被除數、除數ノ双方ニ同數ヲ掛ケルモ。被除數、除數ノ双方ヲ同數ニテ除スルモ。商ハ變ラズ。即チ、

$$\text{甲} + \text{乙} = (\text{甲} \times \text{丙}) \div (\text{乙} \times \text{丙}) = (\text{甲} + \text{丙}) \div (\text{乙} \div \text{丙}) \quad (三七)$$

七. ニツ或ハニツ以上ノ數ノ和ヲ或數ニテ除シタル商ハ、此等ノ數ノ各々ヲ此除數ニテ除シタル結果ノ和ニ等シ。即チ、

$$(\text{甲} + \text{乙}) \div \text{丙} = (\text{甲} \div \text{丙}) + (\text{乙} \div \text{丙})$$

$$\begin{aligned} & (\text{甲} + \text{乙} + \text{丙} + \text{丁}) \div \text{戊} \\ & = (\text{甲} \div \text{戊}) + (\text{乙} \div \text{戊}) + (\text{丙} \div \text{戊}) + (\text{丁} \div \text{戊}) \end{aligned}$$

八. 二數ノ差ヲ或數ニテ除シタル商ハ、二數ノ各々ヲ此除數ニテ除シタル結果ノ積ニ等シ。即チ、

$$(\text{甲} - \text{乙}) \div \text{丙} = (\text{甲} \div \text{丙}) - (\text{乙} \div \text{丙})$$

九. 上ノ七八ニヨリテ、

$$\begin{aligned} & (\text{甲} - \text{乙} + \text{丙} - \text{丁}) \div \text{戊} \\ & = (\text{甲} \div \text{戊}) - (\text{乙} \div \text{戊}) + (\text{丙} \div \text{戊}) - (\text{丁} \div \text{戊}) \end{aligned}$$

(8) 小数除法

一. 除數ガ整数ナルトキ 整数除法ト同様、只々注意スベキハ、第一部分商ノ位ハ、第一部分實ノ末位ト同位ナルコトナ。

例1.  $24.537 \div 5 = ?$

[解] 
$$\begin{array}{r} 5 \overline{) 24.537} \\ \underline{10} \phantom{00} \\ 14 \phantom{00} \\ \underline{10} \phantom{00} \\ 4 \phantom{00} \\ \underline{40} \phantom{0} \\ 7 \phantom{0} \\ \underline{70} \\ 0 \end{array}$$
 答 4.9074

例2.  $0.08542 \div 32 = ?$

[解]  $32 \overline{) 0.08542} \quad (0.002669375)$

$$\begin{array}{r} 64 \\ \underline{214} \\ 192 \\ \underline{222} \\ 192 \\ \underline{300} \\ 288 \\ \underline{120} \\ 96 \\ \underline{240} \\ 224 \\ \underline{160} \\ 160 \\ \underline{0} \end{array}$$

答  $0.002669375$

二. 除數ガ小数ナルトキ 被除數、除數ノ双方ニ同數(十進數)ヲ掛ケテ、除數ヲ整数トナシ、後、普通除法ノ如クス。

例1.  $2735 \div 0.04 = ?$

[解]  $0.04 \overline{) 2735}$   
 即  $4 \overline{) 273500}$   
           68375      答 68375

例2.  $0.043 \div 0.0008 = ?$

[解]  $0.0008 \overline{) 0.043}$   
 即  $8 \overline{) 430}$   
           53.75      答 53.75

例3.  $0.096 \div 4.7563$  ナ小數第三位マテ求メ, 以下ヲ四捨五入セヨ。

[解]  $4.7563 \overline{) 0.096}$   
 即  $47563 \overline{) 960.00} (0.0201$   
                   95126  
                   87400  
                   47563  
                   39837

答 0.020 強

【注意】 小數何位マテ求メ以下ヲ四捨五入スルトキニ當リ所要ノ桁ノ末位ガ0トナルモ, 此0ハ省ク可カラズ。上ノ例3ノ如シ。

例4.  $94.32 \div 2.538$  ナ小數第三位マテ求メヨ。

[解]  $2.538 \overline{) 94.32}$   
 即  $2538 \overline{) 94320} (37.163$   
           7614  
          18180  
          17766  
           4140  
           2538  
           16020  
           15228  
           7920  
           7614  
           306      答 37.163

(9) 名数除法 被除数、除数トモ名数タルコトヲ得ルモノニシテ、被除数  
 が名数ニテ除数が不名数ナルトキハ商ハ被除数ト同名数。被除数除数が名数ナ  
 ルトキハ双方共ニ同名数ナルヲ要シ、商ハ不名数ナリ。

(10) 平均数 若干ノ同種ノ数ノ平均トハ、其数ノ和ヲ其個數ニテ除シタ  
 ル商ノコトナリ。

(11) 除法ノ冪ノ定理

或数ノ冪ヲ同数ノ之ヨリ小ナル冪ニテ除シタル商ハ、其指数ノ差ヲ指数ト  
 セル同数ノ冪ナリ。即チ、

$m$  ト  $n$  トナ任意ノ整数トシ  $m > n$  トスレバ、

$$甲^m \div 甲^n = 甲^{m-n}$$

上ノ定理ニヨリ、次ノ定理ヲ導クモノトス。

$$甲^m \div 甲^m = 甲^{m-m} = 甲^0 = 1$$

第五章 式ノ解キ方

(1) 式 数字ト符號トノ集リヨリナリテ、一ツノ計算ヲ示スモノヲ式ト云  
 フ。例ヘバ、 $5 + 8$ ,  $4 \times 7 - 5$ ,  $(24 + 8) \div 4 - 30 \div 5$ ,  
 $\{(2 + 3) \times 13 - (5 - 3) \div 2\} \times 3$ ,  $7 + 6 = 13$  等ノ如シ。

(2) 式ノ解キ方

一、加減ノ符號ヲ有スル式 左方ヨリ順次右方ニ計算スベシ。

例.  $5 + 8 - 3 + 4 - 6 = 13 - 3 + 4 - 6$   
 $= 10 + 4 - 6 = 14 - 6 = 8$  答 8

二、乗除ノ符號ヲ有スル式 左方ヨリ順次右方ニ計算スベシ。

例.  $8 \times 5 \div 4 \times 9 \div 3 = 40 \div 4 \times 9 \div 3$   
 $= 10 \times 9 \div 3 = 90 \div 3 = 30$  答 30

三、加減乗除ノ符號ヲ有スル式 先ツ二ニヨリテ乗除ヲ先キニシ、一ニ  
 ヨリテ加減ヲ後チニスベシ。

例  $18 \times 3 - 24 \div 6 + 5 \times 70 \div 10$   
 $= 54 - 4 + 350 \div 10$   
 $= 54 - 4 + 35$   
 $= 50 + 35$   
 $= 85$  答 85

四、括弧及括線ヲ有スル式 次ノ例ノ如クス

例1.  $125 + (18 - 7) = 125 + 11 = 136$

答 136

$$\begin{aligned}
\text{例2. } & 168 - \{123 - (10 + 9 - \overline{8 + 11})\} \\
& = 168 - \{123 - (10 + 9 - 19)\} \\
& = 168 - \{123 - 0\} \\
& = 168 - 123 \\
& = 45
\end{aligned}$$

答 45

$$\begin{aligned}
\text{例3. } & [10000 - (584 + 495 \div 3) \times 5] \times 7 \div 56 - 11 \times 3 \\
& = [10000 - (384 + 165) \times 5] \times 7 \div 56 - 33 \\
& = [10000 - (549 \times 5) \times 7 \div 56 - 33 \\
& = [10000 - 4392] \times 7 \div 56 - 33 \\
& = 5608 \times 7 \div 56 - 33 \\
& = 39256 \div 56 - 33 \\
& = 701 - 33 \\
& = 668
\end{aligned}$$

答 668

$$\begin{aligned}
\text{例4. } & 7^3 \times 200 - 4^3 \times 11^2 \\
& = (7 \times 7 \times 7) \times 200 - (4 \times 4 \times 4) \times (11 \times 11)
\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
& = 343 \times 200 - 64 \times 121 \\
& = 68600 - 7744 \\
& = 60856
\end{aligned}$$

答 60856

### 第三編 整数ノ性質

【注意】本編ニ於テ論ズル数ハ整数ナルヲ以テ、別ニ斷リナケレバ整数ノコトナリ。

#### 第一章 約數及倍數

(1) 約數及倍數 甲數ガ乙數ニテ整除セラル、トキ、甲數ハ乙數ノ倍數、乙數ヲ甲數ノ約數ト云フ。而シテ、約數ハ、又、因數トモ云フ

(2) 素數及非素數 1 及ビ其數自身ノ外、他ノ數ニテ整除セラレヌ數ヲ素數ト云ヒ、否ラザル數ヲ非素數ト云フ。而シテ、素數ハ單純ナル數トモ云ヒ、非素數ハ複數或ハ複素數又ハ複雜ナル數トモ云フ。

(3) 素因數 或數ノ因數ガ素數ナルトキ、之ヲ素因數ト云フ。

(4) 公倍數 若干ノ數ノ各々ニテ整除ヒラル、數ヲ此等ノ數ノ公倍數ト云フ。例ヘバ、45 ハ 3, 5, 15ノ各々ニテ整除ヒラル、ヲ以テ、45 ハ 3, 5,

15ノ公倍数ナリ

(5) 公約數 若干ノ數が同一ノ約數ヲ有スルトキ、此約數ヲ、此等ノ數ノ公約數ト云フ。例ヘバ、14, 28, 63ハ何レモ7ナル約數ヲ有スルヲ以テ、7ハ14, 28, 63ノ公約數ナリ。

【注意】 1ハ總テノ數ノ約數ナリ。

(6) 互素數 二數が1ノ外公約數ヲ有セザルトキ、二數ハ互ニ素ナリ或ハ互素數ト云フ。

三數或ハ三數以上ニシテ、其中ノ何レノ二ツニ採ルモ互ニ素ナルトキ、此等ノ數ハ互ニ素ナリ或ハ互素數ト云フ。

(7) 偶數及奇數 2ニテ整除セラルハ數ヲ偶數或ハ丁(調)ノ數ト云ヒ、2ニテ整除セラレザル數ヲ奇數或ハ半ノ數ト云フ。

$n$ ヲ任意ノ整數トスルトキ、 $2n$  ( $2 \times n$ ノ略)ハ偶數ヲ表シ、

$2n \pm 1$  ( $2n + 1$  或ハ  $2n - 1$ ノ略)ハ奇數ヲ表ハスモノトス。

(8) 約數及倍数ニ關スル定理

一. 若干ノ數ノ公約數ハ亦此等ノ數ノ和ノ約數ナリ。

例ヘバ、4, 12ハ2ナル公約數ヲ有ス。由リテ、 $2 \times 4 + 12 = 16$

ノ約數ナリ。又、 $9 \times 18, 27, 63$ ノ公約數、ヨリテ、 $9 \times 18 + 27 + 63 = 108$ ノ約數ナリ。

二. 二數ノ公約數ハ其差ノ約數ナリ。

例ヘバ、 $5 \times 60, 45$ ノ約數ナルヲ以テ、 $60 - 45 = 15$ ノ約數ナリ。

三. 或數ノ約數ハ、其數ノ總テノ約數ナリ。

例ヘバ、 $6 \times 24$ ノ約數ナルヲ以テ、 $24 \times 2 = 48, 24 \times 7 = 168$ .....等ノ約數ナリ。

四. 二ツ或ハ二ツ以上ノ互ニ素ナル數ニテ割り切レル數ハ亦此等ノ數ノ積ニテ割り切レル。

例ヘバ、 $60$ ハ、 $2, 3, 5$ ノ各々ニテ割り切レル。而シテ、 $2, 3, 5$ ハ互ニ素ナル數ナルヲ以テ、 $60 \times 2 \times 3 \times 5 = 30$ ニテ割り切レル。

(9) 簡單ナル約數ニ關スル定理

一. 2ノ性質定理 右端ノ一位が0ナルカ、偶數ナル數ハ2ニテ整除シ得。例ヘバ、 $250, 3400, 846, 5728$ ハ何レモ2ニテ整除シ得。

二. 3ノ性質定理 各位數字ノ和が3ノ倍数ナル數ハ、3ニテ整除シ

得。例へば、 $25104$  = 於テノ各位數字ノ和ハ  $2 + 5 + 1 + 0 + 4 = 12$  ニシテ、 $12$  ハ  $3$  ノ倍数ナルヲ以テ、 $25104$  ハ  $3$  ニテ整除シ得。

(4) 一數ヲ  $3$  除シテ得ル殘數ハ各位數字ノ和ヲ  $3$  除シテ得ル殘數ニ等シ。

三. 4ノ性質定理 右端ノ二位ガ  $0$  ナルカ、 $4$  ノ倍数ナル數ハ、 $4$  ニテ整除シ得。

例へば、 $2500$ 、 $36824$  ハ  $4$  ニテ整除シ得。

四. 5ノ性質定理 右端ノ一位ガ  $0$  ナルカ、 $5$  ナル數ハ、 $5$  ニテ整除シ得。

例へば、 $2410$ 、 $3595$  ハ  $5$  ニテ整除シ得。

五. 6ノ性質定理 偶數ニシテ且ツ  $3$  ノ倍数ナル數ハ  $3$  ニテ整除シ得。

例へば、 $4512$  ハ偶數ニシテ且ツ  $3$  ノ倍数ナルヲ以テ、 $5$  ニテ整除シ得。

六. 7ノ性質定理 右端ノ一位ノ數ノ  $20$  倍ト残りノ上位數トノ差ガ  $0$  ナルカ、或ハ  $7$  ノ倍数ナル數ハ、 $7$  ニテ整除シ得。例へば、 $147$  = 於テ、 $140 - 7 \times 20 = 0$  ナルヲ以テ、 $147$  ハ  $7$  ニテ整除シ得。又、 $183$  = 於テ、 $480 - 3 \times 20 = 420 = 60 \times 7 = 7$  ノ倍数ナルヲ以テ、

$420$  ハ  $7$  ニテ整除シ得。

七. 8ノ性質定理 右端ノ三位ガ  $0$  ナルカ  $8$  ノ倍数ナル數ハ  $8$  ニテ整除シ得。例へば、 $25000$ 、 $21944$  ハ  $8$  ニテ整除シ得。

八. 9ノ性質定理 各位數字ノ和ガ  $9$  ノ倍ナル數ハ、 $9$  ニテ整除シ得。例へば、 $232506$  = 於テ、 $2 + 3 + 2 + 5 + 0 + 6 = 18$  ニシテ、 $18$  ハ  $9$  ノ倍数ナルヲ以テ、 $232506$  ハ  $9$  ニテ整除シ得。

(4) 一數ヲ  $9$  除シテ得ル殘數ハ、各位數字ノ和ヲ  $9$  除シテ得ル殘數ニ等シ。

【注意】 之ニヨリテ四則ノ驗ヲナスコトヲ得。

(□) 或數ト其轉位數トノ差ハ  $9$  ノ倍数ナリ。即チ、  
或數 - 轉位數 =  $9$  ノ倍数

九. 11ノ性質定理 右端ヨリカツヘテ、奇數番目ニ當ル數字ノ和ト偶數番目ニ當ル數字ノ和トノ差ガ  $0$  ナルカ或ハ  $11$  ノ倍数ナル數ハ、 $11$  ニテ整除シ得。例へば、 $709280$  = 於テ、 $(0 + 2 + 0) - (8 + 9 + 7) = 2 - 24 = 24 - 2 = 22$  ニシテ、 $22$  ハ  $11$  ノ倍数ナルヲ以テ、 $709280$  ハ  $11$  ニテ整除シ得。

(イ) 或數ヲ 11 除シテ得ル殘數ハ、右端ヨリカクヘテ奇數番目ニ當ル數字ノ和ト偶數番目ニ當ル數字ノ和トノ差ヲ 11 除シタル殘數ニ等シ。

【注意】 之ニヨリテ、四則演算ノ驗ヲナスコトヲ得。

(ロ) 或數ト其轉位數トノ差ハ 11 ノ倍數ナリ。

即チ、

$$\text{或數} - \text{其轉位數} = 11 \text{ノ倍數}$$

### 第二章 轉位數

(1) 轉位數 或數ノ轉位數トハ、其數ヲ組立ツル數字ノ順ヲ轉倒シタル數ノコトナリ。例ヘバ、2463 ノ轉位數トハ 3642 ニシテ、2508 ノ轉位數トハ 8052 ノコトナリ。

(2) 轉位數ノ定理

一. 二位數ト其轉位數トノ差ヲ 9 倍シタル商ハ兩數字ノ差ニ等シ。例ヘバ、 $(25 - 52) \div 9 = (52 - 25) \div 9 = 27 \div 9 = 3 = 5 - 2$  ナリ。

二. 二位數ト其轉位數トノ和ヲ 11 倍シタル數ハ兩數字ノ和ニ等シ。例ヘバ、 $(85 + 58) \div 11 = 143 \div 11 = 13 = 8 + 5$  ナリ。

三. 三位數ト其轉位數トノ差ヲ 99 除ヒシ數ハ百ノ位ノ數字ト一ノ位

ノ數字トノ差ニ等シ。例ヘバ、 $(854 - 458) \div 99 = 396 \div 99 = 4 = 8 - 4$  ナリ。

### 第三章 連續數

(1) 連續數 次第ニ 1 ヅツ多キ諸數ノ一群ヲ云フ。例ヘバ 1, 2, 3, 4 或

ハ 18, 19, 20 等ノ如シ。

一. 連續偶數 偶數ニ始マリテ、次第ニ 2 ヅツ多キ諸數ノ一群ヲ云フ。

二. 連續奇數 奇數ニ始マリテ、次第ニ 2 ヅツ多キ諸數ノ一群ヲ云フ。

(2) 連續數ノ定理

一. 連續諸數ノ積ハ 1 ヨリ其諸數ノ數マテニ至ル連續諸數ノ積ノ倍數ナリ。例ヘバ、連續二數ノ積ハ  $1 \times 2$  ノ倍ニシテ、連續三連ノ積ハ  $1 \times 2 \times 3$  ノ倍數ナリ。

二. 2 ヨリ始マル連續偶數ノ和ハ、其項數ノ平方ト項數トノ和ニ等シ。例ヘバ、 $2 + 4 + 6 + 8 = (4 - 2) + 4 + (4 + 2) + (4 + 4) = 4 + 4 + 4 + 4 = 16 + 4 = 4^2 + 4$  ナリ。



三. 1より起ル連続奇数ノ和ハ其項數ノ平方ニ等シ. 例ヘハ,  $1 + 3 + 5 = 3^2$   
 $3 + 5 + 7 + 9 = 4^2$  等ニシテ  $1 + 3 + 5 + 7 + 9 = 5^2$  ナリ.

(1) 素数 第一章(2)ヲ看ヨ.

一. 素数ノ表ヲ作ル法 1ヨリ始マル連続數ヲ列書シ, 2ノ次ヨリ二ツ目  
毎ニアル數ヲ消シ, 次ニ, 3ノ次ヨリ三ツ目毎ニアル數ヲ消シ, 次ニ 5ノ  
次ヨリ五ツ目毎ニアル數ヲ消ス等, 逐次斯ノ如クシテ得タル残りノ數ハ素數  
ナリ.

二. 素数ノ檢定法 與ヘラレタル數ガ素數ナルヤ否ヤヲ知ランニハ, 與ヘ  
ラレタル數ヲ 2, 3, 5, 7, ... 等ノ素數ニテ小ナル素數ヨリ始メテ順次  
ニ除シ, 除數ヨリモ小ナル數ヲ得ルニ至ルモ尙ホ殘數アラバ, 其數ハ素數ナ  
リ.

三. 定理

(1) 素數ハ 2ノ外ハ奇數ナリ.

(2) 素數ノ數ハ際限ナシ.

(3) 非素數 第一章(2)ヲ看ヨ.

一. 定理 總テノ非素數ハ若干ノ素因數ノ積ニ等シ.

二. 素因數ニ分解スル法 與ヘラレタル非素數ヲ素因數ニ分解スルニハ,  
其數ヲナル可ク小ナル素數ニテ割リ, 其商ヲナル可ク小ナル素數ニテ割リ,  
又, 其商ヲナル可ク小ナル素數ニテ割ル等, 逐次, 此方法ヲ續ケ素數ナル商  
ヲ得ルニ至リテ止ム. 然ルトキハ, 順次用井タル除數ト最後ノ商トハ素數  
所ノ素因數ナリ. 例ヘハ, 4095ノ素因數ヲ求メルニハ次ノ如クス.

$$\begin{array}{r}
 3 \overline{) 4095} \\
 \underline{3} \phantom{0} \phantom{9} \phantom{5} \\
 1365 \\
 3 \overline{) 1365} \\
 \underline{9} \phantom{6} \phantom{5} \\
 455 \\
 5 \overline{) 455} \\
 \underline{15} \phantom{5} \\
 91 \\
 7 \overline{) 91} \\
 \underline{14} \\
 13
 \end{array}$$

答  $3 \times 3 \times 5 \times 7 \times 13$   
或  $3^2 \times 5 \times 7 \times 13$

### 第五章 約數ノ發見法

(1) 約數ノ發見法 與ヘラレタル數ヲ素因數ニ分解シ, 而シテ, 此等ノ  
素因數ヲ種々ニ組合セタル總テノ數ヲ作レバヨシ.

(2) 定理 與ヘラレタル數ノ約數ノ數ハ, 其各素因數ノ指數ニ 1 ヅツ加  
ヘタルモノノ積ニ等シ. 例ヘバ, 1260ノ總テノ約數ノ數ヲ求メルニハ, 先

之ヲ素因数ニ分解スレバ、

$$1260 = 2^3 \times 3^3 \times 5^1$$

○算術公式

トナルヲ以テ、約數ノ總テハ

$$(2 + 1) \times (3 + 1) \times (1 + 1) = 18$$

ナリ。

### 第六章 最大公約數

(1) 最大公約數 公約數中ノ最大ナルモノヲ云フ。例ヘバ、2, 3, 4, 12  
ハ、2, 4, 3, 6, 4, 8 ノ公約數ニシテ 1, 2 ハ最大公約數ナリ。

【注意】 最大公約數ヲ G. C. M. ト略記ス。

(2) G. C. M. ノ定理 被除數ト除數トノ G. C. M. ハ除數ト剩餘トノ  
G. C. M. ニ等シ。

(五四)

(3) G. C. M. ヲ求ムル法

一 因數法 與ヘラレタル諸數ヲ素因数ニ分解シ、而シテ、其各數ニ通有  
セル因數ノ指數ノ最モ低キモノ、連乘積ヲ作レ。

例. 36, 42, 84 ノ G. C. M. ヲ求メヨ。

[解]

$$36 = 2^2 \times 3^2$$

$$42 = 2 \times 3 \times 7$$

$$84 = 2^2 \times 3 \times 7$$

所要ノ G. C. M. =  $2 \times 3 = 6$

答 6

實ハ次ノ如クス。

$$2 \overline{) 36, 42, 84}$$

$$3 \overline{) 18, 21, 42}$$

$$6 \quad 7 \quad 14$$

$$G. C. M. = 2 \times 3$$

答 6

之ニ由テ、次ノ規則ヲ得。

各數ヲ順チ追フテ此各ヲ公約數ニテ除シ、其各商ヲ順チ追フテ其數ノ下  
ニ列書シ、其各商ヲ公約數ニテ除シ、公約數アル間ハ此方法ヲ續ケ、公  
約數ナキニ至リテ止メ、各除數ノ積ヲ求ムベシ。

二 互除法

(1) 二數ノ G. C. M.

ヲ求メルニハ、先ツ、小ナル方ノ數ニテ大

○算術公式

(五五)

○算術公式

ナル方ノ數ヲ除シ、其殘數ニテ小ナル方ノ數ヲ除シ、其殘數ヲ前ノ殘數ニテ除シ、殘數アル間ハ此方法ヲ繰ケ、殘數ナキニ至リ、テ止メバ最後ノ除數ハ二數ノ G. C. M. ナリ。

例 6407 ト 2021 ト ノ G. C. M. ナ求メヨ。

(解) 
$$\begin{array}{r} 2021 \overline{) 6407} \quad (3) \\ \underline{6063} \phantom{00} \\ 344 \phantom{00} \quad (5) \\ \underline{1720} \phantom{00} \\ 301 \phantom{00} \quad (1) \\ \underline{301} \phantom{00} \\ 43 \phantom{00} \quad (7) \\ \underline{301} \phantom{00} \\ 0 \end{array}$$

G. C. M. = 43      答 43

或ハ次ノ如クス。

(五六)

3	6407	2021	5
	6063	1720	
1	344	301	7
	301	301	
	43	0	

G. C. M. = 43      答 43

(四) 三數以上ノ G. C. M. 先ヅ、二數ノ G. C. M. ナ求メ、之ト殘リノ一數トノ G. C. M. ハ三數ノ G. C. M. ニシテ、之ト殘リノ一數トノ G. C. M. ハ四數ノ G. C. M. ナリ。逐次、此方法ヲ繰ケレバ最後ノ G. C. M. ガ所要ノ G. C. M. ナリ。

### 第七章 最小公倍数

(1) 最小公倍数 公倍数中ノ最小ナルモノヲ云フ。例ヘバ、24, 48, 72, へ 2, 3, 6, 8, ノ公倍数ニシテ、24 最小公倍数ナリ。

○算術公式

(五七)

【注意】 最小公倍数ヲ L. C. M. ト略記ス。

(2) L. C. M. ヲ求ムル法

一. 因数法 各數ヲ素因数ニ分解シ、而シテ、其二數ニ或ハ二數以上ニ通有セル因数ノ指数ノ最モ高キモノト、其各數ニ通有セザル因数ノ最モ高キモノトノ連乘積ヲ求ムベシ。

例. 36, 132, 140 ノ最小公倍数ヲ求メヨ。

〔解〕  $36 = 2^2 \times 3^2$   
 $132 = 2^2 \times 3^1 \times 11$   
 $140 = 2^2 \times 5 \times 7$   
 所要ノ L. C. M.  $= 2^2 \times 3^2 \times 5 \times 7 \times 11$   
 $= 13860$  答 13860

實際ハ次ノ如クス。

2	)	36,	132,	140
2	)	18,	66,	70
3	)	9,	33,	35
		3	11,	35

$$L. C. M. = 2 \times 2 \times 3 \times 3 \times 11 \times 35$$

$$= 13860 \quad \text{答 } 13860$$

之ニ由テ、次ノ規則ヲ得。  
 與ヘラレタル各數ヲ一列ニ順チ追テ列書シ、二數或ハ二數以上ニ通有スル素因数ニテ除シ、割リ切レタルモノハ其商ヲ、否ラザルモノハ其數ノ順チ追テ、其各數ノ下ニ列書シ、之ヲ二數或ハ二數以上ニ通有スル素因数ニテ除シ、割リ切レタルモノハ其商ヲ否ラザルモノハ其數ヲ、順チ追テ書キ下スコト前ノ如シ、二數或ハ二數以上ニ通有スル素因数アル間ハ此方法ヲ續ケ各除數ト最後ノ各商(若シ之アラバ)トノ積ヲ求ムベシ。

二. 互除法

(1) 二數ノ L. C. M. ヲ求ムルニハ、先ヅ、二數ノ G. C. M. ヲ求メ、此 G. C. M. ニテ一數ヲ除シ、其商ヲ他ノ數ニ乘ズベシ。

例. 4592 ト 5371 トノ L. C. M. ヲ求メヨ。

〔解〕 二數ノ G. C. M.  $= 41$   
 所要ノ L. C. M.  $= 4592 \times (5371 \div 41)$   
 (或ハ)  $= 5371 \times (4592 \div 41)$

= 601552

答 601552

(四) 三数或ハ三数以上ノ L. C. M. 先ツ、二数ノ L. C. M. ナ求メ

此 L. C. M. ト残リノ一数トノ L. C. M. ハ三数ノ L. C. M. 此 L. C. M. ト残数ノ一数トノ L. C. M. ハ四数ノ L. C. M. ナリ。逐次、此法ヲ續ケテ所要ノ L. C. M. ナ得ベシ。

例. 16650, 10730, 1961 ノ L. C. M. ナ求メヨ。

[解]  $\left. \begin{array}{l} 16650 \\ 10730 \end{array} \right\} \text{ノ G. C. M.} = 370$   
 $\left. \begin{array}{l} 16650 \\ 10730 \end{array} \right\} \text{ノ L. C. M.} = 10730 \times (16650 \div 370)$   
 $= 4828250$

$\left. \begin{array}{l} 482850 \\ 1961 \end{array} \right\} \text{ノ G. C. M.} = 37$

$\left. \begin{array}{l} 482850 \\ 1961 \end{array} \right\} \text{ノ L. C. M.} = 1961 \times (482850 \div 37)$

= 205591050

答 205591050

(三) G. C. M. ト L. C. M. ノト關係

- 一. 二数ノ G. C. M. ナ以テ、各数ヲ除シタル商ハ互ニ素ナリ。
- 二. 二数ノ L. C. M. ナ G. C. M. ニテ除シタル商ハ G. C. M. ナ以テ各数ヲ除シタル商ノ積ニ等シ。
- 三. 二数ノ G. C. M. ト L. C. M. トノ積ハ、二数ノ積ニ等シ。

### 第三編 分數

#### 第一章 緒論

(1) 分數及分數單位 1 ナ若干等シタルモノヲ分數單位ト云ヒ、此單位ニテ計リタルモノヲ分數ト云フ。例ヘバ、1 ナ 8 等分シタルモノヲ  $\frac{1}{8}$  或ハ  $\frac{1}{8}$  ニテ表ハシ、此  $\frac{1}{8}$  ハ分數單位、又、1 ナ 156 等分シタルモノヲ  $\frac{1}{156}$

或ハ  $1 \frac{1}{156}$  = テ表ハシ、此  $\frac{1}{156}$  ハ分數單位ナリ。而シテ、 $\frac{3}{8}$  トハ  $\frac{1}{8}$    
 ○ 算術公式  
 ヲ3ツ集メタルモノ、 $\frac{159}{156}$  ハ  $\frac{1}{156}$  ヲ159集メタルモノニシテ、此  $\frac{1}{8}$ 、

$\frac{1}{156}$ 、 $\frac{1}{18}$ 、 $\frac{159}{156}$  ハ皆分數ナリ。

又、分數トハ幾分ノ幾ツト稱ヘル數ニシテ、被除數ヲ除數ニテ除シタル商ヲ表ハシタル一ツノ形ナリトモ云フコトアリ。

(2) 分數ノ項 分數ノ若干等分ヲ示ス數ヲ分母ト云ヒ、其ノ $\searrow$ 或ハ集リヲ分子ト云フ。而シテ、分母ト分子トナ分數ノ項ト云フ。

(3) 分數ノ種類

一. 眞分數(或ハ常分數) 分子ガ分母ヨリ小ナキ分數ヲ云フ。例ヘバ、  
 $\frac{4}{5}$ 、 $\frac{107}{125}$  ノ如シ。

二. 假分數 分子ガ分母ヨリ小ナラザル分數ヲ云フ。例ヘバ、 $\frac{15}{5}$ 、  
 $\frac{226}{225}$ 、 $\frac{897}{100}$  ノ如シ。

(六二)

三. 單分數或ハ簡分數 分子ト分母トガ整數ナル分數ヲ云フ。例ヘバ、  
 $\frac{5}{8}$ 、 $\frac{25}{18}$ 、 $\frac{17}{30}$  ノ如シ。

四. 繁分數 分子或ハ分母ノ一ツ或ハ双方ガ分數ナル分數ヲ云フ。例ヘバ、  
 $\frac{1 \frac{2}{5}}{5}$ 、 $\frac{4 \frac{1}{6}}{3 \frac{5}{8}}$ 、 $\frac{\frac{1}{2} + \frac{1}{3}}{\frac{3}{4} \times \frac{1}{5}}$  等ノ如シ。

五. 重分數 分數ノ分數ヲ云フ。例ヘバ  $\frac{2}{3}$  ノ  $\frac{1}{5}$  ノ如シ。而シテ、 $\frac{2}{3}$  ノ  $\frac{1}{5}$  トハ  $\frac{2}{3} \times \frac{1}{5}$  或ハ  $\frac{1}{5} \times \frac{2}{3}$  ヲ表ハスモノトス。

六. 帶分數(或ハ混數) 整數ト眞分數トヨリナル分數ヲ云フ。例ヘバ、  
 $5 \frac{2}{3}$ 、 $15 \frac{3}{25}$  ノ如シ。而シテ、 $5 \frac{2}{3}$  ハ  $5 + \frac{2}{3}$  ニシテ、 $15 \frac{3}{25}$  ハ  
 $15 + \frac{3}{25}$  ヲ表ハスモノトス。

七. 既約分數(或ハ最簡分數又ハ最低分數) 分子ト分母トニ1ノ外ニ公

○ 算術公式

(六三)

約數ヲ有セザル分數、即チ、分子ト分母トガ互ニ素ナル分數ヲ云フ。

(4) 分數ノ基礎ノ定理

一、分子ニ整數ヲ乘スレバ、分數ハ同數倍セラル。即チ、

$$\frac{甲 \times 丙}{乙} = \frac{甲}{乙} \times 丙$$

二、分子ヲ整數ニテ除スレバ、分數ハ同數分セラル。即チ

$$\frac{甲 \div 丙}{乙} = \frac{甲}{乙} \div 丙$$

三、分母ニ整數ヲ乘スレバ、分數ハ同數分セラル。即チ

$$\frac{甲}{乙 \times 丙} = \frac{甲}{乙} \div 丙$$

四、分母ヲ整數ニテ除スレバ、分數ハ同數倍セラル。即チ

$$\frac{甲}{乙 \div 丙} = \frac{甲}{乙} \times 丙$$

五、分子分母トチ同數倍スルモ分數ノ値ハ變ラズ。又、分子ト分母トチ同數分スルモ分數ノ値ハ變ラズ。即チ、

$$\frac{甲}{乙} = \frac{甲 \times 丙}{乙 \times 丙} = \frac{甲 \div 丙}{乙 \div 丙}$$

六、整數ハ1ヲ分母トスル分數ニ等シ。即チ

$$整數 = \frac{整數}{1}$$

第二章 分數化法

(1) 分數化法、分數ノ値ヲ變セズシテ、形ヲ換フル法ヲ云フ。

(2) 假分數ヲ帶分數或ハ整數ニ化スル法、分子ヲ分母ニテ除シ、商分ノ幾ツト記スベシ。但シ、整除セラル、トキハ整數トナル。

例1.  $\frac{86}{9} = \frac{9 \times 9 + 5}{9} = 9\frac{5}{9}$  答  $9\frac{5}{9}$

例2.  $\frac{125}{25} = \frac{5 \times 25}{25} = 5$  答 5

(3) 帶分數ヲ假分數ニ化スル法、整數部ト分母トノ積ニ分子ヲ加ヘタルモノヲ分子トシ、元ノ分母ヲ分母トスル分數ヲ作レ。

例.  $4\frac{2}{5} = \frac{4 \times 5 + 2}{5} = \frac{22}{5}$  答  $\frac{22}{5}$

(4) 整數ヲ任意ノ整數ヲ分母トスル分數ニ化スル法、分母トスベキ整數ヲ與ヘラレタル整數ニ掛ケタル積ヲ分子トシ、分母トスベキ整數ヲ分母トスル

分數ヲ作レ。

○ 例.  $5 = \frac{5 \times 6}{6} = \frac{30}{6} = \frac{5 \times 25}{25} = \frac{125}{25} =$  等

算術公式

(5) 約分法 分數ノ分子ト分母トヲ互ニ素ナル數トナス方法、即チ、既約分數ニ化スル方法ニシテ、之ヲナスニハ、分子ト分母トヲ公約數ニテ順次ニ除シテ公約數ナキニ至リテ止ムカ。或ハ分子ト分母トヲ其最大公約數ニテ除スベシ。

例.  $\frac{168}{210} = \frac{168 \div 2}{210 \div 2} = \frac{84}{105} = \frac{84 \div 3}{105 \div 3} = \frac{28}{35} = \frac{28 \div 7}{35 \div 7} = \frac{4}{5}$

實際ハ次ノ如クス。

$$\begin{array}{r} 4 \\ 28 \\ 84 \\ 168 \\ \hline 210 \\ 105 \\ 35 \\ 7 \\ \hline 4 \end{array} = \frac{4}{5} \quad \text{答} \frac{4}{5}$$

(六六)

或ハ次ノ如クス

$168, 210$  ノ G. C. M. = 42

$\frac{168}{210} = \frac{168 \div 42}{210 \div 42} = \frac{4}{5}$  答  $\frac{4}{5}$

○算術公式

(6) 公分母及最小公分母 若干ノ分數アリテ、各分數ノ分母が同一ナルト

キ、之ヲ公分母ト云ヒ、公分母中ノ最小ナルモノヲ最小公分母ト云フ。

(7) 通分法 分母ノ異ナル分數ノ値ヲ變ゼズシテ、同一ナル分母ヲ有スル分數ニ化スル方法ヲ云フ。而シテ其方法ハ、各分母ノ L. C. M. ヲ求メテ公分母トシ、之ヲ各分母ニテ除シタル商ヲ各分數ノ分子ニ乘ズベシ。

例.  $\frac{5}{8}, \frac{11}{12}, \frac{7}{18}$  ヲ通分セヨ。

[解] 分母ノ L. C. M. = 72

$\frac{5}{8} = \frac{5 \times (72 \div 8)}{72} = \frac{45}{72}$

$\frac{11}{12} = \frac{11 \times (72 \div 12)}{72} = \frac{66}{72}$

(六七)



$$\frac{7}{18} = \frac{7 \times (72 \div 18)}{72} = \frac{28}{72}$$

答  $\frac{45}{72}, \frac{66}{72}, \frac{28}{72}$

○算術公式

(8) 分数ノ大小 分母が同一ナル分数ハ分子ノ大ナルモノ程大ニシテ、分子が同一ナル分数ハ分母ノ大ナルモノ程小ナリ。之ニ由テ、分母ノ異ナル分数ノ大小ハ之ヲ通分シテ比較スルコトヲ得。

### 第三章 分数四則

#### (1) 分数加法

一、同分母ヲ有スル分数ノ加法 ナ行ハシニハ、分子ノ和ヲ分子トシ、元ノ分母ヲ分母トスル分数ヲ作り、既約分数ニ化シ、假分数ハ帯分数トナスベシ。但シ帯分数アルトキハ整数部ト分数部トノ和ヲ取レ。

例1.  $\frac{15}{18} + \frac{3}{18} + \frac{7}{18} + \frac{1}{18} = \frac{15+3+7+1}{18} = \frac{26}{18} = \frac{13}{9}$

$= 1\frac{4}{9}$  答  $1\frac{4}{9}$

(六八)

例2.  $3\frac{3}{25} + 7\frac{9}{25} + \frac{18}{25} = (3+7) + (\frac{3}{25} + \frac{9}{25} + \frac{18}{25})$

$= 10 + \frac{3+9+18}{25} = 10 + \frac{30}{25} = 10 + \frac{6}{5}$

$= 10 + 1\frac{1}{5} = 11\frac{1}{5}$  答  $11\frac{1}{5}$

○算術公式

二、異分母ヲ有スル分数ノ加法 ナ行ハシニハ、先ツ、通分シテ後、一ニヨリテ計算スベシ。

例.  $5\frac{1}{2} + 3\frac{2}{3} + \frac{5}{12} = 8 + \frac{1}{2} + \frac{2}{3} + \frac{5}{12}$

$= 8 + \frac{6+8+5}{12} = 8 + \frac{19}{12} = 8 + 1\frac{7}{12} = 9\frac{7}{12}$

答  $9\frac{7}{12}$

(六九)

#### (2) 分数ノ减法

一、同分母ヲ有スル分数ノ减法 ナ行ハシニハ、分子ノ差ヲ分子トシ、元ノ分母ヲ分母トスル分数ヲ作レ。帯分数ハ整数部ノ差ト分数部ノ差トノ和ヲ

○算術公式

取レ。若シ、被減數ノ分子ガ減數ノ分子ヨリ小ナルトキハ、整数部ヨリ 1  
ダケ假分數ニ直シテ後チ差ヲ取レ。

例1.  $\frac{13}{15} - \frac{7}{15} = \frac{13-7}{15} = \frac{6}{15} = \frac{2}{5}$  答  $\frac{2}{5}$

例2.  $7\frac{5}{13} - 5\frac{4}{13} = (7-5) + (\frac{5}{13} - \frac{4}{13})$   
 $= 2 + \frac{1}{13} = 2\frac{1}{13}$  答  $2\frac{1}{13}$

例3.  $7\frac{2}{5} - 3\frac{4}{5} = 4 + \frac{2-4}{5} = 3 + \frac{5+2-4}{5}$   
 $= 3 + \frac{3}{5} = 3\frac{3}{5}$  答  $3\frac{3}{5}$

二、異分母ヲ有スル分數ノ減法 行ハシニハ、先ヅ、通分シテ後、一ニ  
ヨリテ計算スベシ。

例1.  $\frac{1}{2} - \frac{1}{3} = \frac{3}{6} - \frac{2}{6} = \frac{1}{6}$  答  $\frac{1}{6}$

例2.  $7\frac{7}{8} - 5\frac{9}{10} = 2 + \frac{35-36}{40}$

(七〇)

$= 1 + \frac{40+35-36}{40} = 1\frac{39}{40}$  答  $1\frac{39}{40}$

(3) 分數ノ乘法 行ハシニハ、分子ノ積ヲ分子トシ、分母ノ積ヲ分母ト  
セル分數ヲ作レ。但シ、帶分數ハ假分數ニ化シテ後、之ヲ行ヘ。(整数ハ 1 分  
母トスル分數ト見做シテ計算スベシ)。而シテ、其積ハナル可ク既約分數ニ化  
スベシ。(若シ、分子ト分母トニ公約數アルトキハ、之ヲ約シ得ルダケ約シテ  
後チ乘法ヲ行ヘバ、其積ハ既約分數トナルノミチラズ計算モ手數ヲ省クコト  
ヲ得)。

例1.  $\frac{8}{15} \times 5 = \frac{8 \times 5}{15} = \frac{40}{15} = \frac{8}{3} = 2\frac{2}{3}$  答  $2\frac{2}{3}$

實際ハ次ノ如クス。

$\frac{8}{15} \times 5 = \frac{8}{3}$  答  $\frac{8}{3}$

例2.  $\frac{21}{24} \times \frac{12}{35} = \frac{21 \times 12}{24 \times 35} = \frac{252}{840} = \frac{3}{10}$  答  $\frac{3}{10}$

實際ハ次ノ如クス。

○算術公式

(七一)

○算術公式

$$\frac{21}{24} \times \frac{12}{35} = \frac{3 \times 1}{2 \times 5} = \frac{3}{10} \quad \text{答} \quad \frac{3}{10}$$

例3.  $1\frac{4}{13} \times 1\frac{7}{6} = \frac{17}{13} \times \frac{13}{6} = \frac{17}{6} = 2\frac{5}{6} \quad \text{答} \quad 2\frac{5}{6}$

(4) 分數除法 ナ行ハソニハ、除數ノ分子ヲ分母トシ、分母ヲ分子トセル分數ヲ作り、之ヲ被除數ニ乘スベシ。但シ、帶分數アルトキハ假分數ニ化シテ後計算スベシ。(整数ハ1ヲ分母トスル分數トシテ取扱ヘバヨシ)。

例1.  $\frac{3}{5} \div 3 = \frac{3}{5} \div \frac{3}{1} = \frac{3}{5} \times \frac{1}{3} = \frac{1}{5} \quad \text{答} \quad 1\frac{1}{5}$

例2.  $\frac{27}{55} \div \frac{18}{35} = \frac{27}{55} \times \frac{35}{18} = \frac{21}{22} = 1\frac{1}{22} \quad \text{答} \quad 1\frac{1}{22}$

(七二)

○算術公式

例3.  $2\frac{11}{12} \div 2\frac{17}{24} = \frac{35}{12} \div \frac{65}{24} = \frac{35}{12} \times \frac{24}{65} = \frac{14}{13} = 1\frac{1}{13}$

答  $1\frac{1}{13}$

(二) 逆數(或ハ反數) 1ヲ其數ニテ除シタル商ヲ其數ノ反數ト云フ。

例ハ、2ノ逆數ハ  $1 \div 2 = \frac{1}{2}$ 、 $\frac{5}{18}$ ノ逆數ハ  $1 \div \frac{5}{18} = \frac{18}{5}$   
 $= 3\frac{3}{5}$ ノコトナリ。

【注意】 之ニヨリテ、分數除法ハ次ノ如ク述ブルコトヲ得。  
 被除數ニ除數ノ逆數ヲ乘セヨ。

### 第四章 分數ト小數トノ關係

(1) 分數ヲ小數ニ直スコト 分數ヲ小數ニ直スニハ分子ヲ分母ニテ除スベシ。

(七三)

例1.  $\frac{5}{8} = 5 \div 8 = 0.625$  答 0.625

例2.  $\frac{175}{200} = 175 \div 200 = 0.875$  答 0.875

例3.  $\frac{2}{3} = 2 \div 3 = 0.\overline{66666} \dots\dots$

例4.  $\frac{3}{7} = 3 \div 7 = 0.\overline{428571428571} \dots\dots$

例5.  $\frac{5}{6} = 5 \div 6 = 0.8\overline{333} \dots\dots$

例6.  $\frac{29}{88} = 29 \div 88 = 0.329\overline{545454} \dots\dots$

(2) 有限小数及循環小数 分数ヲ小数ニ直ストキ(上ノ例ノ如ク)分子ガ分母ニテ割切レテ小数若干桁ニテ止マルモノト、如何ニ除法ヲ行フモ同一ノ數字ガ同ジ順序ニ繰返ヘサルハモノトノニツアリ。前者ヲ有限小数ト云ヒ、後者ヲ循環小数ト云フ。

一. 循環数 同一ノ順序ニ繰返サレル數字ヲ循環数ト云フ。例ヘバ、 $0.\overline{66} \dots\dots$ ニ於テハ6、 $0.8\overline{33} \dots\dots$ ニ於テハ3、

$0.329\overline{545454} \dots\dots$ ニ於テハ54、ハ何レモ循環数ガリ。

二. 循環小数ノ記法 循環小数ヲ書キ表ハスニハ循環数ノ首尾ニ點(●)ヲ打ツ。(但シ、循環数ガ一桁ナルトキハ其數ノ上ニ(●)ヲ打ツ)例ヘバ、 $0.\overline{66} \dots\dots$ ヲ $0.\overline{6}$ トシ、 $0.329\overline{5454} \dots\dots$ ヲ $0.329\overline{54}$ トシ、 $0.428571\overline{428571} \dots\dots$ ヲ $0.428571\overline{}$ トスルガ如シ。

三. 純循環小数(或ハ正循環小数) 小数第一位ヨリ循環シ始ムモノヲ云フ。

四. 混循環小数(或ハ雜循環小数) 小数第二位或ハ第二位以下ヨリ循環シ始ムモノヲ云フ。

[注意] 例ヘ、小数第一位ヨリ循環シ始ムモノ、帯小数ハ混循環小数ト知レ。

(3) 小数ヲ分数ニ直スコト

一. 有限小数ヲ分数ニ直スコト 小数ヲ整数トシテ分子トシ、1ノ右ニ小数位ノ數(ダケノ0ヲ添ヘタルモノ)ヲ分母トセル分数ヲ作り公約數アラバ既約分数ニ化スベシ。

例1.  $0.245 = \frac{245}{1000} = \frac{49}{200}$  答  $\frac{49}{200}$

例2.  $5.0424 = 5\frac{424}{10000} = 5\frac{53}{1250}$  答  $5\frac{53}{1250}$

二. 循環小数ヲ分数ニ直スコト

(イ) 純循環小数ヲ分数ニ直ス ニハ、小数ヲ整数トシテ分子トシ、小数ノ桁数ダケノ9ヲ連テタル數ヲ分母トセル分数ヲ作り、公約數アラバ既約分数ニ化スベシ。

例1.  $0.\dot{5}54\dot{1} = \frac{5541}{9999} = \frac{949}{1111}$  答  $\frac{949}{1111}$

例2.  $0.\dot{0}8\dot{7} = 5\frac{87}{999} = 5\frac{29}{333}$  答  $5\frac{29}{333}$

(ロ) 混循環小数ヲ分数ニ直ス ニハ、小数ヲ整数トシタルモノヨリ循環セザル部分ノ數ヲ引キタルモノヲ分子トシ、循環數ノ桁數ダケノ9ヲ連テタル數ノ右ニ循環セザル部分ノ桁數ダケノ0ヲ添ヘタルモノヲ分母トセル分数ヲ作り、公約數アラバ既約分数ニ化スベシ。

例1.  $0.3142\dot{5} = \frac{31425 - 31}{99900} = \frac{31394}{99900}$

$= \frac{15697}{49950}$  答  $\frac{15697}{49950}$

例2.  $0.03765\dot{1} = \frac{37651 - 37}{999000} = \frac{37614}{999000}$

$= \frac{6269}{166500}$  答  $\frac{6269}{166500}$

第五章 循環小数ノ四則

(1) 循環小数ノ加法。與ヘラレタル循環小数ヲ分数ニ化シテ後、其和ヲ求メ、之ヲ循環小数ニ化スベシ。

然レモ、加法ハ次ノ如クスルヲ便トス。

先ヅ、與ヘラレタル循環小数ノ循環數ノ桁數ノ最小公倍數ヲ求メ、循環數ノ循環シ始ムル最モ低キ位ヨリ、此公倍數ヲ循環數ノ桁數トスル様ニ各數ノ循環數ノ首尾ヲ揃ヘ、此和ヲ求メ、循環數ノ首位ヨリ循環セザル部分ニ送リタル數ダケ循環數ノ末位ニ加フベシ。

例1.  $0.43\dot{2} + 0.2\dot{6} + 2.34\dot{5} = ?$

[解] 循環数ノ桁数ノ G. C. M. = 6

$$\begin{array}{r}
 0.4\overline{324324} \\
 0.2\overline{666666} \\
 2.3\overline{454545} \\
 \hline
 3.0\overline{445535} \\
 \hline
 \phantom{3.0}1
 \end{array}$$

$$3.0\overline{445536} \quad \text{答} \quad 3.0\overline{445536}$$

例2.  $0.0\overline{1} + 21.48\overline{641} + 3.20\overline{74} = ?$

[解] 循環数ノ桁数ノ G. C. M. = 2

$$\begin{array}{r}
 0.0\overline{11} \\
 21.48\overline{64} \\
 3.20\overline{74} \\
 \hline
 24.70\overline{49}
 \end{array}$$

即チ,  $24.70\overline{49}$       答  $24.70\overline{49}$

(2) 循環小数ノ減法 興ヘラレタル循環小数ヲ分数ニ化シテ後チ, 其差ヲ

求メ, 之ヲ小数ニ化スベシ。

然レドモ減法ハ次ノ如クスルヲ便トス。

先ヅ, 興ヘラレタル循環小数ノ循環数ノ桁数ノ最小公倍数ヲ求メ; 循環数ノ循環シ始ムル最モ低キ位ヨリ, 此公倍数ヲ循環数ノ桁数トスル様ニ各数ノ循環数ノ首尾ヲ揃ヘ此差ヲ求メ, 循環セザル部分ヨリ循環数ニ1繰越シタルト

キハ循環数ノ末位ヨリ1ヲ減ズベシ。

例1.  $5.0\overline{012} - 0.9\overline{123} = ?$

[解] 循環数ノ桁数ノ L. C. M. = 12

$$\begin{array}{r}
 5.0\overline{012012012012} \\
 0.9\overline{123912391239} \\
 \hline
 4.0888099620773 \\
 \hline
 \phantom{4.0}1
 \end{array}$$

$$4.0\overline{888099620772}$$

$$\text{答} \quad 4.0\overline{888099620772}$$

例2.  $5.964 - 5.397\dot{3}\dot{3} = ?$

$$\begin{array}{r} \text{〔解〕 } 5.964 \overset{\circ}{0} \overset{\circ}{0} \overset{\circ}{0} \\ 5.397 \overset{\circ}{3} \overset{\circ}{3} \overset{\circ}{7} \\ \hline 0.566 \overset{\circ}{6} \overset{\circ}{6} \overset{\circ}{3} \\ \hline \phantom{0.566} \overset{\circ}{-} \overset{\circ}{1} \end{array}$$

0.566<sup>662</sup> 答 0.566<sup>662</sup>

(3) 循環小数ノ乗法 興ヘラレタル循環小数ヲ分数ニ化シテ後、其積ヲ求メ、之ヲ小数ニ化スベシ。

例、 $2.42857\dot{1} \times 0.0\dot{6}\dot{3} = ?$

$$\text{〔解〕 } 2.42857\dot{1} = \frac{2428571 - 2}{999990}$$

$$= \frac{2428569}{999999} = \frac{17}{7}$$

$$0.0\dot{6}\dot{3} = \frac{63}{990} = \frac{7}{110}$$

$$\text{興式} = \frac{17}{7} \times \frac{7}{110} = \frac{17}{110} = 0.1\dot{5}\dot{4}$$

(4) 循環小数ノ除法 興ヘラレタル循環小数ヲ分数ニ化シテ後、其商ヲ求メ、之ヲ小数ニ化スベシ。

例  $6.\dot{7} \div 2.\dot{6} = ?$

$$\text{〔解〕 } 6.\dot{7} = \frac{67 - 6}{9} = \frac{61}{9}$$

$$2.\dot{6} = \frac{26 - 2}{9} = \frac{24}{9} = \frac{8}{3}$$

$$\text{興式} = \frac{61}{9} \div \frac{8}{3} = \frac{61}{9} \times \frac{3}{8} = \frac{61}{24} = 2.541\dot{6}$$

答 2.541<sup>6</sup>

第六章 分数ノ最大公約數及最小公倍数

(1) 分数ノ倍数及約數 甲分数ヲ乙分数ニテ除シ、整数ノ商ヲ得ルトキ、甲分数ヲ乙分数ノ倍数、乙分数ヲ甲分数ノ約數ト云フ。

(2) 分数ノ公倍数及公約數 ニツ或ハニツ以上ノ各分数ニテ割リテ整数ノ

商ヲ得ル如キ他分數ヲ、此等ノ數ノ公倍數ト云フ。又、二ツ或ハ二ツ以上ノ各分數ヲ割リテ整數ノ商ヲ得ル如キ他分數ヲ、此等ノ數ノ公約數ト云フ。

○算術公式

(3) 分數ノ最大公約數及其算法

一、分數ノ G. C. M. 二ツ或ハ二ツ以上ノ各分數ヲ割リテ最小ノ整數商ヲ得ル如キ他分數ヲ、此等ノ數ノ G. C. M. ト云フ。

二、分數ノ G. C. M. ヲ求ムル法 興ヘラレタル分數中ノ帶分數ハ假分數ニ化シ、既約分數ナラザルモノハ既約分數ニ化シ、此等ノ分數ノ各分子ノ G. C. M. ヲ分子トシ、各分母ノ L. C. M. ヲ分母トスル分數ヲ作レ、即チ、

$$\text{既約分數ノ G. C. M.} = \frac{\text{各分子ノ G. C. M.}}{\text{各分母ノ L. C. M.}}$$

(4) 分數ノ最小公倍數及其算法

一、分數ノ L. C. M. 二ツ或ハ二ツ以上ノ各分數ニテ割リテ最小ノ整數商ヲ得ル如キ他分數ヲ、此等ノ數ノ L. C. M. ト云フ。

二、分數ノ L. C. M. ヲ求ムル法 興ヘラレタル分數中ノ帶分數ハ假分數ニ化シ、既約分數ナラザルモノハ既約分數ニ化シ、此等ノ分數ノ各分子ノ

(八二)

L. G. M. ヲ分子トシ、各分母ノ G. C. M. ヲ分母トスル分數ヲ作レ。即チ、

$$\text{既約分數ノ L. C. M.} = \frac{\text{各分子ノ L. C. M.}}{\text{各分母ノ G. C. M.}}$$

○算術公式

## 第四編 諸等數(複名數)

### 第一章 緒論

(1) 諸等數(複名數)及單名數 同一ノ名數ヲ二ツ或ハ二ツ以上ノ階級ノ單位ニテ表ハシタル名數ヲ諸等數或ハ複名數ト云ヒ、之ニ對シテ、只一ツノ單位ニテ表ハシタル名數ヲ單名數ト云フ。

(2) 基本單位及補助單位

(一) 基本單位 或數ヲ測度スルトキ、其一定量ヲ基本トシタルモノ。

(二) 補助單位 基本單位ノ若干倍或ハ若干分ヲ單位トシテ、基本單位ノ補助トシタル種々ノ單位ヲ云フ。

### 第二章 本邦度量衡

(八三)



(4) 長度

一 固有法 從來ヨリ行ハルハ、モノハ次ノ如シ。

(イ) 尺度

1丈 = 10尺, 1尺 = 10寸, 1寸 = 10分

1分 = 10厘, 1厘 = 10毛

鯨尺 1尺 = 2.25尺

1尋 = 6尺

(ロ) 里程

1里 = 36町, 1町 = 60間, 1間 = 6尺

1哩 = 80鎖 = 0.4098里

1海里(測) = 16.7町 = 17町(約)

二 「メートル法」 明治二十六年一月一日ヨリ施行セラレシモノトス。

補助單位 { 「ミリメートル」(精) = 0.001米

「センチメートル」(粗) = 0.01 ”

「デシメートル」(粉) = 0.1 ”

基本單位 { 「メートル」(米) = 3尺3寸

補助單位 { 「デカメートル」(料) = 10 米  
「ヘクトメートル」(指) = 100 ”  
「キロメートル」(杆) = 1000 ”

1米ハ地球子午線ノ約四千万分ノ一ニ等シ。

「センチメートル」ヲ「センチ」, 「ミリメートル」ヲ「ミリ」ト略稱ス。

(2) 面積及地積

一 固有法

(イ) 面積

1平方丈 = 100平方尺, 1平方尺 = 100平方寸

1平方寸 = 100平方分, 1平方分 = 100平方厘

(ロ) 地積(段別)

1町 = 10段, 1段 = 10畝, 1畝 = 30歩

1歩 = 10合, 1合 = 10勺

一步 = 一平方間 = 62平方尺 = 36平方尺 = 1坪

市街宅地等ヲ測ルニハ單ニ坪合勺ヲ用井, 田畑山林等ヲ測ルニハ町段畝歩合勺ヲ用ユ。

二. 「メートル」法

(1) 面積

補助單位 { 1 平方耗 = 0.000001 平方米  
 1 平方糎 = 0.0001 " "  
 1 平方粉 = 0.01 " "

基本單位 { 1 平方米 = 1 米平方

補助單位 { 1 平方寸 = 100 平方分  
 1 平方丈 = 10000 平方尺  
 1 平方杆 = 1000000 平方尺

(2) 地積

1 「サンチア」ル (亞) = 1 平方米

1 「ア」ル (亞) = 100 平方米 = 1 畝平方

1 「ヘクタア」ル (亞) = 10000 平方米

1 亞 = 30.25 步

(3) 體積及樹目 (容積或ハ容量)

一. 固有法

(1) 體積

1 立方尺 = 1000 立方寸, 1 立方寸 = 1000 立方分

(2) 樹目

1 石 = 10 斗, 1 斗 = 10 升, 1 升 = 10 合

1 合 = 10 勺

1 升 = 64827 立方分

= 1.8039 「リットル」

二. 固有法

(1) 體積

補助單位 { 1 立方耗 = 0.00000000 立方米  
 1 立方糎 = 0.000001 " "  
 1 立方粉 = 0.001 " "

基本單位 { 1 立方米 = 1 米立方

補助單位 { 1 立方寸 = 1000 立方分  
 1 立方丈 = 1000000 立方尺  
 1 立方杆 = 1000000000 立方尺

(口) 樹目

補助單位 { 1「センチリットル」(立) = 0.01 立  
 1「デシリットル」(分) = 0.1 ”

基本單位 { 1「リットル」 (立) = 1 立方粉

補助單位 { 1「デカリットル」(斗) = 10 立  
 1「ヘクトリットル」(桶) = 100 ”

(4) 目方(重量或ハ重サ)

一. 固有法

1 貫 = 1000 匁, 1 匁 = 10 分,  
 1 分 = 10 厘, 1 厘 = 10 毛

1 斤 = 160 匁  
 4 貫 = 15「キログラム」  
 4 匁 = 1「グラム」

二. 「メートル」法

補助單位 { 1「ミリグラム」(毫) = 0.001 瓦  
 1「センチグラム」(厘) = 0.01 ”  
 1「デシグラム」(分) = 0.1 ”

基本單位 { 1「グラム」(瓦)

補助單位 { 1「デカグラム」(匁) = 10 瓦  
 1「ヘクトグラム」(兩) = 100 ”  
 1「キログラム」(斤) = 1000 ”  
 1 俵 噸 = 1000 斤

1 斤は攝氏寒暖計四度ノ溫度ニ於ケル蒸溜水 1 立の重サニ等シ。  
 斤ヲ「キロ」ト略稱シ、基ト書クコトアリ。

第三章 主要ナル外國度量衡

(1) 英國度量衡

(一) 長度

1 吋 = 2.540 釐 = 8.382 分  
 1 呎 = 0.3048 米 = 1.006 尺  
 3 呎 = 1 碼 = 0.9144 米 = 3.017 尺  
 22 碼 = 1 鎖  
 80 鎖 = 1 哩 = 1.609 杆 = 0.4098 里

1海里(漚)=6080呎

二 地積

1噓 = 4840平方碼 = 10平方鎖  
= 0.4047亞頭 = 4.081段

1平方哩 = 640噓  
= 259.0頭 = 0.1679方里

三 樹目

1 呷 = 277.274立方吋 = 4.544立 = 2.519升

1「バイント」 =  $\frac{1}{8}$  呷 ..... (液類ヲ測ルニ用ユ)

1「ブッシェル」 =  $\frac{1}{8}$  呷 ..... (穀類ヲ測ルニ用ユ)

1英噸 = 40立方呎 ..... (船舶船積貨物ノ體積ヲ測ルニ用ユ)

四 目方

(1) 常用衡

1「クレイン」=0.06480瓦=0.01728匁

437.5「クレイン」= 1「オンス」 = 28.35瓦 = 7.560匁

16「オンス」= 1 封 = 0.4536 匁 = 0.1210 貫

2240 封 = 1 噸 = 1.016 佛噸 = 2710 貫

(ロ) 金衡

1「クレイン」=0.06480瓦=0.01728匁

480「クレイン」=1「トロイ、オンス」=31.10瓦=8.294匁

12「トロイ、オンス」=1「トロイ、ポンド」=0.3732匁=0.09953貫

(2) 米國度量衡 英國度量衡ヲ用ヅ。但シ、樹目ハ英國ノ舊制ヲ用ユ。

1米國呷 = 231立方吋 = 0.8331呷 (英國)

1米國「ブッシェル」 = 2150.42立方吋

= 0.9692「ブッシェル」 (英國)

1噸 = 2000 封, 1長噸 = 2240 封

米國ノ1海里 = 6086 呎

(3) 露國度量衡

長度 1「アルシン」= 0.71 米, 1「グエルスト」= 1.07 拵

地積 1「テサチン」= 1.1「ヘクタール」

楯目 1「グネドロ」(液量)=1.23 立, 1「チエトグエルト」(穀量)=210立  
目方 1露「ポンド」=0.41 斤

(4) 清國度量衡 英清兩國通商條約ニ於テハ、次ノ規定アリ。

1 清尺 = 14.1 吋, 1 清斤 =  $1\frac{1}{3}$  封

一. 長度

1 分 = 1 <sup>ツン</sup>寸

10 寸 = 1 <sup>チヤン</sup>尺 = 14.1 吋 = 1.182 尺

10 尺 = 1 丈

二. 目方

1 兩 = 1 <sup>キン</sup>斤 =  $1\frac{1}{3}$  封 = 161.3 匁

100 斤 = 1 <sup>ダニ</sup>担 =  $133\frac{1}{3}$  封

【注意】 佛國、獨逸、伊太利、和蘭ハ「メートル」法ヲ用ユ。

第四章 貨幣

(1) 本位貨幣及補助貨幣

一. 本位貨幣 貨幣ノ標準ニシテ通用ノ際ニ制限ナキモノヲ云フ。

二. 補助貨幣 本位貨幣ノ流通ヲ補助スルニ止マリ、通用ノ際ニ制限アルモノヲ云フ。

(2) 貨幣

一. 日本 1 圓 = 100 錢, 1 錢 = 10 厘, 1 厘 = 10 毛

但シ、1 圓ハ純金ノ目方 2 分ノ價格ナリ。

二. 英國 1 磅 = 20 <sup>シリング</sup>志, 1 志 = 12 <sup>ペンス</sup>片, 1 磅 = (約)9.763 圓

三. 米國 1 弗 = 100 <sup>セント</sup>仙 = (約)2.00 圓

四. 佛國 1 法 = 100 <sup>サンチム</sup>參 = (約)0.387 圓

【意注】 白耳義、瑞西、伊太利諸國ハ佛制ヲ用ユ。

五. 獨逸 1 馬 = 100 <sup>グレンニヒ</sup>布 = (約)0.478 圓

六. 露國 1 留 = 100 <sup>コペック</sup>哥 = (約)1.05 圓

七. 英領印度 1「ルピ」= (約)0.66 圓

八. 墨西國 1「ドル」= (約)0.999 圓

九. 馬尼刺 1「ドル」= (約)0.999 圓

十. 清國 1 兩 = 10 錢, 1 錢 = 10 分, 1 分 = 10 厘  
リヤン チエン フン リ  
テール ソブ カン ゴラン

上海 1 兩 = (約) 1. 3 3 1 圓  
 天津 1 兩 = (約) 1. 4 1 2 圓

### 第五章 時

#### (1) 太陽日及平太陽日

一. 太陽日 太陽が地球ニ南中シテヨリ、次ニ再び南中スル迄ノ時間ヲ太陽日ト云ヒ、日々不同アリ。

二. 平太陽日 太陽日ハ日々不同アルヲ以テ、之ヲ一年中ニ平均シタルモノヲ以テ、時ノ單位トシ、之ヲ平太陽日或ハ單ニ日ト云フ。

1 日 = 24 時, 1 時 = 60 分, 1 分 = 60 秒

#### (2) 平年及閏年

一. 平年 1 平年 = 365 日

二. 閏年 1 閏年 = 366 日

三. 平年閏年ノ規定 神武天皇即位紀元年數ノ四ヲ以テ整除シ得ベキ年ヲ閏年トス。但シ、紀元年數ヨリ六百六十ヲ減シテ百ヲ以テ整除シ得ベキモ

ノノウチ、更ニ四ヲ以テ其商ヲ整除シ得ザル年ヲ平年トス。(明治三十一年勅令第九十號)

(3) 月ノ大小 年平閏年ニ關ハラズ、大ノ月ノ日數ハ 31 日、小ノ月ノ日數ハ 30 日。但シ、二月ハ平年ノトキ 28 日、閏年ノトキ 29 日トス。

大ノ月 一月、三月、五月、七月、八月、十月、十二月。

小ノ月 二月、四月、六月、九月、十一月。

(4) 一週 七日ヲ一週ト云ヒ、日曜日ニ始マリ、月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日ヲ經テ、土曜日ニ終ル。

(5) 曆年 一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル。

### 第六章 弧度及角度

#### (1) 弧度及角度

一. 弧度 一圓周ノ三百六十等分ノ一ヲ弧度ノ一度トシ、其單位ノ關係ハ次ノ如シ。

90 度 = 1 象限, 1 度 = 60 分, 1 分 = 60 秒

二. 角度 弧度ノ一度ニ對スル中心角ヲ角度ノ一度トシ、其單位ノ關係ハ次ノ如シ。

1 直角 = 90 度, 1 度 = 60 分, 1 分 = 60 秒

三. 度分秒ノ代リ = ° ' " ナル記號ヲ用ユ。例ヘバ, 18 度 28 分 12 秒ヲ 18° 28' 12" トスルガ如シ。

### 第七章 諸等通法及命法

#### (1) 諸等通法及其算法

- 一. 諸等通法 諸等數ヲ單名數ニ化スル法ヲ云フ。
- 二. 算法 次ノ例ノ如クス。

例1. 3 里 18 町 40 間ヲ間ノ單名數ニテ示セ。

[解]

里	町	間	
2	18	40	
× 36	+ 72	+ 5400	
72(町)	90	5440	
	× 60		
	5400(間)		答 5440 間

例2. 18 時 18 分 45 秒ヲ時ノ單名數ニテ示セ。

[解]

6.0 ) 45 秒	60 ) 18.75 分
0.75(分)	0.3125(時)

答 18.3125 時

#### (2) 諸等命法及其算法

- 一. 諸等命法 單名數ヲ諸等數ニ化スル法ヲ云フ。
- 二. 算法 次ノ例ノ如クス。

例1. 18.245" ナ諸等數ニテ示セ。

[解]

6.0 ) 18.245"	
3.04'	+ 5"
	5° + 4'

答 5° 4' 5"

例2. 4.74 日ヲ諸等數ニテ示セ。

[解]

4.74 日	
× 24	
296	
148	
17.76(時)	
× 60	
45.60(分)	
× 60	
36.0(秒)	

答 4 日 17 時 45 分 36 秒

## 第八章 諸等四則

○ **算術公式** (1) 諸等加法 同單位が同シ縦行ニアル様ニ書キ、其下ニ一横線ヲ引キ、右端ノ單位ヨリ順次ニ別々ニ加法ヲ行ヒ、其和ヲ横線ノ下ノ相當位ニ書ク。但シ、此等ノ和が上位ニ充ツルモノハ繰上ケテ、上位ノ單位ト共ニ加フベシ。

例.	日	時	分	秒
	2	11	27	50
	3	18	52	32
+	12	10	30	35
	18	16	59	57

答 18日16時59分57秒

(九八) (2) 諸等減法 同單位が同シ縦行ニアル様ニ減數ヲ被減數ノ下ニ書キ、其下ニ一横線ヲ引キ、右端ノ單位ヨリ順次ニ別々ニ減法ヲ行ヒ、其差ヲ横線ノ下ニ書ク。但シ、此等ノ差ヲ求ムルニ當リ、被減數が同單位ノ減數ヨリ小ナルトキハ上位ノ1單位ヲ繰越シテ其差ヲ求ムベシ。

例.	町段畝	步
	2327	20
	- 1528	25
	798	25

答 7町9段8畝25步

(3) 諸等乘法 被乘數ノ各單位ニ別々ニ乘數ヲ掛ケ諸等命法ヲ行ヒ後、加ヘ合スベシ。

例 2日13時43分5秒 × 173 = ?

		日	時	分	秒
[解]	2日 × 173 =			346	
	13時 × 173 = 2249時 =	9	3	17	
	43分 × 173 = 7439分 =		5	3	59
	5秒 × 173 = 865秒 =			14	25
	2日13時43分5秒 × 173 =	444	21	13	25
		答	444日	21時	13分25秒

(4) 諸等除法

一. 諸等數ヲ若干等分 スルニハ、除數ニテ被除數ノ最モ高キ位ヨリ割リ

○算術公式

(九九)



○算術公式

始メ、各單位ヲ別々ニ割ル。但シ、各單位ヲ割ルトキ殘數アラバ、之ヲ次ノ單位ニ化シテ、次ノ下ノ單位ト加ヘ合セ、之ヲ割リテ、除法ヲ續行スベシ。

例.  $665^{\circ}39'15'' \div 63 = ?$

[解]  $63 \overline{) 665^{\circ}39'15''}$   $15'' (10^{\circ}38'58'')$

$$\begin{array}{r}
 63 \overline{) 665^{\circ}39'15''} \\
 \underline{35} = 2100 \\
 2139 \\
 \underline{189} \\
 249 \\
 \underline{189} \\
 600 = 3600 \\
 3615 \\
 \underline{805} \\
 565 \\
 \underline{504} \\
 61
 \end{array}$$

(100)

答  $10^{\circ}38'58''$  餘

二. 諸等數ヲ諸等數ニテ除スルニハ、被除數除數共ニ同單位ノ單名數ニ化シ、後、普通除法ヲ行ヘ。

例. 3里17町2間2尺  $\div$  52間5尺 = ?

[解] 3里17町2間2尺 = 45014尺  
 52間5尺 = 317尺  
 $45014 \text{ 尺} \div 317 \text{ 尺} = 142$  答 142

○算術公式

### 第九章 經度ト時

(1) 子午線及本初子午線

一. 子午線 地球ノ南北兩極ヲ通過スル假圓ヲ假想シ、之ヲ子午線ト云フ。

二. 本初子午線 英國「カリニツチ」天文臺ノ子午儀ノ中心ヲ過ギル子午線ヲ本初子午線ト云フ。

(2) 經度 子午線ノ平面ト子午線ノ平面トノ間ノ角ヲ經度ト云ヒ、本初子午線ノ經度ヲ  $0^{\circ}$  トシ夫レヨリ、東及ビ西ニ測ヘテ東經及ビ西經ト云ヒ、各々百八十度ヲ以テ終ル。

(101)

○算術公式

【注意】東經 0° と西經 0° と同一ノ所、東經 180° と西經 180° と同一ノ所ナリ。

(3) 兩地ノ經度ノ差 某地ト某地トノ經度ノ差ヲ兩地ノ經度ノ差ト稱ス。

一、經度ノ差 ハ、兩地ガ共ニ東經ナルカ或ハ共ニ西經ナルトキハ、經度ノ差ヲ以テ、兩地ノ經度ノ差トス。

二、經度ノ差 ハ、兩地ガ東經ト西經ナラバ、其經度ノ和ヲ以テ、兩地ノ經度ノ差トス。

(4) 經度ト時トノ關係

經度ノ 360°	時ノ 24 時	} = 相當ス。
經度ノ 15°	時ノ 1 時	
經度ノ 15'	時ノ 1 分	
經度ノ 15''	時ノ 1 秒	

(5) 兩地ノ時差

一、地方時 太陽ガ地球ニ南中スルトキヲ、其地ノ地方時ト云フ。

二、兩地ノ時差 某地ノ地方時ト他ノ某地ノ地方時トノ差ヲ兩地ノ時差ト云フ。

(1011)

(6) 經度ノ差ト時差トノ換算

一、經度ノ差ヲ時差ニ換算 スルニハ、經度ノ差ヲ 15 ニテ除シ、經度ノ度ヲ時ノ時ニ、經度ノ分ヲ時ノ分ニ、經度ノ秒ヲ時ノ秒ニテ表ハスベシ。

例、經度ノ差 18° 24' 45'' ヲ時差ニテ示セ

[解]  $15 \overline{) 18^\circ 24' 45''}$  (時 分 秒)

15			
<hr/>			
9	= 18 0		
	204		
	<hr/>		
	15		
	<hr/>		
	54		
	45		
	<hr/>		
	9	= 540	
	585		
	45		
	<hr/>		
	135		
	135		
	<hr/>		
	0		

答 1 時 13 分 39 秒

○算術公式

(1011)

二、時差ヲ經度ノ差ニ換算 スルニハ、時差ヲ15倍シ、時ノ時ヲ經度ノ度ニ、時ノ分ヲ經度ノ分ニ、時ノ秒ヲ經度ノ秒ニテ表ハスベシ。

例、時差8時18分20秒ヲ經度ノ差ニテ表ハセ。

[解]

時	分	秒	
8	18	20	
			× 15
120	270	300	
124°	35'	0"	答 124°35'

### 第十章 標準時

(1) 標準時 標準時トハ或區域内ノ各地共ニ同時ヲ用非シタメ一子午線上ノ正午ニ依テ時刻ヲ定ムルモノトス。

一 本邦標準時 ニツアリ。

(1) 中央標準時 東經135°ノ地方時ニシテ東ハ千島列島ヨリ西ハ琉球諸島(八重山、宮古列島ヲ除ク)ハ之ヲ用ユ。

(2) 西部標準時 東經120°ノ地方時ニシテ、臺灣、澎湖列島並ニ八重山、宮古列島ハ之ヲ用ユ。

【注意】 西部標準時ト中央標準時トノ時差ハ1時間ニシテ、中央標準時ノ正午ハ西部標準時ノ午前十一時ナリ。

### 第十一章 温度

(1) 寒暖計 温度ヲ精密ニ測ル器械ニシテ二種アリ。

一、攝氏寒暖計 水ノ氷點ト沸騰點トノ間ヲ百等分シ、氷點ヲ0°トシ、沸騰點ヲ100°トス。學術上ニ用ヰラル。

二、華氏寒暖計 水ノ氷點ト沸騰點トノ間ヲ180等分シ、氷點ヲ32°、沸騰點ヲ212°トス。

(2) 攝氏華氏ノ度数ノ換算

$$\text{攝氏 } 1^{\circ} = \text{華氏} \left( \frac{9}{5} \right)^{\circ}$$

$$\text{華氏 } 1^{\circ} = \text{攝氏} \left( \frac{5}{9} \right)^{\circ}$$

$$\text{攝氏度数} = (\text{華氏度数} - 32^{\circ}) \times \frac{5}{9}$$

$$\text{華氏度数} = \text{攝氏度数} \times \frac{9}{5} + 32^{\circ}$$

## 第五編 比及比例

### 第一章 比

○算術公式

(1) 比 甲数ト之ト同種類ノ乙数トノ比トハ、甲数ハ乙数ノ何倍ナリキノ關係ヲ云フ。

一. 比ノ項 甲数ノ乙数ニ對スル比ニ於テ甲数ヲ前項、乙数ヲ後項ト云ヒ、前項ト後項トヲ比ノ項ト云フ。

二. 比ノ値 前項ヲ後項ニテ除シタル商ヲ云フ。

三. 比ノ値ト項トノ關係

$$\text{比ノ値} = \frac{\text{前項}}{\text{後項}}$$

$$\text{前項} = \text{後項} \times \text{比ノ値}$$

$$\text{後項} = \frac{\text{前項}}{\text{比ノ値}}$$

四. 記法 甲数ノ乙数ニ對スル比ヲ 甲数：乙数 ト書ク。

(2) 比ノ種類

一. 正比 前項ノ後項ニ對スル比ヲ云フ。

二. 反比 後項ノ前項ニ對スル比ヲ、前項ノ後項ニ對スル比ノ反比ト云フ

三. 單比 比ノ兩項ガ單一ナル比ヲ云フ。例ヘバ、 $2 : 5$ ,  $100 : 80$ ノ如シ。

四. 複比 若干ノ單比アリテ、其前項ノ積ヲ前項トシ、後項ノ積ヲ後項トセル比ヲ云フ。

五. 連比 若干ノ數ノ相互ノ比ヲ云フ。例ヘバ、 $2 : 5 : 7$  或ハ  $0.5 : 3.7 : 4.5 : 0.2$ ノ如シ。

(3) 比ノ定理

一. 前項ヲ若干倍スレバ、比ノ値ハ同數倍セラル。即チ、(甲ヲ任意ノ數トス以下同様)

$$\text{前項} \times \text{甲} : \text{後項} = \frac{\text{前項}}{\text{後項}} \times \text{甲}$$

二. 後項ヲ若干倍スレバ、比ノ値ハ同數分セラル。即チ、

$$\text{前項} : \text{後項} = \frac{\text{前項}}{\text{後項}} \div \text{甲}$$

三. 前項ヲ若干分スレバ、比ノ値ハ同數分セラル。即チ、

$$\text{前項} \div \text{甲} : \text{後項} = \frac{\text{前項}}{\text{後項}} \div \text{甲}$$

○算術公式

(107)

(106)

四. 後項ヲ若干分スレバ, 比ノ値ハ同數倍セラル。即チ,

$$\frac{\text{前項}}{\text{後項}} \div \text{甲} = \frac{\text{前項}}{\text{後項}} \times \text{甲}$$

五. 前項ヲ同數倍スルモ同數分スルモ比ノ値ハ變ラズ。即チ,

$$\frac{\text{前項}}{\text{後項}} = \text{前項} \times \text{甲} : \text{後項} \times \text{甲} = \text{前項} \div \text{甲} : \text{後項} \div \text{甲}$$

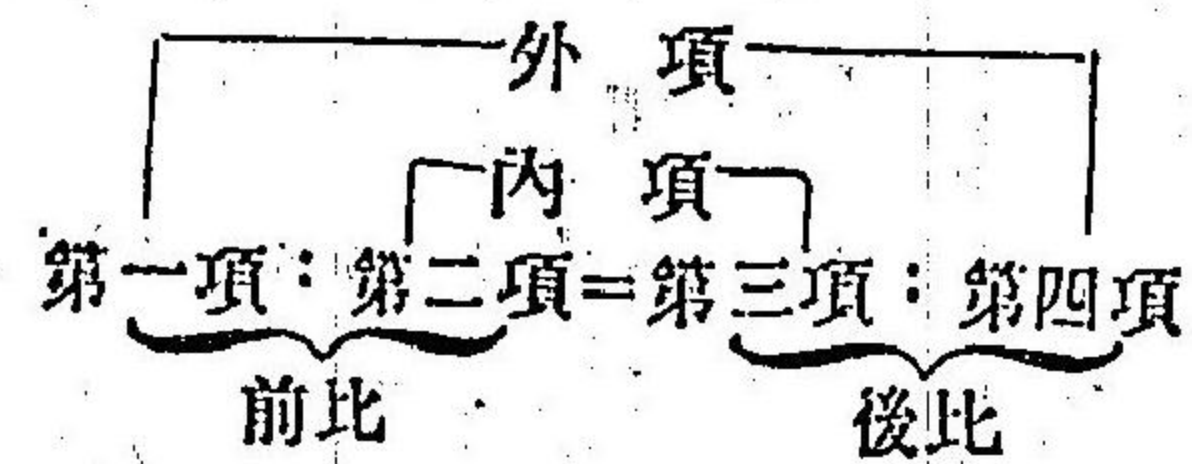
【注意】 此定理ニヨリ, 小数, 分數其他簡單ナラザル比ハ, 之ヲ簡單ナル整数ノ比ニ直スコトヲ得。

### 第二章 比例

(1) 比例 値ノ相等シキニツノ比ヲ等號ニテ結ビ付ケタル式ヲ云フ。

例ヘバ, 5人 : 10人 = 8圓 : 16圓 ノ如シ。

一. 比例ノ項 比例ヲナス四數ヲ左方ヨリ順次ニ 第一項, 第二項, 第三項, 第四項ト云ヒ, 第一項ト第四項ヲ外項, 第二項ト第三項トヲ内項或ハ中項ト云フ。即チ,



(2) 比例ノ定理 内項ノ積ハ外項ノ積ニ對シ。即チ

$$\text{甲} : \text{乙} = \text{丙} : \text{丁} \text{ ナラバ, } \text{甲} \times \text{丁} = \text{乙} \times \text{丙}$$

(3) 比例ノ解法

一. 外項ノ一ツガ未知 ナルトキハ内項ノ積ヲ既知ノ外項ニテ割レ。

二. 内項ノ一ツガ未知 ナルトキハ外項ノ積ヲ既知ノ内項ニテ割レ。

(4) 比例ノ種類

一. 正比例 二種ノ名數アリテ, 一ツノ名數ガ増減スルニ從ツテ, 之ニ對應シテ他ノ一ツノ名數ガ増減スルヲ云フ。

二. 反比例 二種ノ名數アリテ, 一ツノ名數ガ増減スルニ從ツテ, 之ニ對應シテ他ノ一ツノ名數ガ減増スルヲ云フ。

三. 單比例 比ノ前項ト後項トガ單比ナル比例ヲ云フ。

四. 複比例 比ノ前項或ハ後項ノ一方カ或ハ双方ガ共ニ複比ヲ含ム比例ヲ云フ。例ヘバ,

$$\left. \begin{array}{l} 3 : 5 \\ 7 : 4 \\ 3 : 5 \end{array} \right\} = 8 : x \text{ 或ハ } \left. \begin{array}{l} 2 : 3 \\ 3 : 4 \\ 5 : 8 \end{array} \right\} = \left. \begin{array}{l} 2\frac{1}{2} : 3 \\ 3\frac{2}{3} : x \end{array} \right\} \text{ノ如シ}$$

(5) 正比例ヲナス二種ノ名數ノ例

- 一. 定日數ニテナス作業ハ、其人數ニ正比例ス。
- 二. 定人數ニテナス作業ハ、其日數ニ正比例ス。
- 三. 定人數ノ喰フ食量ハ、其日數ニ正比例ス。
- 四. 定日數ニ喰フ食量ハ、其人數ニ正比例ス。
- 五. 定時間ニ歩ム距離ハ、其速力ニ正比例ス。
- 六. 定速力ヲ以テ歩ム距離ハ、其日數ニ正比例ス。
- 七. 定重量ヲ運ブ賃錢ハ、其距離ニ正比例ス。
- 八. 定距離ヲ運ブ賃錢ハ、其重量ニ正比例ス。
- 九. 貨物ノ價ハ、其個數ニ正比例ス。

(6) 反比例ヲナス二種ノ名數ノ例

- 一. 定食物ヲ喰フ人數ハ、其日數ニ反比例ス。
- 二. 定食物ヲ喰フ日數ハ、其人數ニ反比例ス。
- 三. 定作業ヲナスニ要スル人數ハ、其日數ニ反比例ス。
- 四. 定作業ヲナスニ要スル日數ハ、其人數ニ反比例ス。

- 五. 定距離ヲ歩ムニ要スル日數ハ、其速力ニ反比例ス。
- 六. 一定ノ金高ニテ買ヒ得ベキ貨物ノ量ハ、其單位價ニ反比例ス。
- 七. 同面積ノ矩形地ノ間口ハ、奥行ニ反比例ス。
- 八. 定賃錢ニテ運ブ重量ハ、其距離ニ反比例ス。

等。

第三章 單比例

(1) 單比例ノ應用問題解法 所要ノ數ニ對シテ、他ノ數ガ正比例スルカ反比例スルカヲ斷定シテ比例式ヲ作り、之ヲ解ケ。

例1. 或物品八個ノ價ガ四圓八十錢ナラバ、同品十二個ノ價如何。

〔解〕 同物品ノ價ハ、其個數ニ正比例ス。由リテ、

$$8 \text{ 個} : 12 \text{ 個} = 480 \text{ 錢} : x \text{ 錢}$$

$$x \text{ 錢} = \frac{12 \times 480}{8} \text{ 錢} = 720 \text{ 錢} \quad \text{答 } 7 \text{ 圓 } 20 \text{ 錢}$$

例2. 甲乙二人アリ。其力ノ比ハ5 : 6ナリ。然ラバ、甲42日ノ業ハ乙何日ノ業ニ等シカ。

〔解〕 作業力ハ日數ニ反比例スルヲ以テ、

$$6 : 5 = 42 \text{ 日} : x \text{ 日}$$

$$x \text{ 日} = \frac{5 \times 42}{6} \text{ 日} = 35 \text{ 日} \quad \text{答 } 35 \text{ 日}$$

### 第四章 複比例

#### (1) 複比例ノ解法

一. 内項ノ一ツガ未知 ナルトキハ、外項ノ積ヲ既知ノ内項ノ積ニテ割レ

例.  $\left. \begin{matrix} 2 : 3 \\ 3 : 5 \end{matrix} \right\} = \left. \begin{matrix} x : 8 \\ 2 : 5 \end{matrix} \right\}$ ヲ解ケ。

[解]  $x = \frac{2 \times 3 \times 8 \times 5}{3 \times 5 \times 2} = 8 \quad \text{答 } 8$

二. 外項ノ一ツガ未知 ナルトキハ、内項ノ積ヲ既知ノ外項ノ積ニテ割レ。

例.  $\left. \begin{matrix} 3 : 8 \\ 9 : 6 \end{matrix} \right\} = \left. \begin{matrix} 5 : 8 \\ 9 : x \end{matrix} \right\}$ ヲ解ケ。

[解]  $x = \frac{8 \times 6 \times 5 \times 9}{3 \times 9 \times 8} = 10 \quad \text{答 } 10$

(2) 複比例ノ應用問題解法 所要ノ數ニ對シテ、他ノ諸數ガ正比例スルカ反比例スルカヲ斷定シテ比例式ヲ作り、後、之ヲ解ケ。

例 18 日間ニ縦 27 間、横 8 間、深 4 尺ノ溝ヲ掘ルニハ 10 人ノ工夫ヲ要ス。今 30 日間ニ縦 45 間、横 12 間、深サ 8 尺ノ溝ヲ掘ルニハ同シカノ工夫何人ヲ要スルカ。

[解] 縦横深ハ之ニ從事スル人數ニ正比例シ、日數ハ人數ニ反比例スルヲ以テ。

$$\left. \begin{matrix} 27 \text{ 間} : 45 \text{ 間} \\ 8 \text{ 間} : 12 \text{ 間} \\ 4 \text{ 尺} : 8 \text{ 尺} \\ 30 \text{ 日} : 18 \text{ 日} \end{matrix} \right\} = 10 \text{ 人} : x \text{ 人}$$

$$x \text{ 人} = \frac{45 \times 12 \times 8 \times 18 \times 10}{27 \times 8 \times 4 \times 30} \text{ 人} = 30 \text{ 人} \quad \text{答 } 30 \text{ 人}$$

### 第五章 連鎖法

#### (1) 連鎖法及其算法

一. 連鎖法 若干ノ種類ノ數ノ中、第一ト第二、第二ト第三、第三ト第四等ノ順次ノ間ノ相等値ノ關係ヲ知りテ、第一ト同種ナル終リノ數ヲ求ムル方

法ナリ。

二. 其算法 縦線ヲ隔テテ左方ニ所要ノ數ヲ書キ右方ニ之ト相當値ノ關係アル數ヲ書キテ、第一ノ相等式ヲ作り第二ノ相等式ノ左方ニアル數ハ第一ノ相等式ノ右方ニアル數ト同種ナラシメ、第三ノ相等式ノ左方ノ數ハ、第二ノ相當式ノ右方ノ數ト同種ナラシムル如ク相當式ヲ作り、第一ノ相當式ノ左方ノ數(即チ、所要ノ數)ト最後ノ相當式ノ右方ノ數ト同種ナラシム。而シテ、縦線ノ右方ノ數ノ積ヲ左方ノ既知數ノ積ニテ除スベシ。

例、酒三升ノ價ハ茶四斤ノ價ニ等シク、茶六斤ノ價ハ砂糖二十斤ノ價ニ等シク、砂糖十五斤ノ價ハ米一斗二升ノ價ニ等シキトキ、酒九升ノ價ハ米何升ノ價ニ等シキカ。

[解]	米	x 升		9 升	酒
	酒	3 升		4 斤	茶
	茶	6 斤		20 斤	砂糖
	砂糖	15 升		12 升	米

$$x \text{ 升} = \frac{9 \times 4 \times 20 \times 12}{3 \times 6 \times 15} \text{ 升} = 32 \text{ 升} \quad \text{答} \quad 3 \text{ 斗} 2 \text{ 升}$$

### 第六章 按分比例(比例配分)

#### (1) 按分比例(比例配分)及其算法

一. 按分比例 興ヘラレタル數ヲ興ヘラレタル比ニ等シクナル様ニ分ツ方法ナリ。

二. 其算法 興ヘラレタルノ比ヲ求メ、興ヘラレタル比ノ各項ヲ分子トシ、此和ヲ分母トスル分數ヲ興ヘラレタル數ニ乘ズベシ。

例 紙 585 枚ヲ甲乙二人ノ生徒ニ分與スルニ甲ト乙トノ所得ノ比ヲ 4 : 5 ナラシメシトス各人ノ所得如何。

[解]  $4 + 5 = 9$

$$585 \text{ 枚} \times \frac{4}{9} = 260 \text{ 枚}$$

$$585 \text{ 枚} \times \frac{5}{9} = 325 \text{ 枚}$$

答 { 甲 260 枚  
乙 325 枚

### 第七章 混合法(和較算)

#### (1) 混合法(和較算)及其算法

一. 混合法 價ノ異ナル同種ノ物ヲ混合シテ其平均價ヲ求メ、或、混合



スベキ物ノ混合ノ割合ヲ求ムル方法ナリ。

二. 其算法

(イ) 平均價ヲ求ムルコト 混合スベキモノノ單位價ト混合物ノ割合トヲ知リテ混合物ノ平均ノ單位價ヲ求ムルニハ、其總價ヲ求メ、之ヲ其分量ノ總和ニテ除スベシ。

例. 二種ノ酒アリ。一升ニ付、上ハ八十五錢、下ハ五十錢ナリ。今、上七升、下三升ヲ混合スレバ、平均一升ノ價何程ニ當ルカ。

[解] 上7升ノ價 = 85錢 × 7 = 595錢

下3升ノ價 = 50錢 × 3 = 150錢

混合酒10升ノ價 = 745錢

平均價 = 745錢 ÷ 10 = 74.5錢

答 七十四錢五厘

(ロ) 混合ノ割合ヲ求ムルコト 混合物ノ單位價ト平均價トヲ知リテ混合物ノ割合ヲ求メンニハ、平均價ヨリ高キモノト安キモノトヲ取り、平均價ト高キモノトノ差ヲ安キモノノ混合ノ比ノ項トシ 平均價ト安キモノトノ差ヲ高キモノノ混合ノ比ノ項トスベシ。若シ同一ノモノヲ數回用井

タルトキハ、其和ヲ混合ノ比ノ項トスベシ。但シ此等ナル可及簡約ニスルヲ要ス

例. 上茶1斤ノ價ハ1圓80錢、中茶1斤ノ價ハ1圓55錢、下茶1斤ノ價ハ90錢ナリ。如何ナル割合ニ混合スレバ、平均1斤ノ價ヲ1圓20錢トスルモ、損益ナキカ。

[解] 
$$\begin{array}{r|l} 180 \text{ 錢} & \\ 155 \text{ 錢} & \\ 90 \text{ 錢} & \\ \hline 120 \text{ 錢} & \end{array} \left| \begin{array}{l} 30 \ 1 \ 1 \\ 6 \ 6 \\ 7 \ 6 \ 0 \ 2 \ 9 \end{array} \right|$$

答 1 : 6 : 9

[注意] 混合ノ比ヲ求ムルトキ、三種或ハ三種以上ヲ用井ルトキハ一般ニ其混合ノ比ハ不定ナリ。

第八章 比重

(1) 比重及其算法

一. 比重 總テ物體ノ重サガ之ト同積ナル攝氏四度ノ溫度ニ於ケル蒸溜水ノ重サトノ比ヲ云フ。

二. 其算法

比重 = (物ノ重サ) ÷ (物ト同積ノ水ノ重サ)

(物ノ重サ) = (物ト同積ノ水ノ重サ) × 比重

(物ト同積ノ水ノ重サ) = (物ノ重サ) ÷ 比重

第六編 歩合

第一章 歩合

(1) 歩合、歩合高及元高。

一. 歩合 甲數(比較的小ナル數)ノ乙數(比較の大ナル數)ニ對スル比ヲ  
甲數ノ乙數ニ對スル歩合ト云フ。

二. 歩合高 甲數ヲ歩合高(子數)ト云フ。

三. 元高 乙數ヲ元高(母數)ト云フ。

(2) 歩合ノ名稱

一. 十分ノ一ヲ起準トシタルモノ

割 或數ノ十分ノ一。

分(歩) 或數ノ百分ノ一。

厘 或數ノ千分ノ一。

毛 或數ノ一万分ノ一。

絲 或數ノ十万分ノ一。

等

二. 百分ノ一ヲ起準トシタルモノ 或數ノ百分ノ一ヲ「パーセント」ト云  
ヒ、% ナル記號ヲ用ユ。

(3) 歩合算ノ算法

一. 歩合 = 歩合高 ÷ 元高

二. 歩合高 = 元高 × 歩合

三. 元高 = 歩合高 ÷ 歩合

四. 元高 + 歩合高 = 元高 × (1 + 歩合)

五. 元高 - 歩合高 = 元高 × (1 - 歩合)

六. 元高 =  $\frac{\text{元高} + \text{歩合高}}{1 + \text{歩合}}$

=  $\frac{\text{元高} - \text{歩合高}}{1 - \text{歩合}}$

## 第二章 内割及外割

### (1) 内割引及外割引

- 一. 内割引 耗り高ノ元高ニ對スル歩合ヲ云フ。
  - 二. 外割引 耗り高ガ残り高ニ對スル歩合ヲ云フ。
- 【注意】 割引ハ金錢以外ニ於テハ割耗トモ云フ。

### 三. 内割引及外割引ノ算法

#### (イ) 内割引

$$\text{内割引} = \text{元高} \times (1 - \text{歩合})$$

#### (ロ) 外割引

$$\text{外割引} = \text{元高} \times \left(1 - \frac{\text{歩合}}{1 + \text{歩合}}\right)$$

【注意】 内割引ハ幾掛ケトモ云フ。例ヘバ、内 2 割引ヲ 8 掛ト云フガ如シ。而シテ、單ニ割引トハ内割引ノコトナリ。

## 第八編 利息算

### 第一章 緒論

(1) 利息算 金錢ノ貸借ヲ時日ニ關シテ計算スル方法ニシテ、歩合算ノ應用ナリ。

- 一. 元金 貸借シタル金錢ヲ云フ。
- 二. 利息 借主ガ貸主ニ渡ス報酬金ヲ云フ。
- 三. 利率 利息ノ元金ニ對スル歩合ヲ云フ。
- 四. 期間 元金ヲ使用シタル時日ヲ云フ。
- 五. 元利合計 利息ト元金トノ和ヲ云フ。

### (2) 利率ノ種類

- 一. 年利率 期間チ一年トシタル利率ニシテ、單ニ年利トモ云フ。
- 二. 月利率 期間チ一ヶ月トシタル利率ニシテ、單ニ月利トモ云フ。
- 三. 日歩 元金百圓ニ對スル一日ノ利息ヲ云フ。

例ヘバ、日歩二錢三厘トハ、元金百圓ニ對スル一日ノ利息ナリ。

### (3) 期間ノ計算法

- 一. 期間ガ格段ナル年月日ニテ表ハサレ日數ニテ計算スルトキハ太陽曆ニヨリ、此年月日ノ初日ヨリ期日マテヲ貸借ノ日數トシ、(但シ、此年月日ノ翌日ヨリ計算スルコトアリ) 一年チ 365 日トシテ計算ス。

二、單ニ何年何ヶ月何日ト云フトキハ、一年ヲ十二ヶ月、一月ヲ三十日トシテ計算ス。

## 第二章 單利法

### (1) 單利法及其算法

一、單利法 一定ノ元金ガ期間ノ長短ニ應ジテ或一定ノ利率ニヨリ利息ヲ計算スル方法ヲ云フ。

#### 二、其算法

$$(イ) \text{ 利息} = \text{元金} \times \text{利率} \times \text{期間}$$

$$= \text{元金} \times (\text{利率} \times \text{期間})$$

$$(ロ) \text{ 元金} = \text{利息} \div \text{利率} \div \text{期間}$$

$$= \text{利息} \div (\text{利率} \times \text{期間})$$

$$(ハ) \text{ 利率} = \text{利息} \div \text{元金} \div \text{期間}$$

$$= \text{利息} \div (\text{元金} \times \text{期間})$$

$$(ニ) \text{ 期間} = \text{利息} \div \text{元金} \div \text{利率}$$

$$= \text{利息} \div (\text{元金} \times \text{利率})$$

$$(ホ) \text{ 元利合計} = \text{元金} + \text{利息}$$

○算術公式

(1111)

$$= \text{元金} \times (1 + \text{利率} \times \text{期間})$$

$$(ヘ) \text{ 元金} - \text{利息} = \text{元金} \times (1 - \text{利率} \times \text{期間})$$

$$(ト) \text{ 元金} = \text{元利合計} \div (1 + \text{利率} \times \text{期間})$$

$$= (\text{元金} - \text{利息}) \div (1 - \text{利率} \times \text{期間})$$

## 第三章 複利法

### (1) 複利法及其算法

一、複利法及複利 元金ガ一定期毎ニ利息ヲ生ジ、此利息ヲ元金ニ加入シ次期ノ元金トナス方法ヲ云フ。最後ノ元利合計ヨリ元金ヲ引き去リタル残りヲ複利ト云フ。

#### 二、其算法

$$(イ) \text{ 元利合計} = \text{元金} \times (1 + \text{利率})^{\text{期間}}$$

$$(ロ) \text{ 複利} = \text{元金} \times \{ (1 + \text{利率})^{\text{期間}} - 1 \}$$

$$(ハ) \text{ 元金} = \frac{\text{元利合計}}{(1 + \text{利率})^{\text{期間}}}$$

$$= \frac{\text{複利}}{(1 + \text{利率})^{\text{期間}} - 1}$$

○算術公式

(1111)

## 第四章 割引法

(1) 割引法及其算法 支拂期日ヲ定メタル手形ヲ其期日以前ニ手形面金高ヲ受取ラントスルトキ、其受取日ノ翌日ヨリ支拂期日マテノ間ニ生ズル利息ヲ手形面金高ヨリ引去ルコトアリ。之ヲ割引法ト云フ。之ニ二種アリ。銀行割引及眞割引ト云フ。

- 一、現價 支拂期日前ニ實際支拂フ金額ヲ云フ。
- 二、割引 券面金高ヨリ現價ヲ引去リタル残りヲ云フ。
- 三、銀行割引 券面金高ヨリ、券面金高ガ支拂日ヨリ支拂期日マテニ生ズル利息ヲ引去ル方法ヲ云フ。
- 四、眞割引 現價ヲ元金トシ、支拂日ヨリ支拂期日マテノ間ニ利息ヲ生ズルヤウニ現價ヲ定ムル方法ヲ云フ。

### 五、其算法

#### (1) 銀行割引

$$\begin{aligned} \text{割引} &= \text{券面金高} \times \text{利率} \times \text{期間} \\ \text{現價} &= \text{券面金高} - \text{割引} \\ &= \text{券面金高} \times (1 - \text{利率} \times \text{期間}) \end{aligned}$$

○算術公式

(114)

#### (2) 眞割引

$$\begin{aligned} \text{現價} &= \text{券面金高} \div (1 + \text{利率} \times \text{期間}) \\ \text{割引} &= \text{券面金高} - \text{現價} \end{aligned}$$

## 第五章 支拂期日ノ平均

### (1) 支拂期日ノ平均及其算法

一、支拂期日ノ平均 同一ノ人が、他ノ同一ノ人ニ數口ノ手形ヲ振出シタルトキ、双方合議ノ上、双方共損益ナキヤウニ一枚ノ手形ヲ作製シ、其支拂期日ヲ定ムル方法ヲ云フ。

二、其算法 各口ノ金高ニ、其支拂期日マテノ期間ヲ掛ケタル結果ノ和ヲ券面金高ノ和ニテ割レ。

例1. 二口ノ手形アリ。一ハ二百圓三ヶ月拂、他ハ三百圓四ヶ月拂ナリ。之ヲ一度ニ拂ハシメハ期日ヲ如何ニスベキカ。

$$[解] \quad 200 \times 3 = 600$$

$$300 \times 4 = 1200$$

$$\hline 500 \quad 1800$$

$$1800 \text{ 圓} \div 500 \text{ 圓} = 3.6 \quad \text{即} \quad 3.6 \text{ 月}$$

○算術公式

(115)

3.6月 = 3月16日 答3ヶ月16日拂

例2. 甲ハ乙ニ三口ノ約束手形ヲ興ヘタリ。一ハ四ヶ月後拂五百圓、一ハ二ヶ月後拂千圓、一ハ三ヶ月後拂二千圓ナリ。又、乙ハ甲ニ五ヶ月後拂五百圓ノ手形ヲ興ヘタリ。然ラバ、甲ハ乙ニ金幾圓ヲ何ヶ月後ニ拂フベキカ。

〔解〕

$$500 \times 4 = 2000$$

$$1000 \times 2 = 2000$$

$$2000 \times 3 = 6000$$

$$3500 = 10000$$

$$500 \times 5 = 2500$$

$$3000 = 7500$$

$$(7500 \div 3000) \text{月} = 2.5 \text{月}$$

ニリテ、甲ハ乙ニ金三千圓ヲ二ヶ月半後ニ拂ヘバヨシ。

## 第九編 開平及開立

### 第一章 開平

(1) 開平 平方根ヲ求ムル方法ヲ云フ。

一. 平方根 或數ノ平方ガ他ノ數ニ等シキトキ、或數ヲ他ノ數ノ平方根ト云フ。

二. 根號 平方根ヲ表ハス記號ハ  $\sqrt{\quad}$  ニシテ、例ヘバ 18 ノ平方根ヲ  $\sqrt{18}$  ト書ク。

(2) 開平九九 充分諸誦スルヲ要ス

數	1	2	3	4	5	6	7	8	9
其平方	1	4	9	16	25	36	49	64	81

(3) 平方根ノ定位

一. 整数ノ平方根ノ定位

(1) 一桁或ハ二桁ノ整数ノ平方根ハ一桁ノ整数。

(2) 三桁或ハ四桁ノ整数ノ平方根ハ二桁ノ整数。

(3) 五桁或ハ六桁ノ整数ノ平方根ハ三桁ノ整数。

(4) 七桁或ハ八桁ノ整数ノ平方根ハ四桁ノ整数。

以下之ニ準ズ。

二、小数ノ平方根ノ定位

小数ノ平方ハ其桁数ノ2倍ノ桁数トナルヲ以テ、小数ノ平方根ハ其数ノ半分ノ桁数ヲ有ス

(4) 平方根ノ基礎定理

$$\begin{aligned} \text{一、} (甲 + 乙)^2 &= 甲^2 + 2 \times 甲 \times 乙 + 乙^2 \\ &= 甲^2 + (2 \times 甲 + 乙) \times 乙 \end{aligned}$$

$$\text{二、} (甲 + 乙)^2 - 甲^2 = (2 \times 甲 + 乙) \times 乙$$

(5) 開平ノ算法

一、整数ノ平方根 (4)ノ定理ニテ複用スレバ求ムルコトヲ得。

例1, 625ノ平方根ヲ求ム。

〔解〕  $6 \overline{) 25} ( 20 + 5$

$$20^2 = \underline{400}$$

$$225$$

$$(2 \times 20 + 5) \times 5 = \underline{225}$$

0 答 25

實際ハ次ノ如クス。

$$2 \overline{) 625} ( 25$$

$$4$$

$$45 \quad 225$$

$$225$$

$$0$$

答 25

例2, 522729ノ平方根ヲ求ム。

〔解〕  $52 \overline{) 2729} ( 700 + 20 + 3$

$$700^2 = \underline{490000}$$

$$32729$$

$$(2 \times 700 + 20) \times 20 = \underline{28400}$$

$$4329$$

$$(2 \times 720 + 3) \times 3 = \underline{4329}$$

$$0$$

答 723

實際ハ次ノ如クス。

$$\begin{array}{r}
 7 \ ) 52 \overline{) 27} \overline{) 29} \ ( 7 \ 2 \ 9 \\
 \underline{49} \\
 1 \ 4 \ 2 \ ) \ 3 \ 2 \ 7 \\
 \underline{284} \\
 1 \ 4 \ 4 \ 3 \ ) \ 4 \ 3 \ 2 \ 9 \\
 \underline{4329} \\
 0
 \end{array}$$

答 729

- 二、小数或ハ帶小数ノ平方根 定位セシ後、小数點ノ有無ニ關セズ 整数ノ如クス。
- 三、分数ノ平方根 分子ト分母トノ格別ノ平方根ヲ求ムルカ或ハ小数ニ化シテ後平方根ヲ求ムベシ。

### 第二章 開立

- (1) 開立 立方根ヲ求ムル方法ヲ云フ。
  - 一、立方根 或數ノ立方ガ他ノ數ニ等シキトキ、或數ヲ他ノ數ノ立方根ト云フ。
  - 二、根號 立方根ヲ表ハス根號ハ $\sqrt[3]{\quad}$ ニシテ、例ヘバ、 $\sqrt[3]{62}$ ノ立方根ヲ

$\sqrt[3]{62}$ トス。

(2) 開立九九 充分諳誦スルヲ要ス。

數	1	2	3	4	5	6	7	8	9
其立方	1	8	27	64	125	216	343	512	729

(3) 立方根ノ定位

一、整数ノ立方根ノ定位

- (イ) 一桁二桁三桁ノ整数ノ立方根ハ一桁ノ整数。
  - (ロ) 四桁五桁六桁ノ整数ノ立方根ハ二桁ノ整数。
  - (ハ) 七桁八桁九桁ノ整数ノ立方根ハ三桁ノ整数。
- 其他之ニ準ズ。

二、小数ノ立方根ノ定位

・小数ノ立方ハ其桁數ノ3倍ノ桁數トナルヲ以テ、小数ノ平方根ノ桁數ハ其數ノ三分ノ一ノ桁數ヲ有ス。

(4) 立方根ノ基礎ノ定理



○算術公式

$$\begin{aligned} \text{一、} (甲+乙)^3 &= 甲^3 + 3 \times 甲^2 \times 乙 + 3 \times 甲 \times 乙^2 + 乙^3 \\ &= 甲^3 + (3 \times 甲^2 + 3 \times 甲 \times 乙 + 乙^2) \times 乙 \end{aligned}$$

$$\text{二、} (甲+乙)^3 - 甲^3 = (3 \times 甲^2 + 3 \times 甲 \times 乙 + 乙^2) \times 乙$$

(5) 開立ノ算法 (4)ノ定理ニテ移用スレバ求メラル。

一、整数ノ立方根

例、193100552ノ立方根ヲ求ム。

[解]  $193 \overline{) 193100552} (578$

$$\begin{array}{r} 500^3 = 125000000 \\ 3 \times 500^2 = 750000 \\ (3 \times 500 + 70) \times 70 = 109000 \\ \hline 500 \times 70 = 601000 \\ 3 \times 500^2 = 750000 \\ (3 \times 500 + 70) \times 70 = 109000 \\ \hline 500 \times 70 = 601000 \\ 3 \times 570^2 = 974700 \\ (3 \times 570 + 8) \times 8 = 13680 \\ \hline 570 \times 8 = 4560 \\ 3 \times 570^2 = 974700 \\ (3 \times 570 + 8) \times 8 = 13680 \\ \hline 570 \times 8 = 4560 \\ 988444 \times 8 = 7907552 \end{array}$$

0 答 578

實際ハ次ノ如クヌ。

(一三二)

$$193 \overline{) 193100552} (578$$

$$125$$

$$68100$$

$$60193$$

$$7907552$$

$$7907552$$

答 578

$$\begin{aligned} 5^3 &= 125 \\ 3 \times 5^2 &= 75 \\ 3 \times 5 \times 7 &= 105 \\ 7^2 &= 49 \\ \hline 8599 \\ &49 \\ 3 \times 57^2 &= 9747 \\ 3 \times 57 \times 8 &= 1368 \\ 8^2 &= 64 \\ \hline 98844 \end{aligned}$$

二、小数或ハ帶小数ノ平方根 定位ヲナシテ後、小数點ノ有無ニ關セス 整数ノ如クスベシ。

三、分數ノ立方根 分子ト分母トヲ格別ノ立方根ヲ求ムルカ或ハ小数ニ 化シテ後立方根ヲ求ムベシ。

○算術公式

(一三三)

## 第十編 求 積

○算術公式

(1) 求積 幾何學定理ノ結果ニヨリ平面形ノ長サ、面積及立體ノ表面積、體積ヲ計算スル法ヲ云フ。

(2) 平面積ノ求積

一、三角形

$$\text{面積} = \text{底} \times \text{高} \div 2$$

三邊ヲ、夫々、 $a, b, c$  トシ其周半ヲ  $s$  トスレバ、

$$\text{面積} = \sqrt{s \times (s-a) \times (s-b) \times (s-c)}$$

二、矩形 面積 = 底  $\times$  高

三、正方形 面積 = 邊<sup>2</sup>

四、平方四邊形 面積 = 底  $\times$  高

五、梯形 面積 = (上底 + 下底)  $\times$  高  $\div 2$

六、圓 圓周 = 直徑  $\times 3.1416$

$$\text{直徑} = \text{半徑} \times 2$$

$$\text{面積} = \text{半徑}^2 \times 3.1416 = \text{直徑}^2 \times 3.1416 \div 4$$

(一三四)

(3) 立體ノ求積

一、角塔及圓塔

$$\text{側面積} = \text{底面ノ周} \times \text{高}$$

$$\text{全面積} = \text{側面積} + \text{底面積} \times 2$$

$$\text{體積} = \text{底面積} \times \text{高}$$

二、角錐及圓錐

$$\text{側面積} = (\text{底面ノ周} \times \text{斜高}) \div 3$$

$$\text{全面積} = \text{側面積} + \text{底面積} \times 2$$

$$\text{體積} = \text{底面積} \times \text{高} \div 3$$

三、角臺及圓臺

$$\text{側面積} = \text{兩底面ノ周ノ和} \times \text{斜高} \div 3$$

$$\text{全面積} = \text{側面積} + \text{兩底面ノ和}$$

$$\text{體積} = (\text{兩底面積ノ和} + \text{兩底面積ノ比例中項}) \times \text{高} \div 3$$

四、球 表面積 =  $4 \times \text{半徑}^2 \times 3.1416 = \text{直徑}^2 \times 3.1416$

$$\text{體積} = 4 \times \text{半徑}^3 \times 3.1416 \div 3 = \text{直徑}^3 \times 3.1416 \div 6$$

終

○算術公式

(一三五)



# 複 利 表

元金1に對する元利合計

(1期より25期に至る)

期 率	2.5分	3分	3.5分	4分	4.5分	5分	6分	7分	8分	9分	1割	1割1分	期 率
1	1.025000	1.030000	1.035000	1.040000	1.045000	1.050000	1.060000	1.070000	1.080000	1.090000	1.100000	1.110000	1
2	1.050625	1.060900	1.071225	1.081600	1.092025	1.102500	1.123600	1.144900	1.166400	1.188100	1.210000	1.232100	2
3	1.076891	1.092727	1.108718	1.124864	1.141166	1.157625	1.191016	1.225043	1.259712	1.295029	1.331000	1.367631	3
4	1.103813	1.125509	1.147523	1.169859	1.192519	1.215506	1.262477	1.310796	1.360489	1.411582	1.464100	1.518070	4
5	1.131408	1.159274	1.187686	1.216653	1.246182	1.276282	1.338226	1.402552	1.469328	1.538624	1.610510	1.685058	5
6	1.159693	1.194052	1.229255	1.265319	1.302260	1.340096	1.418519	1.500730	1.586874	1.677100	1.771561	1.870415	6
7	1.188686	1.229874	1.272279	1.315932	1.360862	1.407100	1.503630	1.605781	1.713824	1.828039	1.948717	2.076160	7
8	1.218403	1.266770	1.316809	1.368569	1.422101	1.477455	1.593848	1.718186	1.850930	1.992563	2.143589	2.304538	8
9	1.248863	1.304773	1.362897	1.423312	1.486095	1.551328	1.689479	1.838459	1.999005	2.171893	2.357948	2.558037	9
10	1.280085	1.343916	1.410599	1.480244	1.552969	1.628895	1.790848	1.967151	2.158925	2.367364	2.593742	2.839421	10
11	1.312087	1.384234	1.459970	1.539454	1.622853	1.710336	1.898299	2.104852	2.331639	2.580427	2.853117	3.151757	11
12	1.344889	1.425761	1.511069	1.601032	1.695881	1.765856	2.012196	2.252192	2.518170	2.812665	3.138428	3.498451	12
13	1.378511	1.468534	1.563956	1.665074	1.772196	1.885649	2.132928	2.409845	2.719624	3.065805	3.452271	3.883280	13
14	1.412974	1.512590	1.618695	1.731676	1.851945	1.979932	2.260904	2.578534	2.937194	3.341727	3.797498	4.310441	14
15	1.448298	1.557967	1.675349	1.800944	1.935282	2.078928	2.396558	2.759032	3.172169	3.642482	4.177248	4.784589	15
16	1.484506	1.604706	1.733986	1.872981	2.022370	2.182875	2.540352	2.952164	3.425943	3.970306	4.594973	5.310894	16
17	1.521618	1.652848	1.794676	1.947901	2.113377	2.292018	2.692773	3.158815	3.700018	4.327633	5.054470	5.895093	17
18	1.559659	1.702433	1.857489	2.025817	2.208479	2.406619	2.854339	3.379932	3.996020	4.717120	5.559917	6.543553	18
19	1.598650	1.753506	1.922501	2.106849	2.307860	2.526950	3.025600	3.616528	4.315701	5.141661	6.115909	7.263344	19
20	1.638616	1.806111	1.989789	2.191123	2.411714	2.653298	3.207135	3.869684	4.660957	5.604411	6.727500	8.062312	20
21	1.679582	1.860295	2.059431	2.278768	2.520241	2.785963	3.399564	4.140562	5.033834	6.108808	7.400250	8.949166	21
22	1.721571	1.916103	2.131512	2.369919	2.633652	2.925261	3.603537	4.430402	5.436540	6.658600	8.140275	9.933574	22
23	1.764611	1.973587	2.206114	2.464716	2.752166	3.071524	3.819750	4.740530	5.871464	7.257874	8.954302	11.026267	23
24	1.808726	2.032794	2.283328	2.563304	2.876014	3.225100	4.048935	5.072367	6.341181	7.911083	9.849733	12.239157	24
25	1.853944	2.093778	2.363245	2.665836	3.005434	3.386355	4.291871	5.427433	6.848475	8.623081	10.834706	13.585464	25
期 率	2.5%	3%	3.5%	4%	4.5%	5%	6%	7%	8%	9%	10%	11%	期 率



2. 例へバ、 $a_1, a_2, a_3, \dots$ ノ如シ。

(ホ) 既知數ヲ代表スル文字 通例、 $a, b, c$ ノ如キ首メノ文字ヲ用ユ。

(ハ) 未知數ヲ代表スル文字 通例、 $x, y, z$ ノ如キ終リノ文字ヲ用ユ。

(三) 符號 數ノ演算及ビ其關係ヲ示スモノトス。

(1) 演算ノ符號

1. 加號  $+$ ハ算術ト同様ナリ。

2. 減號  $-$ ハ算術ト同様ナリ。

3. 乘號  $\times$ ハ算術ト同様ナリ。乘號ニハ點(.)ヲ用ヰルコトアリ。例へバ、 $a \times b$ ヲ $a.b$ トシ、 $18 \times a \times b$ ヲ $18.a.b$ トスルガ如シ。但シ、數字ト數字トノ間ニ用ヰルトキハ小數點ト區別スル必要アルヲ以テ、小數點ハ數字ト數字トノ間ノ中央部ニ打チ乘號ノ場合ニハ數字ト數字トノ間ノ下部ニ打ツ。例へバ、8個3分5厘ヲ $8.35$ トシ、 $8 \times 3$ ヲ $8.3$ トスルガ如シ。

又、乘號ハ、數字ト文字或ハ文字ト文字トノ間ニハ、通例、省クモ

ノトス。例へバ、 $18 \times a$ ヲ $18a$ 、 $20 \times a \times b \times c$ ヲ $20abc$ トスルガ如シ。但シ、數字ト數字トノ間ニハ省ク可ラズ。例へバ、 $12 \times 18$ ヲ $1218$ トスルコトヲ得ズ。

4. 除號  $\div$ ハ算術ト同様ナリ。代數學ニ於テハ一橫線ヲ用ヰテ分數ノ形ヲニテ表スコト多シ。例へバ、 $a \div b$ ヲ $\frac{a}{b}$ トスルガ如シ。

(ロ) 關係ノ符號

1. 等號  $=$ ハ算術ト同様ナリ。

2. 不等號  $a > b$ ハ $a$ ガ $b$ ヨリ大ナルコト示シ、 $a < b$ ハ $a$ ガ $b$ ヨリ小ナルコトヲ示スモノトス。又、 $a \neq b$ ハ $a$ ガ $b$ ニ等シカラザルコトヲ示スモノトス。

3. 差號  $\sim$ ヲ二數ノ間ニ置クトキハ大ナル方ノ數ヨリ小ナル方ノ數ヲ用クコトヲ示ス符號トス。例へバ、 $12 \sim 13$ ハ $13-12$ ニ示スガ如シ。

4. 複號  $\pm$ ハ加或ハ減ヲ兩意ス。例へバ、 $a \pm b$ ハ、 $a+b$ ト $a-b$ トヲ示スガ如シ。

5. 根號  $\sqrt{\quad}$  ナ一數ノ左ニ置クトキハ、其一數ノ方乘根ヲ示ス。方乘根ハ (8) ナ看ヨ。

例ヘバ、 $\sqrt{a}$  ハ  $a$  ノ二方乘根、即チ、 $a$  ノ平方根ヲ示シ、通例  $\sqrt{a}$  ト略記ス。 $\sqrt[3]{a}$  ハ  $a$  ノ三方乘根、即チ、 $a$  ノ立方根ヲ示シ、 $\sqrt[4]{a}$  ハ  $a$  ノ四方乘根、 $\sqrt[n]{a}$  ハ  $a$  ノ  $n$  方乘根ヲ示ス。

6. 遂乘號  $!$  或ハ  $n!$  ナ云ヒ、1 ヨリ起ル連續數ノ連乘積ヲ示スモノトス。例ヘバ、 $1 \times 2 \times 3 \times 4$  ナ  $4!$  或ハ  $4!$  トシ、 $1 \times 2 \times 3 \times \dots \times n$  ナ  $n!$  或ハ  $n!$  トスルガ如シ。

7. 其他ノ符號  $a > b$  ハ  $a$  ハ  $b$  ヨリ大ナラザルコトヲ示シ、 $a < b$  ハ  $a$  ハ  $b$  ヨリ小ナラザルコトヲ示スガ如シ。

(ハ) 括弧 ニツ以上ノ數チ一ツノ數ト見做シテ取扱フ符號ニシテ、 $\square, \{, ()$  等ノ種類アリ。例ヘバ、 $a + (b - c)$  ハ  $b$  ヨリ  $c$  チ減ツタル結果ヲ  $a$  ニ加フルコト、 $\{(a + b) + (c - d)\} \times e$  ハ  $a$  ト  $b$  トノ和ニ  $c$  ト  $d$  トノ差ヲ加ヘタル結果ニ  $e$  チ乘ズルコトナリ。

(ニ) 括線 括弧ノ代リニ用ヰル一横線ヲ云フ。例ヘバ、 $(a + b) - (c - d)$  ノ代リニ  $\overline{a + b} - \overline{c - d}$  トスルガ如シ。

(3) 積及ビ連積數 ニツノ數ヲ掛合セタル結果ヲ積ト云ヒ、三ツ以上ノ數ヲ掛合セタル結果ヲ連乘積或ハ累乘積又ハ單ニ積ト云フ。

(4) 因數(因子) 一數ガニツ以上ノ數ナルトキ、後ノ各數ヲ積ノ因數或ハ因子ト云フ。例ヘバ、 $5, a, b$  ハ  $5 a b$  ノ因數ナリ。

(5) 係數 一數ヲ二因數ノ積ト見做ストキ、其ノ一因數ヲ他ノ一因數ノ係數ト云フ。例ヘバ、 $18 a b$  ナ  $18 a \times b$  トセバ、 $18 a$  ハ  $b$  ノ係數、 $b$  ハ  $18 a$  ノ係數ナリ。

而シテ、係數ガ文字ナルトキハ、之ヲ文字係數ト云ヒ。數字ナルトキハ、之ヲ數字係數ト云フ。例ヘバ、 $a b c d$  ニ於テ、 $a b$  ハ  $c d$  ノ文字係數、 $c d$  ハ  $a b$  ノ文字係數ナリ。又、 $24 a b$  ニ於テ、 $24$  ハ  $a b$  ノ數字係數ナリ。

通例、係數ト云フトキハ、數字係數ヲ指スモノトス。

(6) 乘元 文字ノ因數ヲ云フ。例ヘバ、 $5 a b$  ニ於テノ乘元ハ  $a, b$  ナリ

(7) 冪(方乘)及ビ指數 相等シキ因數ノ積ヲ、其一因數ノ乘冪或ハ單ニ冪ト云ヒ、冪ハ又方乘トモ云フ。而シテ、冪ハ因數ノ數ガ二、三、四、五……………ナルトキ、之ヲ、夫々、二冪(二方乘)、三冪(三方乘)、四冪(四方乘)、五冪(五方乘)……………ト云フ。

二冪ノコトヲ、特ニ、平方或ハ自乗ト云ヒ、三冪ノコトヲ、特ニ、立方ト云フ。而シテ、因數ガ一ツナルトキ其因數ヲ其因數ノ一冪(一乗)ト云フコトアリ。

$a, aa, aaa, aaaa, aaaaa \dots \dots n$  因數迄ヲ、夫々、 $a^1, a^2, a^3, a^4, a^n$ ト略記ス。此因數ノ右肩ニ記サレタル 1, 2, 3, 4,  $n$  ヲ指數ト云フ。

(8) 方乘根(根)及ビ根指數 一數ノ  $n$  冪ガ他ノ一數ニ等シキトキ、始メノ一數ヲ他ノ一數ノ  $n$  乘根或ハ單ニ根ト云ヒ、 $a$  ノ  $n$  乘根ヲ  $\sqrt[n]{a}$  ト記スモノニシテ、此  $n$  ヲ根指數ト云ヒ、 $n$  ガ 2, 3, 4,  $\dots$  ナルニ從ツテ、二乘根、三乘根、四乘根  $\dots$  ト云フ。

而シテ、二乘根、三乘根ハ、特ニ夫々、平方根、立方根ト云フ。

(9) 代數式 代數記號ノ集合セルモノヲ云ヒ、單ニ式ト云フ。例ヘバ、 $8a^2b + 5ab + 9b - 4ab^3$  ノ如シ。

六

(一) 項 代數式ニ於テ+及ビ-ニテ連結セル各部ヲ云フ。例ヘバ、 $8a^2b + 5ab + 9b - 4ab^3$  ニ於ケル  $8a^2b, 5ab + 9b, 4ab^3$  ハ項ナリ。

(二) 項ノ次數 項ノ次數トハ、其乘元ノ數ヲ云フ。

(1) 同類項 乘元ガ全ク 相等シキ項ヲ云フ。例ヘバ、 $7a^2b, -8a^2b, 16a^2b$  ハ同類項ナリ。

(2) 異類項 同類項ナラザルモノヲ云フ。例ヘバ、 $7a^2b^2, 5a^2b$  ハ異類項ナリ。

(三) 代數式ノ種類

(1) 單項式 一項ヨリ成ル式ヲ云ヒ、又、一項式トモ云フ。

(2) 多項式 二項以上ヨリ成ル式ヲ云フ。而シテ、二項、三項、四項  $\dots$  ヲヨリ成ル式ヲ、夫々、二項式、三項式、四項  $\dots$  ト云フ。其他、之ニ準ズ。

(3) 整式 分母ニ文字ヲ含マザル代數式ヲ云フ。例ヘバ、 $\frac{a}{2} + b^2$  ノ如シ。

(4) 特別ナル文字ノ整式 分母ニ其文字ヲ含マザル代數式ヲ云フ。例ヘバ、 $\frac{a^2}{x} - \frac{ab}{y} + a^2b$  ハ  $a$  及ビ  $b$  ノ整式ナリ。

(5) 分數式 分母ニ文字ヲ含ム代數式ヲ云フ。例ヘバ、 $\frac{b}{a}, \frac{a^2b}{x}$



例へバ、 $5ab$  は 2 次、 $4ab^2 = 4abb$  ナルヲ以テ、 $4ab^2$  は 3 次ナリ

$$\frac{a^2b^3}{y} + a^3xy \text{ ノ如シ。}$$

(ハ) 有理式及ヒ無理式 根號ヲ冠ラセタル文字ヲ含マザル式ヲ有理式ト云ヒ、根號ヲ冠ラセタル文字ヲ含ム式ヲ無理式ト云フ。例へバ、

$$\frac{a}{b} + ab \text{ ハ有理式ニシテ、} 2a\sqrt{x} + y \text{ ハ無理式ナリ。}$$

(ト) 特別ナル文字ノ有理式 其文字ニ根號ヲ有セザル式ヲ其文字ニ關シテ有理式ト云フ。例へバ、 $2a+3b\sqrt{x}+c$  ハ無理式ナレドモ

$a, b, c$  ニ就テハ有理式ナリ。

次ニ代数式ヲ表シテ示サン。

代数式  $\begin{cases} \text{有理式} & \left\{ \begin{array}{l} \text{整式} \\ \text{分式} \end{array} \right. \\ \text{無理式} \end{cases}$

(チ) 代数式ノ次数 代数式ハ、其式中ノ最高次ノ項ニヨリテ、其次數ヲ定ムルモノトス。例へバ、 $8x^2y - 2x^2 + 3xy$  ニ於テノ最高次ノ項ハ  $8x^2y$  ニシテ 4 次ノ項ナルヲ以テ、之ヲ四次式ト云フ。

代数式ハ又其式中ノ某文字ニ就キテ次数ヲ云フコトアリ。例へバ、

$$7x^2 + 2xy + y^2 \text{ ハ } x \text{ ノ二次式ナリ。}$$

(リ) 同次式、或ハ齊次式 代数式中ノ各項ガ同次ナル式ヲ同次式或ハ齊次式ト云フ。例へバ、 $x^2 + 2xy + y^2$  ハ二次ノ同次式ナリ。

(ヌ) 等式及ヒ不等式 ニツノ式ガ相等シキコトヲ示ス式ヲ等式ト云ヒ、ニツノ式ガ相等シカラザルコトヲ示ス式ヲ不等式ト云フ。例へバ、 $8x^2 + y = 5a - 3b$  ハ等式ニシテ、 $7xy - 5y^2 > 8x^2y^2$  ハ不等式ナリ。

(ル) 代数式ノ昇降 同ツ文字ガ各異ナル指數ヲ有スル所ノ或多項式ニ於テ、其文字ノ最高次ノ指數ヲ有スル項ヲ左端ニ書キ、夫レヨリ次第ニ其低キ指數ヲ有スル項ヲ右方ニ書キ連ネタルトキ、其式ハ其文字ノ遞降或ハ降ノ順ニ配列セラレタリト云ヒ。又、之ニ反對ニ書キ連ネタルトキ、其式ハ其文字ノ遞昇或ハ昇ノ順ニ配列セラレタリト云フ。例へバ、 $x^3 - 3x^2y + 3xy^2 - y^3$  ハ  $x$  ニ就キハ降、 $y$  ニ就テハ昇ノ式ナリ。

(ロ) 式ノ計算ノ順序

- (一) 加號ノミヲ含ム式ハ左方ヨリ順次ニ右方ニ計算スベシ。
- (二) 減號ノミヲ含ム式ハ左方ヨリ順次ニ右方ニ計算スベシ。
- (三) 乘號ノミヲ含ム式ハ左方ヨリ順次ニ右方ニ計算スベシ。
- (四) 除號ノミヲ含ム式ハ左方ヨリ順次ニ右方ニ計算スベシ。
- (五) 加號ト減號トノミヲ含ム式ハ左方ヨリ順次ニ右方ニ計算スベシ。
- (六) 乘號ト除號トノミヲ含ム式ハ左方ヨリ順次ニ右方ニ計算スベシ。
- (七) 加減乗除ノ符號ヲ含ム式ハ(六)ニヨリテ乗除ヲ先キニシ、(五)ニヨリテ加減ヲ後ニスベシ。

(11) 代数学ノ數値 式中ノ文字ニ數ヲ代用シ、符號ヲ示セル演算ヲ實行シテ得タル結果ヲ云フ。

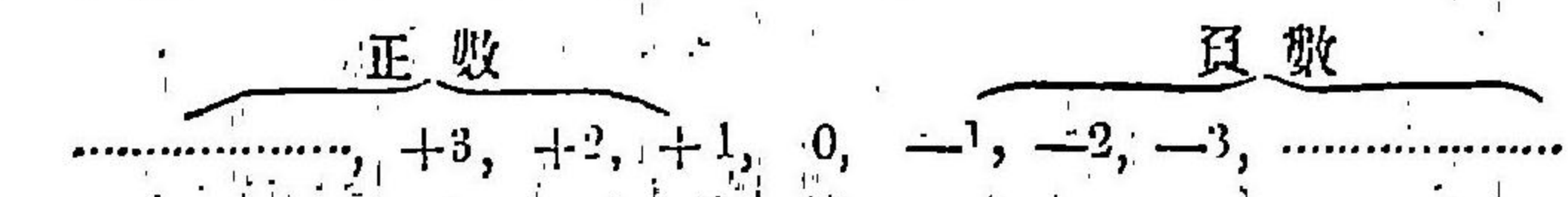
- 例1.  $a=5, b=3$  ナルトキ  $5ab$  ノ數値如何
- [解]  $5ab=5 \times 5 \times 3=75$  答 75
- 例2.  $a=1, b=2, c=3, d=4$  ナルトキ  $a^2+b^3c-5d$  ノ數値如何。
- [解]  $a^2+b^3c-5d=1^2+2^3 \times 3-5 \times 4=1+8 \times 3-20$   
 $=1+24-20=5$  答 5

## 第二編 基本の定則

### 第一章 正數及び負數

(1) 正數及び負數 0ヨリ1個少キ數ヲ  $-1$ , 2個少キ數ヲ  $-2$ , 3個少キ數ヲ  $-3$ ,  $\pm$ 個少キ數ヲ  $-1, \dots$ ニテ表ストキ、此等ノ數ヲ負數ト云フ。

負數ニ對シ、在來ノ數ヲ正數ト云ヒ、在來ノ數ノ前ニ  $+$ ヲ前置シテ表スモノトス。次ニ1個ツツ少キ數ヲ示サン。



0ハ正數トスルモ負數トスルモ其結果ハ同一ナリ。  
 正數ヲ表ハストキノ  $+$ ハ、通例、省クモノトス。例ヘバ、 $+18$ ヲ  $18$ ,  $+\frac{17}{29}$ ヲ  $\frac{17}{29}$ トスルガ如シ。

(2) 性質ノ符號  $+$ 及  $-$ ガ正數及ビ負數ヲ表ストキハ、此  $+$ 及  $-$ ガ性質ノ符號ト云ヒ、 $+$ ヲ正號、 $-$ ヲ負號ト云フ。代数学ニ於テ、單ニ、符號ト云フトキハ  $+$ 及  $-$ ナル性質ノ符號ヲ指スモノトス。

○代数学公式

- (3) 代数的数 数 $\pm$ 及 $\pm$ ヲ附シテ考フルトキ、之ヲ代数的数ト云フ。  
 (4) 代数和及ビ代数差 代数和トハ代数的数ノ和ノコト、代数差トハ代数的数ノ差ノコトナリ。  
 (5) 絶対値 正数及ビ負数ノ符號ニ關セズ考フルトキノ数ヲ絶対値ト云フ  
 例ヘバ、 $+18$ ト $-18$ トノ絶対値ハ共ニ $18$ ナリ。

## 第二章 符號の定則

## (1) 符號ノ定則

## (一) 加法

(A) 同符號ヲ有スル数ノ和

$$(+a) + (+b) = +(a+b), \quad (-a) + (-b) = -(a+b)$$

(B) 異符號ヲ有スル数ノ和

$a > b$  ナルトキ、

$$(+a) + (-b) = +(a-b), \quad (-a) + (+b) = -(a-b)$$

$a < b$  ナルトキ、

$$(+a) + (-b) = -(b-a), \quad (-a) + (+b) = +(b-a)$$

## (二) 減法

$a > b$  ナルトキ

$$(+a) - (+b) = +(a-b), \quad (+a) - (-b) = +(a+b)$$

$$(-a) - (+b) = -(a+b), \quad (-a) - (-b) = -(a-b)$$

$a < b$  ナルトキ

$$(+a) - (+b) = -(b-a), \quad (+a) - (-b) = +(a+b)$$

$$(-a) - (+b) = -(a+b), \quad (-a) - (-b) = +(b-a)$$

## (三) 乘法

(A) 同符號ノ二数ノ積

$$(+a)(+b) = +(a \cdot b), \quad (-a)(-b) = +(a \cdot b)$$

(B) 異符號ノ二数ノ積

$$(+a)(-b) = -ab, \quad (-a)(+b) = -ab$$

(注意) 同符號ノ積ハ正、異符號ノ積ハ負ナリ。

## (四) 除法

(A) 同符號ノ二数ノ商

$$(+ab) \div (+a) = +b, \quad (+ab) \div (+b) = +a$$

$$(-ab) \div (-a) = +b, \quad (-ab) \div (-b) = +a$$

(□) 異符號ノ二數ノ商

$$(+ab) \div (-a) = -b, \quad (+ab) \div (-b) = -a$$

$$(-ab) \div (+a) = -b, \quad (-ab) \div (+b) = -a$$

【注意】 同符號ノ商ハ正, 異符號ノ商ハ負ナリ。

(2) 正項及ビ負項 文字ハ整数、分數、小數或ハ負數、整数、分數、小數其他、任意ノ數ヲ代表スルニ得ルヲ以テ、 $+a$ ハ必ズシモ正數ナラズ、 $-a$ ハ必ズシモ負數ナラズ。然レドモ、 $+a$ ハ見掛上正項ト云ヒ、 $-a$ ハ見掛上負項ト云フ。

【注意】 文字ハ任意ノ數ヲ代表シ得レドモ、一ノ演算中ニテハ同一ノ數ヲ代表スルモノトス。

第三編 整式ノ加減乗除  
第一章 加法及び減法

(1) 加法

(一) 定理

$$(1) \quad a+b+c+\dots = b+a+c+\dots = c+a+b+\dots = \text{等} \quad (\text{交換定理})$$

$$(2) \quad a+b+c+d+\dots = a+(b+c+d+\dots) \quad (\text{結合定理})$$

之ニ由リテ等

$$a+b+c+d+e+f+\dots = (a+b)+(c+d)+(e+f)+\dots = a+(b+c+d)+(e+f+\dots) = \text{等}$$

$$(3) \quad a+(b+c+d+\dots) = a+b+c+d+\dots \quad (\text{配分定理})$$

(二) 算法

(1) 單項式ノ加法 若干ノ單項式ヲ加フニハ、其各式ヲ固有ノ號

ニテ結び付ケヨ。而シテ、同類項ハ之ヲ集メテ一項トナスモノニシテ、其和ハ同類ニシテ、其係数ハ各項ノ係数ノ代数和ナリ。

例1.  $5a^2x$  ト  $6a^2x^2$  ト  $-5a^2x^3$  トノ和如何。

[解]  $5a^2x + 6a^2x^2 - 5a^2x^3$   
 答  $5a^2x + 6a^2x^2 - 5a^2x^3$

例2.  $8xy$  ト  $15xy$  ト  $6xy$  トノ和如何。

[解]  $8xy + 15xy + 6xy$   
 $= (8 + 15 + 6)xy = 29xy$  答  $29xy$

實際ハ次ノ如クス。

$8xy$	$8xy$ ト $15xy$ ト $6xy$ トヲ加フルニハ、共
$15xy$	= 同符號ナルヲ以テ、 $xy$ ノ係数 $8$ ト $15$ ト
$6xy$	$6$ トノ和 $29$ チ $xy$ ニ前置シテ $29xy$
$29xy$	ヲ以テ答トス。
答 $29xy$	

例3.  $-5a^2b$ ,  $-6a^2b$ ,  $-15a^2b$  ノ和ヲ問フ。

[解]  $-5a^2b$  ト  $-6a^2b$  ト  $-15a^2b$  トノ和ヲ求メ  
 $-5a^2b$  ト  $-6a^2b$  ト  $-15a^2b$  トノ和ヲ求メ  
 ルニハ、共ニ同符號ナルヲ以テ、 $5$  ト  $6$  ト  $15$   
 $-15a^2b$  トノ和  $26$  チ  $a^2b$  ニ前置シ、此ニ  $6a^2b$  ニ  
 $-26a^2b$  チ前置シテ、 $-26a^2b$  チ以テ答トス。

答  $-26a^2b$

例4.  $-7ax$ ,  $12ax$ ,  $-9ax$  ノ和ヲ求メヨ。

[解]  $-7ax$  ト  $12ax$  トヲ加フルニハ異符號ナルヲ  
 $12ax$  以テ、 $ax$  ノ係数  $7$  ト  $12$  トノ差  $5$  チ  $ax$  ニ前  
 $-9ax$  置シ、 $12ax$  ノ方ノ符號  $+$  チ  $5ax$  ニ前置ス次  
 $-1ax$  置シ、 $5ax$  ト  $-9ax$  トヲ加フルニハ異符號ナル

ヲ以テ、 $ax$  ノ係数  $5$  ト  $9$  トノ差  $4$  チ  $ax$  ニ前置シ  $9ax$  ノ方ノ符號  $-$  チ  
 $4ax$  ニ前置シテ  $-1ax$  トスレバ、 $-7ax$  ト  $12ax$  ト  $-9ax$  トノ和ハ  $-7ax$   
 ナリ。

(□) 多項式ノ加法 ニツ以上ノ多項式ヲ加フルニハ、其固有ノ符號ニ  
 テ結び付ケヨ。而シテ、同類項ハ之ヲ集メテ一項トスベシ。

例  $7a^2+2ab+8b^2$  と  $5a^2-9b^2-3ab$  と  $2b^2-6a^2+3ab$  の和ヲ求メヨ。

[解]  $7a^2+2ab+8b^2+5a^2-9b^2-3ab+2b^2-6a^2+3ab=6a^2+2ab-b^2$

答  $6a^2+2ab-b^2$

實際ハ次ノ如ク、同類項ガ縦行ニ重シナルヤウニ書キテ和ヲ求ム

$$\begin{array}{r} 7a^2+2ab+8b^2 \\ 5a^2-3ab-9b^2 \\ \hline 6a^2+2ab-b^2 \end{array}$$

[注意1] 若干ノ同類項ナラバ、果シテ一項トナスコトヲ同類項ヲ約ス

[注意2]  $1a$  ヲ  $a$  ト書キ、 $1a^2y$  ヲ  $a^2y$  ト書キテ係數1ハ省クモ可トス。

(2) 減法

(一) 定理

(1)  $a-b-c-d-\dots=a-b-d-c-\dots$

$=a-d-b-c-\dots=等$

(交換定理)

(2)  $a-b-c-d-\dots$

$=a-(b+c+d+\dots)$

(結合定理)

(3)  $a-(b+c+d+\dots)$

$=a-b-c-d-\dots$

配分定理

(二) 算法 被減數ニ減數ノ各項ノ符號ヲ變ヘテ加フベシ。

[注意] 符號ヲ變ヘルトハ、 $+$ ヲ $-$ ニ、 $-$ ヲ $+$ ニ變ヘルコト、例ヘバ、 $8a-6b+9c-3d$  ノ符號ヲ變フレバ、 $-8a+5b-9c+d$  ナリ。

例1.  $-3a^2b$  ヲ  $9a^2b^2$  ヲ引ケ。

[解]  $-6a^2b-9a^2b^2$  答  $-6a^2b-9a^2b^2$

例2.  $16a^2x^2$  ヲ  $-21a^2x^2$  ヲ引ケ。

[解]  $18a^2x^2$   
 $21a^2x^2$   
 $\hline 39a^2x^2$  答  $39a^2x^2$

例3.  $4a^3+a^2b-ab^2$  ヲ  $3a^3-4a^2b+2ab^2-l^2$  ヲ引ケ。

[解]  $4a^3+a^2b-ab^2$   
 $-3a^3+4a^2b-2ab^2+l^2$   
 $\hline a^3+5a^2b-3ab^2+l^2$

答  $a^2 + 7a^2b - 3ad^2 + b^3$

### 第二章 括弧

(1) 括弧ニテ包ムコト 與式ナリテ前置シタル括弧ニテ包ムニハ式ナリ  
其儘括弧ニ包ミテナリテ前置シタル括弧ニテ包ムニハ與式ノ各項ノ符  
號ヲ變シテ括弧ニテ包ミテ前置スベシ。

例  $a+b-c+d-e-f+g+h$   
 $=+(a+b-c+d-e-f+g+h)$   
 $=-(-a-b+c-d+e+f-g-h)$   
 $=(a+b)-(c-d)-(e+f)+(g+h)=$ 等

(2) 括弧ヲ取り去レコト 十ヲ前置シタル括弧ヲ取り去ルニハ、其儘取り  
去レバヨロシク、一ヲ前置シタル括弧ヲ取り去ルニハ括弧内ノ各項ノ符號ヲ  
變シテ取り去ルモノトス。

例1.  $7a+(9b-8a+5c)$  ノ括弧ヲ去レ。  
〔解〕  $7a+(9b-8a+5c)=7a+9b-8a+5c$   
 $=-a+9b+5c$  答  $-a+9b+5c$

例2.  $a-\{3b+\{3c-(d-b)+a\}-2a\}$  ノ括弧ヲ去レ。

〔解〕  $a-\{3b+\{3c-(d-b)+a\}-2a\}$   
 $=a-\{3b+\{3c-d+b+a\}-2a\}$   
 $=a-\{3b+3c-d+b+a-2a\}$   
 $=a-3b-3c+d-b-a+2a$   
 $=2a-2b-3c+d$

答  $2a-2b-3c+d$

### 第三章 乘法及除法

(1) 乘法

(一) 定理

(A)  $a \times b \times c \times d = a \times c \times d \times b = d \times c \times a \times b$   
 $= a \times d \times b \times c =$  等 (交換定理)

(B)  $a \times b \times c \times d = a \times (b \times c \times d)$  (結合定理)

之ニヨリテ、  
 $a \times (b \times c \times d) = a \times b \times c \times d = (a \times b) \times (c \times d)$   
 $= (a \times d \times c) \times b =$  等

(C)  $(a+b+c+\dots)m = am+bm+cm+\dots$   
 $(a-b)m = am-bm$   
 $(a-b+c-d)m = am-bm+cm-dm$  } (配分定理)

(二) 指數定理

$m, n, p$  が正ノ整数ナルトキ

(イ)  $a^m \times a^n = a^{m+n}$

(ロ)  $a^m \times a^n \times a^p = a^{m+n+p}$

(ハ)  $(ab)^m = a^m b^m$  從ツテ,  $a^m b^m = (ab)^m$

(ニ)  $(a^m)^n = a^{mn}$  從ツテ,  $a^{mn} = (a^m)^n = (a^n)^m$

(ホ)  $(+a)^{2n} = (-a)^{2n} = +a^{2n}$

(ヘ)  $(-a)^{2n+1} = -a^{2n+1}$

(三) 算法

(イ) 單項式ト單項式トノ積 各因数ノ文字ヲ羅馬字順ニ書き並ベ其數字係數ノ積ヲ前置シ、符號ノ定則ニ從ツテ、積ノ符號ヲ定ムベシ。但シ、同文字ノ因数アルトキハ、指數定理ニヨリテ、其文字ノ指數ヲ定ムベシ。

例1.  $18a^2b^3c \times 2abc^2d = ?$

[解]  $18a^2b^3c \times 2abc^2d = 36a^{2+1}b^{3+1}c^{1+2}d = 36a^3b^4c^3d$  答  $36a^3b^4c^3d$

例2.  $-5xy \times (-4x^2yz) = ?$

[解]  $-5xy \times (-4x^2yz) = 20x^{1+2}y^{1+1}z = 20x^3y^2z$   
答  $20x^3y^2z$

例3.  $15ab^2c^3 \times (-4a^3b^2cd^4) = ?$

[解]  $15ab^2c^3 \times (-4a^3b^2cd^4) = -60a^{1+3}b^{2+2}c^{3+1}d^4 = -60a^4b^4c^4d^4$   
答  $-60a^4b^4c^4d^4$

(ロ) 多項式ト單項式トノ積 多項式ノ各項ニ單項式ヲ掛ケヨ。

例1.  $(7a^2 - 6ab + 5b^2) \times 2a^2b^3c^4$  ヲ掛ケヨ。

[解]  $(7a^2 - 6ab + 5b^2) \times 2a^2b^3c^4 = 7a^2 \times 2a^2b^3c^4 - 6ab \times 2a^2b^3c^4 + 5b^2 \times 2a^2b^3c^4 = 14a^4b^3c^4 - 12a^3b^4c^4 + 10a^2b^5c^4$   
答  $14a^4b^3c^4 - 12a^3b^4c^4 + 10a^2b^5c^4$

例2.  $-xy \times (5x^3 - 3x^2 + 4x - 8)$  ヲ掛ケヨ。

[解]  $-xy(5x^3 - 3x^2 + 4x - 8) = -xy \times 5x^3 + xy \times 3x^2 - xy \times 4x + xy \times 8 = -5x^4y + 3x^3y - 4x^2y + 8xy$



答  $-5x^2y+3x^2y-4x^2y+8xy$

(2) 多項式ト多項式トノ積 被乗数 = 乗数ノ各項ヲ掛ケタル積ノ和ヲ求メヨ。

例1.  $(a+b)(c+d)=?$

[解]  $(a+b)(c+d) = (a+b)c + (a+b)d$   
 $= ac+bc+ad+bd$  答  $ac+bc+ad+bd$

實際ハ次ノ如クス。

$$\begin{array}{r} a+b \\ \times c+d \\ \hline ac+bc \\ +ad+bd \\ \hline \end{array}$$

答  $ac+bc+ad+bd$

例2.  $(a+b)(a+b)=?$

[解]  $\begin{array}{r} a+b \\ \times a+b \\ \hline a^2+ab \\ +ab+b^2 \\ \hline \end{array}$

答  $a^2+2ab+b^2$

例3.  $(a^2-2ab+b^2)(a-b)=?$

[解]  $\begin{array}{r} a^2-2ab+b^2 \\ \times a-b \\ \hline a^3-2a^2b+ab^2 \\ -a^2b+ab^2-b^3 \\ \hline \end{array}$  答  $a^3-a^2b+ab^2-b^3$

【注意】 同字母ノ各異ノ幕ヲ含ム所ノ諸項ヨリナル任意ノ二式ノ積ヲ求ムルニハ、此兩式ヲ同字母ノ降幕或ハ昇幕ノ順ニ列ベテ、被乗数ノ下ニ乗数ヲ書キテ乘法ヲ行ヘバ、同類項カ同行ニ來リテ和ヲ求ムルニ便利ナリ。上ノ例ノ如ク

例4.  $(x^3-7x^2y+3xy^2)(7x^2y-3x^2y^2+1^4)=?$

[解]  $\begin{array}{r} x^3-7x^2y+3xy^2 \\ \times 7x^2y-3x^2y^2+1^4 \\ \hline 7x^5-7x^4y+3x^3y^2 \\ +7x^6y-19x^5y^2+21x^4y^3 \\ -3x^5y^3+21x^4y^3-9x^3y^4 \\ \hline \end{array}$  答  $7x^6-19x^5y^2+12x^4y^3-9x^3y^4$

(2) 除法

(一) 定理

(1) a ÷ b ÷ c ÷ d = a ÷ c ÷ d ÷ b = a ÷ c ÷ b ÷ d = 等

交換定理

(2) a ÷ b ÷ c ÷ d = a ÷ (b × c × d)

結合定理

從ツテ, a ÷ (b × c × d) = a ÷ b ÷ c ÷ d

(3) (a + b + c) ÷ m = a ÷ m + b ÷ m + c ÷ m

(a - b) ÷ m = a ÷ m - b ÷ m

(a - b + c) ÷ m = a ÷ m - b ÷ m + c ÷ m

分配定理

(二) 指數定理

m > n = シテ 任意ノ 正ノ 整數ナルトキ

(1) a^m ÷ a^n = a^{m-n}

m = n = シテ 任意ノ 正ノ 整數ナルトキ

(2) a^m ÷ a^n = a^{m-n} = a^0 = 1

(三) 算法

(1) 單項式ト單項式トノ商 横線ヲ引キ, 其上ニ被除數ヲ其下ニ

除數ヲ書キ, 共通ノ因數アラバ, 之ヲ省ケ. 而シテ, 商ノ符號ハ同號ナラバ正, 異符號ナラバ負ナリ.

例1. 18a^2b ÷ 3abc = ?

[解] 18a^2b / 3a be = 6a / c

答 6a / c

例2. (-6ax) ÷ (-2a^2x^3) = ?

[解] -6ax / -2a^2x^3 = 3 / ax^2

答 3 / ax^2

例3. 17a^2l^2 ÷ (-ab) = ?

[解] 17a^2l^2 / -ab = -17ab

答 -17ab

(2) 多項式ト多項式トノ商 被除數, 除數ノ双方ヲ同字母ノ降冪或ハ昇冪ノ順ニ並ベ, 被除數ノ第一項ヲ商ノ第一項ニテ除シ, 商ノ第一項トス. 商ノ第一項ヲ除數ニ掛ケタル積ヲ被除數ヨリ引ケ. 若シ, 剩餘アラバ, 之ヲ新除數トシ除數ノ第一項ニテ除シ, 商ノ第二項ヲ得. 以下, 同法ヲ續行セヨ.

例.  $(5xy^2 - y^3 - 3x^2y + 4x^3) \div (2x - y)$

【解】

$$\begin{array}{r}
 2x^2 - xy + y^2 \\
 2x - y \overline{) 4x^3 - x^2y + 5xy^2 - y^3} \\
 \underline{4x^2 - 2x^2y} \phantom{+ y^2} \\
 -x^2y + 5xy^2 \\
 \underline{-x^2y + 3xy^2} \phantom{- y^3} \\
 +2xy^2 - y^3 \\
 \underline{+2xy^2 - y^3} \\
 0
 \end{array}$$

答  $2x^2 - 3xy + y^2$

(3) 乘法公式及之應用

(一) 公式

(A)  $(a + b + c + \dots + m) \cdot m = am + bm + cm + \dots$

(B)  $(a + b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$

(C)  $(a - b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$

(D)  $(a + b + c + \dots)^2 = a^2 + b^2 + c^2 + \dots$

$+ 2ab + 2ac + \dots$

$+ 2bc + \dots$

(ホ)  $(a + b)(a - b) = a^2 - b^2$

(ヘ)  $(a^2 + ab + b^2)(a^2 - ab + b^2) = a^4 + a^2b^2 + b^4$

(ト)  $(x + a)(x + b) = x^2 + (a + b)x + ab$

(チ)  $(x - a)(x - b) = x^2 - (a + b)x + ab$

(リ)  $(ax + b)(px + q) = apx^2 + (aq + bp)x + bp$

$$= apx^2 + \left( \begin{array}{c} a \\ p \end{array} \times \begin{array}{c} +b \\ +q \end{array} \right) x + bp$$

(ヌ)  $(a + b)^3 = a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$

(ル)  $(a - b)^3 = a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3$

(ヲ)  $(a^2 + ab + b^2)(a - b) = a^3 - b^3$

(ワ)  $(a^2 - ab + b^2)(a + b) = a^3 + b^3$

(カ)  $(a + b + c)(a^2 + b^2 + c^2 - ab - bc - ca)$

$= a^3 + b^3 + c^3 - 3abc$

(二) 應用

例 1.  $8x(2x + 3xy - x^2) = 16x^2 + 24x^2y - 8x^3$

例 2.  $(5x + 6y)^2 = (5x)^2 + 2(5x)(6y) + (6y)^2$

$$= 25x^2 + 60xy + 36y^2$$

例3.  $(2x-1)^2 = (2x)^2 - 2 \cdot (2x) \cdot 1 + 1^2 = 4x^2 - 4x + 1$

例4.  $(2x-y+4z)^2 = \{2x + (-y) + 4z\}^2$   
 $= (2x)^2 + (-y)^2 + (4z)^2 + 2(2x)(-y) + 2(2x)(4z) + 2(-y)(4z)$   
 $= 4x^2 + y^2 + 16z^2 - 4xy + 16xz - 8yz$

例5.  $102 \times 98 = (100+2)(100-2)$   
 $= 100^2 - 2^2 = 10000 - 4 = 9996$

例6.  $(8x+2y)(4x+5y) = 8 \times 4x^2 + (8 \times 5 + 4 \times 2)xy + (2y)(5y)$   
 $= 32x^2 + 48xy + 10y^2$

例7.  $(a-6b)(a+3b) = \{a + (-6b)\} \{a + (+3b)\}$   
 $= a^2 + (-6b + 3b)a + (-6b)(3b) = a^2 - 3ab - 18b^2$

(4) 除法公式及之應用

(一) 公式

(1)  $\frac{a^2 + 2ab + b^2}{a+b} = a+b$

(口)  $\frac{a^2 - ab + b^2}{a-b} = a-b$

(ハ)  $\frac{a^2 - l^2}{a+b} = a-b$      $\frac{a^2 - l^2}{a-b} = a+b$

(ニ)  $\frac{a^4 + a^2l^2 + l^4}{a^2 + ab + b^2} = a^2 - ab + l^2$      $\frac{a^4 + a^2l^2 + l^4}{a^2 - ab + b^2} = a^2 + ab + l^2$

(ホ)  $\frac{x^2 + (a+b)x + ab}{x+a} = x+b$      $\frac{x^2 + (a+b)x + ab}{x+b} = x+a$

(ヘ)  $\frac{x^2 - (a+b)x + ab}{x-a} = x-b$      $\frac{x^2 - (a+b)x + ab}{x-b} = x-a$

(ト)  $\frac{apx^2 + (aq+bp)x + tq}{ax+b} = px+q$

(チ)  $\frac{a^3 + b^3}{a+b} = a^2 - ab + b^2$      $\frac{a^3 - b^3}{a-b} = a^2 + ab + b^2$

(二) 應用

例1.  $\frac{x^2 - 5x + 6}{x-2} = \frac{x^2 - (2+3) + 2 \times 3}{x-2} = x-3$

例2.  $\frac{3x^2 - 11x + 10}{3x-5} = \frac{1 \times 3x^2 + \{1 \times (-5) + (2) \times 3\}x + (-2)(-5)}{3x-5}$

$=x-2$

例3.  $\frac{x^2 - \frac{1}{4}y^4}{x - \frac{1}{2}y^2} = \frac{x^2 - (\frac{1}{2}y^2)^2}{x - \frac{1}{2}y^2} = x + \frac{1}{2}y^2$

例4.  $\frac{a^3x^3 + b^3y^3}{ax + by} = a^2x^2 - abxy + b^2y^2$   
 $= a^2x^2 - abxy + b^2y^2$

(5) 二項式ノ整除商ノ公式

(A) n が正ノ整数ナルトキ

$\frac{x^n - a}{x - a} = x^{n-1} + x^{n-2}a + x^{n-3}a^2 + \dots + xa^{n-2} + a^{n-1}$

(B) n が奇数ナルトキ

$\frac{x^n + a^n}{x + a} = x^{n-1} - x^{n-2}a + x^{n-3}a^2 - \dots - xa^{n-2} + a^{n-1}$

(C) n が偶数ナルトキ

$\frac{x^n - a^n}{x + a} = x^{n-1} - x^{n-2}a + x^{n-3}a^2 - \dots + xa^{n-2} - a^{n-1}$

第四編 因數分解法

(1) 因數分解法 若干ノ因數ノ積ナル式ヲ知リテ、其因數ヲ求ムル方法ヲ云フ。但シ、積ナル式ハ有理整式トス。

(2) 因數分解ヲナスニ就テノ注意

- (一) 因數分解法ハ乘法ノ逆ナルコト。
- (二) 乘法公式ヲ充分ニ諸記スルコト。
- (三) 各項ニ共通ナル因數ナキヤ否ヤヲ檢スルコト。
- (四) 與式ガ乘法公式ニ適合スルヤ否ヤヲ檢スルコト。
- (五) 係數ヲ乘察ニ依テ、公式ニ適合スル様ニ分解スルコト。
- (六) 與式ノ項ヲ種々ニ結合シテ公式ニ適合スル様ニスルコト。
- (七) 與式ニ或數ヲ加減シテ公式ニ適合スル様ニ誘導スルコト。

(3) 公式ヲ用井テ因數分解ヲナスコト

(一) 公式

(A)  $mx + my + mz = m(x + y + z)$

(B)  $a^2 + 2ab + b^2 = (a + b)^2$

$a^2 - 2ab + b^2 = (a - b)^2$

(一)  $a^2 - b^2 = (a+b)(a-b)$

$a^4 + a^2b^2 + b^4 = (a^2 + ab + b^2)(a^2 - ab + b^2)$

(二)  $a^2 + b^2 + c^2 + 2ab + 2ac + 2bc = (a+b+c)^2$

(三)  $a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3 = (a+b)^3$

$a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3 = (a-b)^3$

(四)  $x^2 + (a+b)x + ab = (x+a)(x+b)$

$x^2 - (a+b)x + ab = (x-a)(x-b)$

$apx^2 + (aq+bp)x + bq$

$= apx^2 + \left( \begin{matrix} a & +b \\ p & +q \end{matrix} \right) x + bq$

$= (ax+b)(px+q)$

(五)  $a^3 + b^3 = (a+b)(a^2 - ab + b^2)$

$a^3 - b^3 = (a-b)(a^2 + ab + b^2)$

(六)  $a^3 + b^3 + c^3 - 3abc = (a+b+c)(a^2 + b^2 + c^2 - ab - bc - ca)$

(二) 應用

例 1.  $8ab - 12a^2bc + 6a^3 = 2a(4b - 6abc + 3a^2)$

例 2.  $ax - ay - x + y = (ax - ay) - (x - y)$

$= a(x - y) - (x - y) = (x - y)(a - 1)$

【注意】  $-(x - y) = -1(x - y)$  ナルコトニ注意セヨ。

例 3.  $x^2 + 6x + 9 = x^2 + 2 \cdot x \cdot 3 + 3^2 = (x + 3)^2$

例 4.  $4a^2 - 12ab + 9b^2 = (2a)^2 - 2(2a)(3b) + (3b)^2$

$= (2a - 3b)^2$

例 5.  $x^2 - 4y^2 = x^2 - (2y)^2 = (x + 2y)(x - 2y)$

例 6.  $x^4 - 16y^4 = (x^2)^2 - (4y^2)^2 = (x^2 + 4y^2)(x^2 - 4y^2)$

$= (x^2 + 4y^2)(x + 2y)(x - 2y)$

例 7.  $mx^3 - 2mx^2y + mxy^2 = mx(x^2 - 2xy + y^2)$

$= mx(x - y)^2$

例 8.  $27a^3 + 9b^3 = (3a)^3 + (3b)^3$

$= (3a + 3b)\{(3a)^2 - (3a)(3b) + (3b)^2\} = (3a + 3b)(9a^2 - 6ab + 9b^2)$

例 9.  $(a + b)^2 - (c + d)^2 = \{(a + b) + (c + d)\}\{(a + b) - (c + d)\}$

$= (a + b + c + d)(a + b - c - d)$

例 10.  $4x^2y^2 - (x^2 + y^2 - z^2)^2$

$$\begin{aligned}
 &= \{2xy + (x^2 + y^2 - z^2)\} \{2xy - (x^2 + y^2 + z^2)\} \\
 &= \{(x^2 + 2xy + y^2) - z^2\} \{z^2 - (x^2 - 2xy + y^2)\} \\
 &= \{(x+y)^2 - z^2\} \{z^2 - (x-y)^2\} \\
 &= (x+y+z)(x+y-z) \{z+(x-y)\} \{z-(x-y)\} \\
 &= (x+y+z)(x+y-z)(z-x-y)(z-x+y)
 \end{aligned}$$

例 11.  $x^2 + 7x + 12 = x + (3+4)x + 3 \times 4$   
 $= (x+3)(x+4)$

例 12.  $a^2 + a - 72 = a^2 + (9-8)a + 9(-8)$   
 $= (a+9)(a-8)$

例 13.  $(x+y)^2 + 8(x+y) + 15 = (x+y)^2 + (3+5)(x+y) + 3 \times 5$   
 $= (x+y+3)(x+y+5)$

例 14.  $15x^2 + 26x + 8$   
 $= 3 \times 5x^2 + \left\{ \begin{matrix} 3 & +4 \\ 5 & +2 \end{matrix} \right\} x + 4 \times 2 = (3x+4)(5x+2)$

例 15.  $15x^2 - 14x - 8$

$$= 3 \times 5x^2 + \left\{ \begin{matrix} 3 & -4 \\ 5 & -2 \end{matrix} \right\} x + (-1)(-2) = (3x-1)(5x-2)$$

例 16.  $x^2y^2 + 1 = (xy)^2 + 1^2 = (xy+1)(x^2y^2 - xy \times 1 + 1^2)$   
 $= (xy+1)(x^2y^2 - xy + 1)$

例 17.  $x^3 - y^3 - z^3 - 3xyz$   
 $= x^3 + (-y)^3 + (-z)^3 - 3x(-y)(-z)$   
 $= (x-y-z)\{x^2 + (-y)^2 + (-z)^2 - x(-y) - (-y)(-z) - (-z)x\}$   
 $= (x-y-z)(x^2 + y^2 + z^2 + xy - yz + xz)$

例 18.  $27x^3 - y^3 + 9z^3 + 18xyz$   
 $= (3x)^3 + (-y)^3 + (2z)^3 - 3(3x)(-y)(2z)$   
 $= (3x-y+2z)\{(3x)^2 + (-y)^2 + (2z)^2 - 3x(-y) - (-y)(2z) - (2z)(3x)\}$   
 $= (3x-y+2z)(9x^2 + y^2 + 4z^2 + 3xy + 2yz - 6xz)$

(4) 一般ノ二次式ノ因數分解法

(一) 公式  $ax^2 + bx + c$

$$= a \left( x + \frac{b}{2a} + \frac{\sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \right) \left( x + \frac{b}{2a} - \frac{\sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \right)$$

(二) 應用

例.  $8x^2 + 22x + 15$

$$= 8 \left( x + \frac{22}{2 \times 8} + \frac{\sqrt{22^2 - 4 \times 8 \times 15}}{2 \times 8} \right) \left( x + \frac{22}{2 \times 8} - \frac{\sqrt{22^2 - 4 \times 8 \times 15}}{2 \times 8} \right)$$

$$= 8 \left( x + \frac{11}{8} + \frac{2}{16} \right) \left( x + \frac{11}{8} - \frac{2}{16} \right)$$

$$= 8 \left( x + \frac{5}{2} \right) \left( x + \frac{5}{4} \right)$$

$$= (2x+3)(4x+5)$$

(5) 一般ノ二次式ノ性質

(4)ノ公式ニヨリ。

(一)  $b^2 - 4ac > 0$ ナルトキ、 $b^2 - 4ac$ ガ完平方數ナラバ、兩因數ハ共ニ有理式ニシテ、若シ、完平方數ナラザルトキハ、共ニ無理式ナリ。

(二)  $b^2 - 4ac = 0$ ナラバ、兩因數ハ相等シ。

(三)  $b^2 - 4ac < 0$ ナラバ、兩因數ハ負數ノ平方根ヲ有ス。

(6) 與式ノ項ヲ適當ニ結果シ或ハ數ヲ加減シテ因數ヲ發見スル法

例1.  $ab + bc + cd + ad = (ab + ad) + (bc + cd) = a(b + d) + c(b + d)$   
 $= (b + d)(a + c)$

例2.  $a^2 - ab + 3l^2 - c^2 + 2bc$   
 $= a^2 - ab + (2b)^2 - (2b)^2 + 3l^2 - c^2 + 2bc$   
 $= (a - 2b)^2 - (l^2 - 2bc + c^2)$   
 $= (a - 2b)^2 - (b - c)^2$   
 $= \{a - 2b + (b - c)\} \{a - 2b - (b - c)\}$   
 $= (a - b - c)(a - 3b + c)$

例3.  $x^4 - x^2 - 2ax + 1 - a^2$   
 $= -(x^2 + 2ax - x^2 - x^2 - 1)$   
 $= -(a^2 + 2ax + x^2 - x^2 - x^2 - 1)$   
 $= -\{(a+x)^2 - (x^2 + 2x^2 + 1)\}$   
 $= -\{(a+x)^2 - (x^2 + 1)^2\}$   
 $= -\{(a+x) + (x^2 + 1)\} \{(a+x) - (x^2 + 1)\}$



$$= -(a+x+x^2+1)(a+x-x^2-1)$$

(7) 一次因數ノ性質

(一) 定理  $x$ ノ有理整式ニ於テ、 $x=a$ ヲ代用シテ0トナラバ、原式ハ $x-a$ ナル一因數ヲ有ス。

例ハバ、 $3x^3-4x^2+2x-1$ ハ  $x=1$ ヲ代用スレバ0トナルヲ以テ  $x-1$ ハ一因數ナリ。

(二) 定理  $x$ ノ有理式ヲ $x-a$ ニテ除シタルトキノ剩餘ハ、元式ノ $x=a$ ヲ代用シテ得タル結果ニ等シ(剩餘定理或ハ殘餘定理)

例ハバ、 $x^5-1$ ヲ $x-2$ ニテ除シタル殘數ハ、 $x^5-1=2^5-1=32-1=31$ ナリ

(8) 二項式ノ除法ノ性質

(一)  $n$ ガ任意ノ正整數ナルトキ  $x^n-a^n$ ハ常ニ $x-a$ ニテ割リ切レ。

(二)  $n$ ガ如何ナル正整數ニテモ  $x^n+a^n$ ハ常ニ、 $x+a$ ニテ割リ切レズ。

(三)  $n$ ガ任意ノ正整數ナルトキ、 $x^n+a^n$ ハ $x-a$ ニテ割リ切レズ。

(四)  $n$ ガ偶數ナルトキ、 $x^n-a^n$ ハ $x+a$ ニテ割リ切レ。

(五)  $n$ ガ奇數ナルトキ、 $x^n+a^n$ ハ $x+a$ ニテ割リ切レ。

(9) 對稱式 式中ニアル若干ノ文字ノ中、何レノ二ツヲ交換スルモ、原式

ト異ナルコトナキ代數式ヲ云フ。例ハバ、 $a+b$ ハ $a$ ヲ $b$ ニ、 $b$ ヲ $a$ ニ交換スルモ原式ト異ナラザルヲ以テ $a+b$ ハ $a, b$ ノ對稱式ナリ。又、 $a+b+c, bc+ca+ab, a^3+b^3+c^3$ ハ何レモ、 $a$ ヲ $b, b$ ヲ $c, c$ ヲ $a$ ニ交換スルモ原式ト異ナラザルヲ以テ、 $a, b, c$ ノ對稱式ナリ。

(一) 互換次序ノ對稱式 或式中ノ若干ノ特別ナル文字ヲ互換スルモ更ニ原式ト異ナラザル代數式ヲ、其若干文字ノ互換次序ノ對稱式ト云フ。例ハバ、 $x^2+a+b$ ハ $a$ ヲ $b, b$ ヲ $a$ トスルモ原式ト異ナラザルヲ以テ、 $x^2+a+b$ ハ $a, b$ ノ互換次序ノ對稱式ナリ。

(二) 輪換次序ノ對稱式 或式中ノ第一文字ヲ第二文字ニ、第二文字ヲ第三文字ニ交換シ、逐次、斯ノ如クシテ、終リノ文字ヲ第一文字ニ交換スルモ原式ト異ナラザルトキハ、此式ヲ、其各文字ノ輪換次序ノ對稱式ト云フ。例ハバ、 $a+b+c$ ハ $a, b, c$ ノ輪換次序ノ對稱式ナリ。

(三) 對稱式ノ公式

(1) 互換次序ノ同次對稱公式

1. 二文字 $a, b$ ニ付キ

一次  $L(a+b)$

二次.  $L(a^2+b^2)+Mxy$

三次.  $L(a^3+b^3)+M(a^2b+l^2a)$

四次.  $L(a^4+b^4)+M(a^3b+b^3a)+Na^2l^2$

[L, M, N, P, Q 等ハ係數]

2. 三文字 a, b, c = 付キ

一次.  $L(a+b+c)$

二次.  $L(a^2+b^2+c^2)+M(ab+bc+ca)$

三次.  $L(a^3+b^3+c^3)+M(a^2b+b^2c+c^2a+ab^2+bc^2+ca^2)+Nabc$

四次.  $L(a^4+b^4+c^4)+M(a^3b+b^3c+c^3a+ab^3+bc^3+ca^3)+N(a^2l^2+l^2c^2+c^2a^2)+P(a^2bc+l^2ca+c^2ab)$

(□) 輪換次序ノ同次對稱式

1. 二文字 a, b = 付キ 之ハ互換モ輪換モ同一ナルバ省ク。

2. 三文字 a, b, c = 付キ

一次. 互換ト同一

二次. 互換ト同一

三次.  $L(a^3+b^3+c^3)+M(a^2b+b^2c+c^2a)+N(al^2+bc^2+ca^2)+Pabc$

四次.  $L(a^4+b^4+c^4)+M(a^3b+l^3c+c^3a)+N(ab^3+l^3c+ca^3)+P(a^2l^2+l^2c^2+c^2a^2)+Q(a^2bc+l^2ca+c^2ab)$

(ハ) 不同次ノ對稱式 之ハ、(イ)ト(ロ)トヲ組ミ合セタルモノニ過

ギズ、例ヘバ、a, b, c 三文字ノ二次ノ互換及ビ輪換對稱公式ハ、

$L(a^2+l^2+c^2)+M(ab+bc+ca)+N(a+b+c)+P$ ニシテ、三文字 a, b, c

ノ三次ノ互換次序ノ對稱式ハ

$L(a^3+b^3+c^3)+M(a^2b+l^2c+c^2a+al^2+bc^2+ca^2)+Nabc+P(a^2+l^2+c^2)+Q(ab+lc+ca)+R(a+b+c)+S$

第五編 最大公約數及ビ最小公倍數

- (1) 公約數 ニツ以上ノ各整式ヲ割リ切ルル一整式ヲ云フ。
- (2) 最大公約數 公約數中ノ最高次ナルモノヲ云ヒ、G. C. M.ト略記ス。
- (3) 公倍數 ニツ以上ノ各整式ニテ割リ切ルル一整式ヲ云フ。
- (4) 最小公倍數 公倍數中ノ最低次ナルモノヲ云ヒ、L. C. M.ト略記ス。
- (5) 最大公約數ヲ求ムル法

(一) 單項式ノ G. C. M. 其總テノ式ノ共通文字ヲ書キ、其各文字ノ指數ヲシテ、各式中ノ最小ナル指數ヲ與ヘ、若シ數字係數アルトキハ、數字係數

ノ G. C. M. ナ前置スベシ。

例へバ、 $15x^3yz^2$  ト  $21x^4y^2z^3$  ト  $-24xyz^4$  トノ G. C. M. ハ  $3xyz^2$  ナリ。

(二) 因数分解ニヨリテ求ムル G.C.M. 各式ヲ数分ニ分解シ (一)ノ方法ヲ取レ。

例1.  $6x^2-9xy, 4x^2-9y^2$  ノ G. C. M. 如何。

[解]  $6x^2-9xy=3x(2x-3y)$

$4x^2-9y^2=(2x+3y)(2x-3y)$

G. C. M.  $=2x-3y$  . 答  $2x-3y$

例2.  $x^2+2x+1, x^2-2x-3, x^2+4x+3$  ノ G. C. M. ナ求メヨ。

[解]  $x^2+2x+1=(x+1)^2$

$x^2-2x-3=(x+1)(x-3)$

$x^2+4x+3=(x+1)(x+3)$

G. C. M.  $=x+1$  . 答  $x+1$

(三) 一般ノ G. C. M. 二式ノ G. C. M. ナ求ムルニハ、双方ヲ同一ノ文字ノ降幕或ハ昇幕ノ順ニ列ベ、此共通セル文字ニ於テ、高次ノ式ヲ他ノ式ニテ除シ (若シ双方が同次ナルトキハ何レテ除数トスルモ可ナリ)。若シ、剰餘

アルトキハ、之ヲ新除数トシ、前ノ除数ヲ被除数トシテ除法ヲ行モ餘リナキニ至リテ止ム。然ルトキハ最後ノ除数ハ G. C. M. ナリ。

三式以上ノ G.C.M. ナ求ムルニハ、二式ノ G.C.M. ト他ノ一式トノ G.C.M. ガ三式ノ G. C. M. ニシテ、三式ノ G. C. M. ト残りノ一式ノ G. C. M. ハ四式ノ G. C. M. ナリ。其他之ニ準ズ。

例1.  $x^3+x^2-2, x^3+x^2-3$  ノ G. C. M. ナ求メヨ。

[解]

$x$	$x^3+x^2-2$	$x^3+x^2-3$	$1$
	$x^3-x$	$x^3+x^2-2$	
$1$	$x^2+x-2$	$x^2-1$	$x$
	$x^2$	$x^2-x$	
	$x-1$	$x-1$	$1$
		$x-1$	
		$0$	

答  $x-1$

例2.  $2x^4-7x^3+4x^2+x-4$  ト  $3x^4-11x^3-2x^2-4x-16$  ノ G. C. M. ナ求メヨ。

[解]

$-2x^2x^4 - 7x^3 - 4x^2 + x - 4$	$3x^4 - 11x^3 - 2x^2 - 4x - 16$
$  x^4 - 16x^3 + 22x^2 + 10x$	$* \times 2$
$-9x^3 - 20x^2 - 90x - 4$	$6x^4 - 22x^3 - 4x^2 - 8x - 32$
$9x^3 - 72x^2 + 99x + 18$	$6x^4 - 22x^3 - 12x^2 + 3x - 12$
$\Delta 16 \mid 46x^2 - 138x - 184$	$-x^3 + 8x^2 - 11x - 20$
$x^2 - 3x - 4$	$-x^3 + 3x^2 + 4x$
	$5x^2 - 15x - 20$
	$5x^2 - 15x - 20$
	$0$

答  $x^2 - 3x - 4$

【注意1】 \*ハ  $3x^4 - 11x^3 - 2x^2 - 4x - 16$  ナ  $2x^4 - 7x^3 - 4x^2 + x - 4$  ニテ除スルニ當リ、商ニ分數ヲ得ルヲ避ケルタメニ、 $3x^4 - 11x^3 - 2x^2 - 4x - 16 = 2$  ナ掛ケルモ G.C.M. ニ變動ヲ來サザルヲ以テ2ヲ掛ケタルモノトス。

【注意2】  $\Delta$  ハ  $46x^2 - 138x - 184$  ニ於テ、 $64$  ハ  $-x^3 + 8x^2 - 11x - 20$  ノ因數ニアラザルヲ以テ、 $46x^2 - 138x - 184$  ナ  $64$  ニテ除スルモ G.C.M. ニ變動ヲ興ヘザルヲ以テ、 $64$  ニテ除シタリ。

(6) 最小公倍數ヲ求ムル法

(一) 單項式ノ L. C. M. 其總テノ式ニアル總テノ文字ヲ書キ並ベ、其各文字ノ指數ヲシテ、各式中ノ最高次ノ指數ヲ與シ、數字係數ハ其 L. C. M. ナ取レ。

例ハ、 $12x^2yz^3$ 、 $8y^3z^2$  ノ L. C. M. ハ  $24x^2y^3z^3$  ナリ。

(二) 因數分解法ニヨリテ求ムル L. C. M. 各式ヲ因數ニ分解シ、(一)ノ方法ヲ取レ。

例1.  $x^2 + 4x + 4$ 、 $x^2 - x - 6$ 、 $x^2 + 5x + 6$  ノ L. C. M. ナ求メヨ。

[解]

$$x^2 + 4x + 4 = (x+2)^2$$

$$x^2 - x - 6 = (x+2)(x-3)$$

$$x^2 + 5x + 6 = (x+2)(x+3)$$

$$\text{L. C. M.} = (x+2)^2(x+3)(x-3)$$

答  $(x+2)^2(x+3)(x-3)$

(三) 一般ノ L. C. M. 先ツ二式ノ G. C. M. ナ求メ、一式ニ他式ヲ G. C. M. ニテ除シタル商ヲ掛ケレバ、二式ノ L. C. M. ナ得ベシ。三式ノ L. C. M. ナ求ムルニハ、二式ノ L. C. M. ナ求メ、此 L. C. M. ト殘リノ一式ノ L. C. M. ハ三式ノ L. C. M. ナリ。以下、同法ヲ續行シテ、四式以下ノ